

Tankenmaru
System

探見丸

CV FISH

カラーバージョン

取扱説明書

このたびは、シマノ探見丸CV-FISHをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、探見丸同様大切に保存してくださいますようお願い申し上げます。

安全にお使いいただくために	2	簡単なレンジの設定	25	仕掛軌跡	51
電源とケーブルについて	2	底拡大	26	位置補正	53
探見丸システムについて	4	ボトムライン	27	仕掛回収	55
電動リールとの無線通信方法について	5	タイドグラフ	28	電動リールナビの表示	56
探見丸FISH FINDER (フィッシュファインダー) について	5	背景色/画面輝度	29	水深並列表示	57
アキュフィッシュ機能について	6	日付	30	ファイト時間	58
システムの設置方法	7	時刻	31	リールデータの表示	59
魚探画面と操作ボタンについて	10	デモ画面	32	アキュフィッシュの設定	60
起動	11	初期化	33	アラームの設定	63
船釣りの場合、ご乗船される船名の選択	12	楽速モード切替	34	アラームの設定・魚群♪/電動ブレーカー警告♪	64
Fish Finderの場合、ご使用になるFish Finderを選択	13	糸送り	35	ヘルプ	65
Fish Finderの場合、子機の使用状況の設定	14	上/底切替	36	Fish Finder の設定	66
電動リールの選択	16	さそい	37	底質	67
設定画面の操作方法	17	さそいの学習	39	お魚マーク	68
画面の切換え	18	さそい幅の指定	42	魚探感度/干渉除去	69
探見丸CV-FISHの機能一覧 ~単体の機能~	20	釣りでさそい機能を使用する	43	振動子出力/発射回数	70
探見丸CV-FISHの機能一覧 ~電動リール対応機能~	21	棚停止の設定	46	お取り扱い上の注意	71
画像送りの設定	22	オートさそいの設定	47	ご注意/セーフティ機能/仕様	73
シフトの設定	23	釣りでさそい機能を使用する (棚停止の利用)	48	製品のお問い合わせ	74
レンジの設定	24			アフターサービスのご案内/分解図	74
				サービスネット	75

● 探見丸を安全にお使いいただくために

探見丸CV-FISHの防水規格は JISC 0920 5級 防噴流形 (IEC:IPX5) 「いかなる方向からの直接噴流によっても有害な影響を受けない」ですが、水中への浸漬に対する保護機能はありませんのでご注意ください。

又、船縁に設置後の釣り場移動時/釣行の移動時には、付属のカバーをかぶせてください。

過度の波浪/突起物等から本機を守ります。(下図)

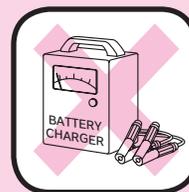


過度の波浪/突起物などから探見丸を守るため、付属のカバーをかぶせてください。

1 お取り扱い上の注意

電源について

電源は直流 (DC) 12Vです。公称電圧が12Vから14.8Vまでのものをご使用下さい。指定外の電源 (たとえば家庭用の交流100V、船装備の直流24Vなど) ではご使用できません。バッテリーチャージャーなどは絶対に使わないで下さい。



- 船に備え付けの電源を利用される時は、電圧が直流 (DC) 12Vから14.8Vであることをご確認ください。また、端子がサビしていると正常に作動しない場合がありますので、サビを取り除いてご使用ください。
- 十分に充電したバッテリーをご使用ください。
- ひとつのバッテリーで、探見丸CV-FISHと電動リールを使用した時、バッテリーの電圧が低下してくると電動リールが先に動かなくなることがあります。
- 電池の種類によっては多少使用可能時間が前後します。

ケーブルについて

電源との接続は必ず別売の探見丸CV-FISH電源ケーブルをご使用ください。

ご注意：

●上記以外の電源ケーブルを使用されると、探見丸が正常に作動しない場合があります。また、電源ケーブルは乱暴に扱わないでください。踏んだり、折り曲げたりすると、故障の原因となります。

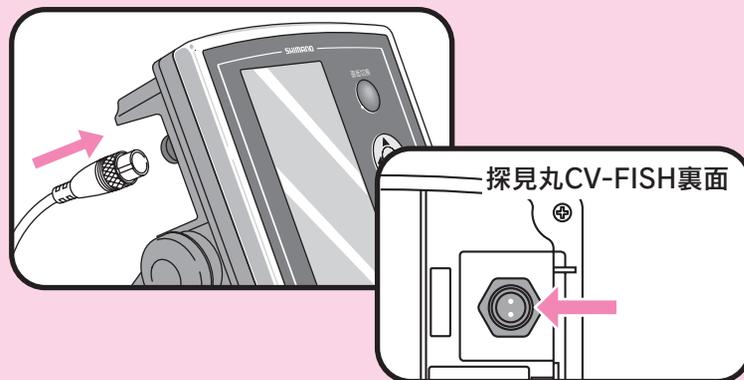
●2004年探見丸(白黒)、2008年探見丸CV用の電源ケーブル(TK-022C)及び探見丸通信ケーブル(TK-021C)は接続できません。

2 バッテリーとの接続方法

- 1 バッテリーに探見丸CV-FISH電源ケーブルを接続してください。
赤クリップを(+)側に、黒クリップを(-)側につないでください。
- 2 それから探見丸CV-FISHと電源ケーブルを接続します。
電源ケーブルのプラグの凹部と、探見丸CV-FISHの電源のコネクタの凸部を合わせ、奥まで差し込んでネジを締めてください。

ご注意：

電源コネクタやプラグ部分が海水などで濡れたまま接続しないでください。故障の原因となります。



- 3 単3電池8本でもご使用になれます。
電源ケーブルを接続しない場合はコネクタ用キャップをはめて使用してください。
電池が入った状態でバッテリーから電源を取ることも可能です。その際はバッテリーからの電源が優先されます。

探見丸システム

親機からの魚探映像を無線でキャッチ。船べりで魚探が見える！

あらかじめ遊漁船に設置された親機魚探からの情報を探見丸CV-FISHがキャッチ。

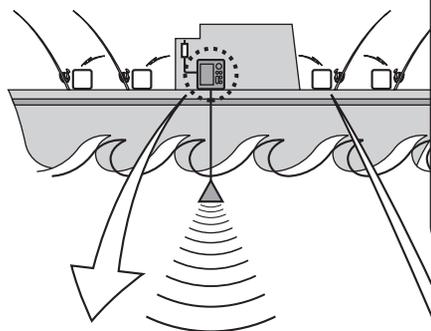
釣座に居ながらにして魚探の映像を見ることができる画期的なシステムです。

〔探見丸対応遊漁船につきましては、弊社ホームページ、パンフレット等をご覧ください。〕

※ご注意 探見丸CV-FISHに映る映像はご自身の位置ではなく、親機送受波器の位置映像です。



Tankenmaru
System



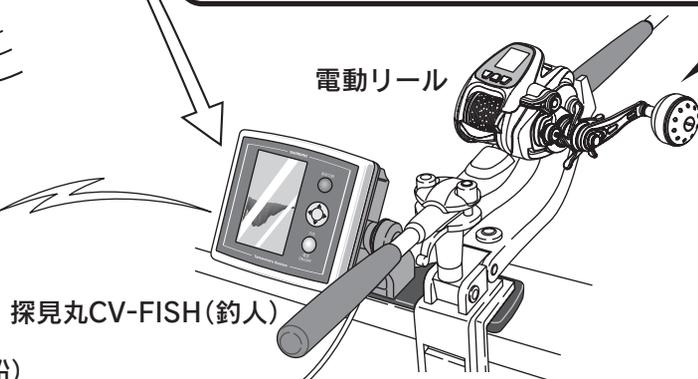
親機（遊漁船）

さらに探見丸システム対応電動リールと組み合わせることで、双方向に通信が可能となり、使い勝手が広がります。

1. 電動リールの操作が探見丸CV-FISHで可能に
〔さそい、さそい幅、楽速切替 etc.〕
2. 電動リールからのデータを探見丸CV-FISHで表示
〔リール水深、棚タイマー etc.〕
3. 双方のデータを組み合わせて
より便利な情報を表示
〔シカケ軌跡、さそい幅 etc.〕

※電動リールの機種によって使える機能は異なります。

電動リール



探見丸CV-FISH(釣人)

探見丸システムは、船のキャビンに設置された親機となる魚探が取った映像を電波で飛ばし、船縁に設置された子機がその電波を受け、魚探映像が映るというシステムです。

探見丸CV-FISHはその通信を確固たるものとするための子機で、通信する「船名」を選択していただく必要があります。港では船が密着しており、数隻の船名が出る場合があります。必ず乗船された船名を確認していただき、選択してください。

海上でも他船の電波が拾える場合がありますが、通信電波の特性上、子機が正常に電波を拾えません。また、海底映像としても自船のものではないので、情報として釣りに全く応用できません。自船の電波をしっかりとキャッチしていただき、見る事のできなかつた海底映像を見ながら、より想像を膨らませ、楽しい釣りのひとときをお過ごしください。

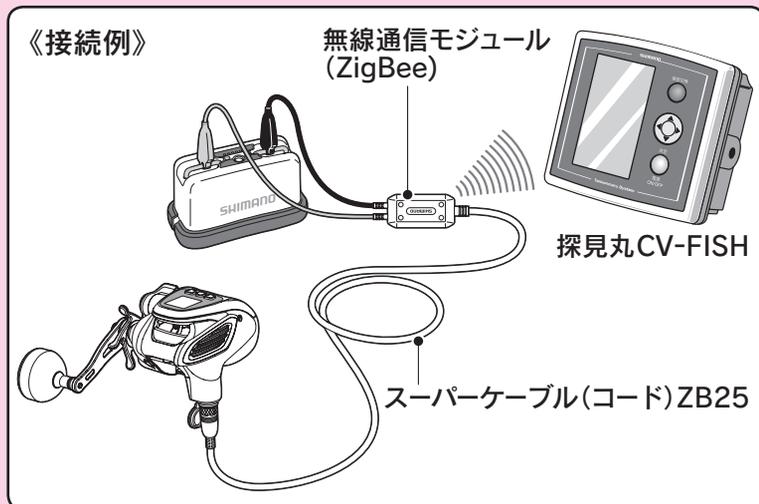
ご注意：

親機がシフトされている場合、親機の設定及び使用状況によりボトムラインが海底をトレースできない場合がありますが、本機の故障ではございません。魚群探知機特有の現象です。

電動リールとの無線通信方法について / 探見丸FISH FINDER(フィッシュファインダー)について

電動リールとの無線通信方法について

電動リールに無線通信モジュール (ZigBee) を内蔵したタイプを使用されるか、もしくは、無線通信モジュールを内蔵していない電動リールには別売の『スーパーケーブル (コード) ZB25』を使用することで探見丸 CV-FISH と無線通信が可能になります。

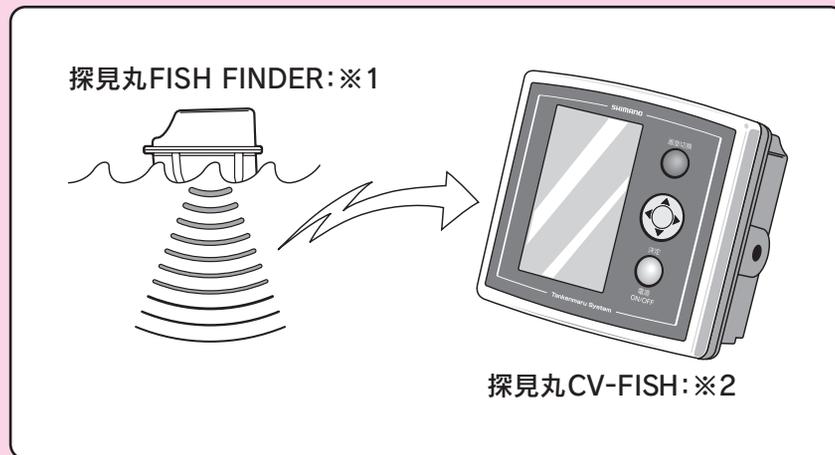


無線通信モジュール (ZigBee) 内蔵の電動リールやスーパーケーブル (コード) ZB25 を接続した電動リールにそれぞれ固有の ID ナンバーがあり、ご自身の電動リール、又は、スーパーケーブル (コード) ZB25 の ID ナンバーを選択していただく必要があります。

ご注意：お間違えのないように、ご自身の電動リール、又は、スーパーケーブル (コード) ZB25 の ID ナンバーをお選びください。

探見丸 FISH FINDER(フィッシュファインダー)について

遊漁船対応の探見丸システムと異なり、振動子 (探見丸 FISH FINDER : ※1) と子機 (探見丸 CV-FISH : ※2) が切り離され無線にて通信することにより、手元のポイント、遠くのポイントの情報を得る事ができるポータブル魚探です。



※釣りになられる前に確認してください

振動子にはそれぞれ固有のアドレスがあり、ご自身の振動子のアドレス ID ナンバーがあり、ご自分の振動子のアドレス ID ナンバーを選択していただく必要があります。実際の釣行に使われる前に振動子を水に浮かべ、通信が出来るかどうかご確認ください。

アキュフィッシュ機能について

アキュフィッシュ機能について

アキュフィッシュ機能とは単体魚をフィッシュマークで表示し、単体魚のサイズでも表示することができます。

水深2mから100mの間で、10cmから199cmまでの魚を表示することができます。

ご注意：

単体魚サイズの値は単体魚の大きさを判断する目安になる参考値であり、正確な魚の大きさを示しているものではありません。

●フィッシュマーク表示機能…

さらに見やすくするために、表示された反応を“フィッシュマーク”で表現する機能を搭載しています。魚群探知機の映像に見慣れていない方にも、視覚的に楽しく魚の反応表示を見ていただけます。単体魚サイズに応じてマークの大きさが異なります。

魚のサイズ

大 (100cm~199cm)



中 (50cm~99cm)

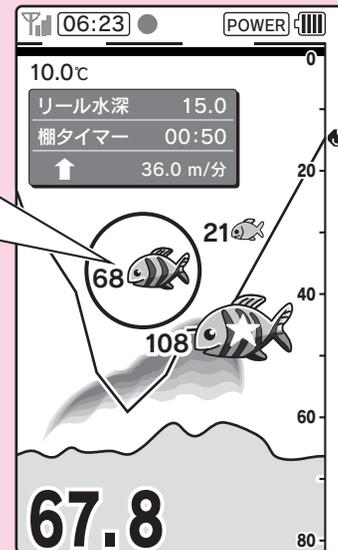


小 (10cm~49cm)



●ACCU-FISH 機能のメリット

10cm以上の魚の反応をフィッシュマークで表示するため、旧探見丸システムでは判別しづらかったターゲットも見つけやすくなります。



ご注意：アキュフィッシュ機能は古野電気社製のNEW探見丸親機 (FCV627) に対応しております。旧探見丸親機 (FN6000T)、FF10.4、FCV1150、FCV1100L、FCV1200L、FCV1500Lには対応していません。

NEW探見丸親機 (FCV627) の搭載船につきましては、シマノホームページの探見丸搭載船情報のご確認をお願いします。

探見丸搭載船情報アドレス

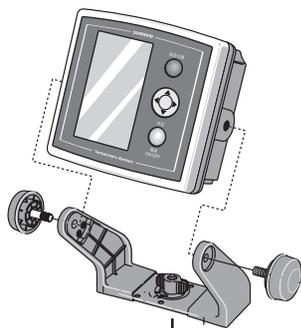
http://fishing.shimano.co.jp/fishing_info/tanken_shipinfo/index.html

システムの設置方法

1 探見丸CV-FISHの設置方法は釣りのスタイルに応じてお選びいただけます。

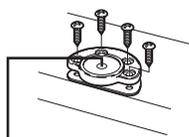
目的に合わせて、下記の取り付け器具・ケーブルを選んでご使用ください。

探見丸CV-FISHセット



①

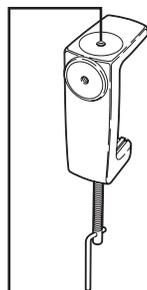
探見丸
船べりベース
船宿様貸し出し
orマイポート
位置固定直付け



パッキンと共に
船べりにネジで
固定

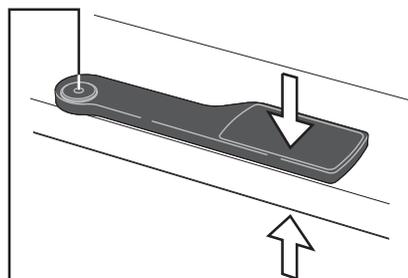
②

探見丸
固定クランプ
ジギングや
カワハギ釣りに



③

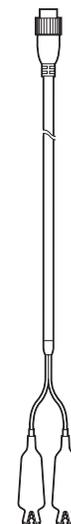
探見丸
サイドボード
市販のロッドキーパーを
使って固定



ロッドキーパーで
船縁に挟み込みます。

④

探見丸CV-FISH
電源ケーブル

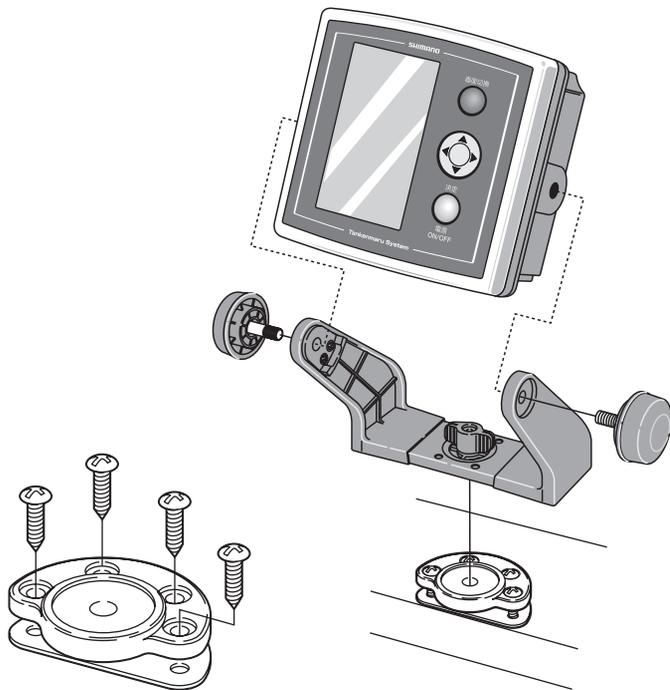


DC12V

●必要に応じて、ケーブル・取り付け器具を別途お買い上求めください。

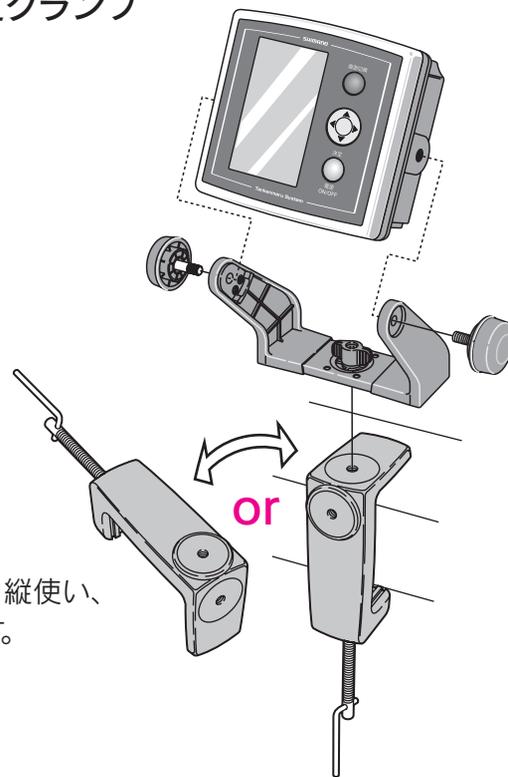
2 各取り付け器具の使用法

① 探見丸船ペリベース



ベースを船縁の手前側に仮セットし、鉛筆などで取り付け穴の位置4箇所印を付け、 $\phi 5\text{mm}$ のドリルで穴をあけて、ゴムパッキンを挟んで付属のネジで固定してください。

② 探見丸固定クランプ

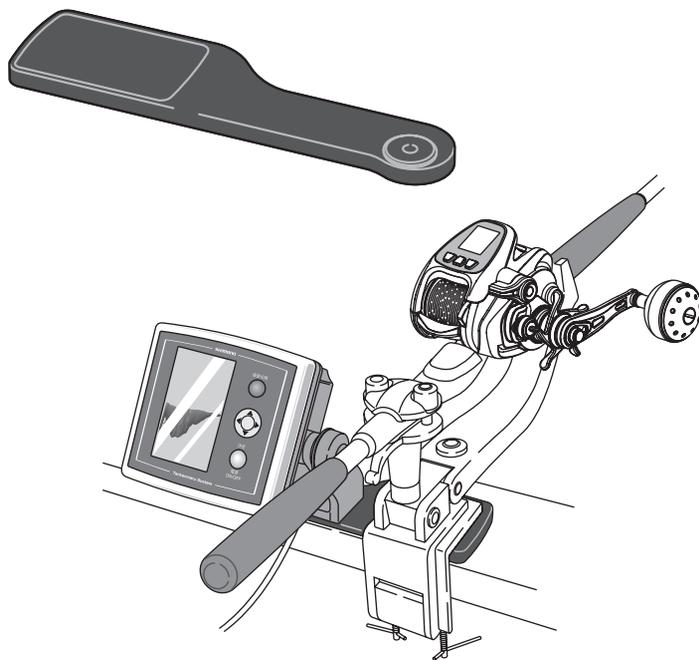


船縁の形状により縦使い、横使いを選べます。

※ご注意

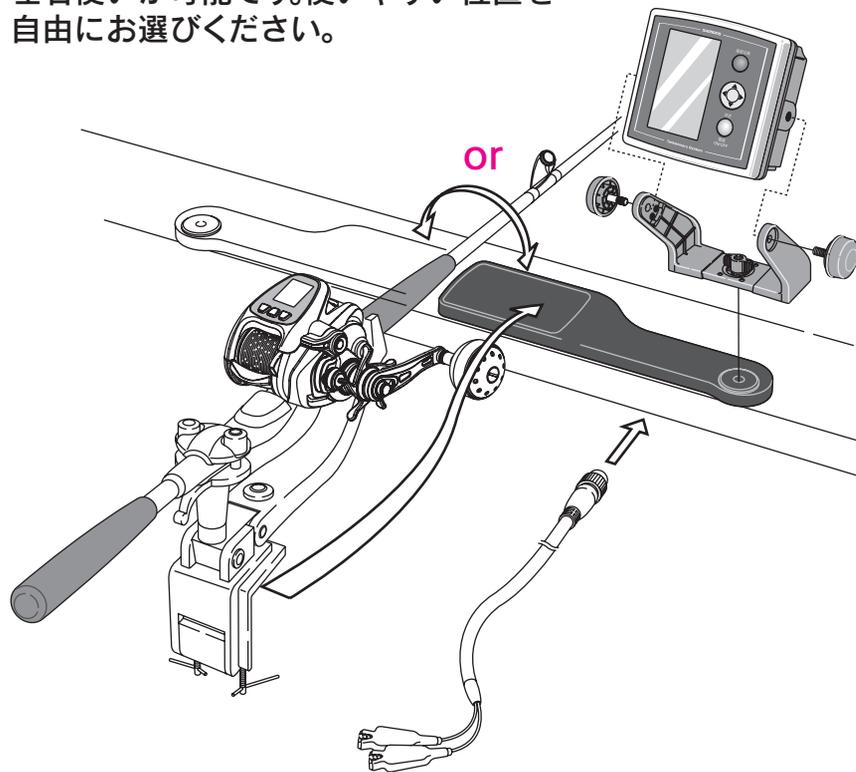
一旦セットした後、ハンガーをクランプに固定している固定ボルトを緩めずに、探見丸CV-FISHの横方向の取付角度を無理やり調整しますと、固定クランプに緩みが生じますのでお止めください。

③ 探見丸サイドボード



ロッドキーパーで船縁に挟み込みます。
リバーシブルで左右使いが可能です。
探見丸システム対応電動リールと同時にシステムを
構成する上での基本ベースです。

探見丸サイドボードはリバーシブルで
左右使いが可能です。使いやすい位置を
自由にお選びください。



④ 探見丸CV-FISH 電源ケーブル

魚探画面と操作ボタンについて

分時マーク (30秒ごとに1本)



親機との通信状態を表示しています。

バーが1本でも電波は弱いですが通信は可能です。

弱 中 強

底質マーク

探見丸Fish Finder接続のみ対応。

水温

古野電気社製の探見丸親機(FCV 627)に水温センサーが接続されているものに限りです。

デモ表示を選択されている時、点灯します。

仕掛の軌跡※1

海底

魚群

補助説明ウィンドウ

深度 (海底水深)

ライン速度実測値※1

実際の巻上げ速度と落下速度を表示します。

棚タイマー※1

リール水深表示※1

(電動リールカウンター表示水深)

魚体長(単位: cm)

フィッシュマーク

電動リールのモーター温度の状態を3段階(青→黄→赤)で表示。※2

さそいを選択されている時点灯します。※1

電動リールをリチウムイオンバッテリー(もしくは14.8V以上の電源)に接続されている時、点灯します。※2

バッテリー残量

(乾電池使用の時のみ点灯)

70~100% 30~50%

50~70% 10~30%

(点滅) 0~10%

画面を切り換えます。

選択カーソルの移動に用います。

▼▲ボタンを押すとレンジの変更ができます。

▶ボタンを押すと元のレンジに戻ります。

さそい機能をONにした時◀ボタンを押すとさそいの開始/停止をします。※1

シカケマーク※1

① 電源のON/OFF

電源ON …2秒以上長押し

電源OFF…3秒以上長押し

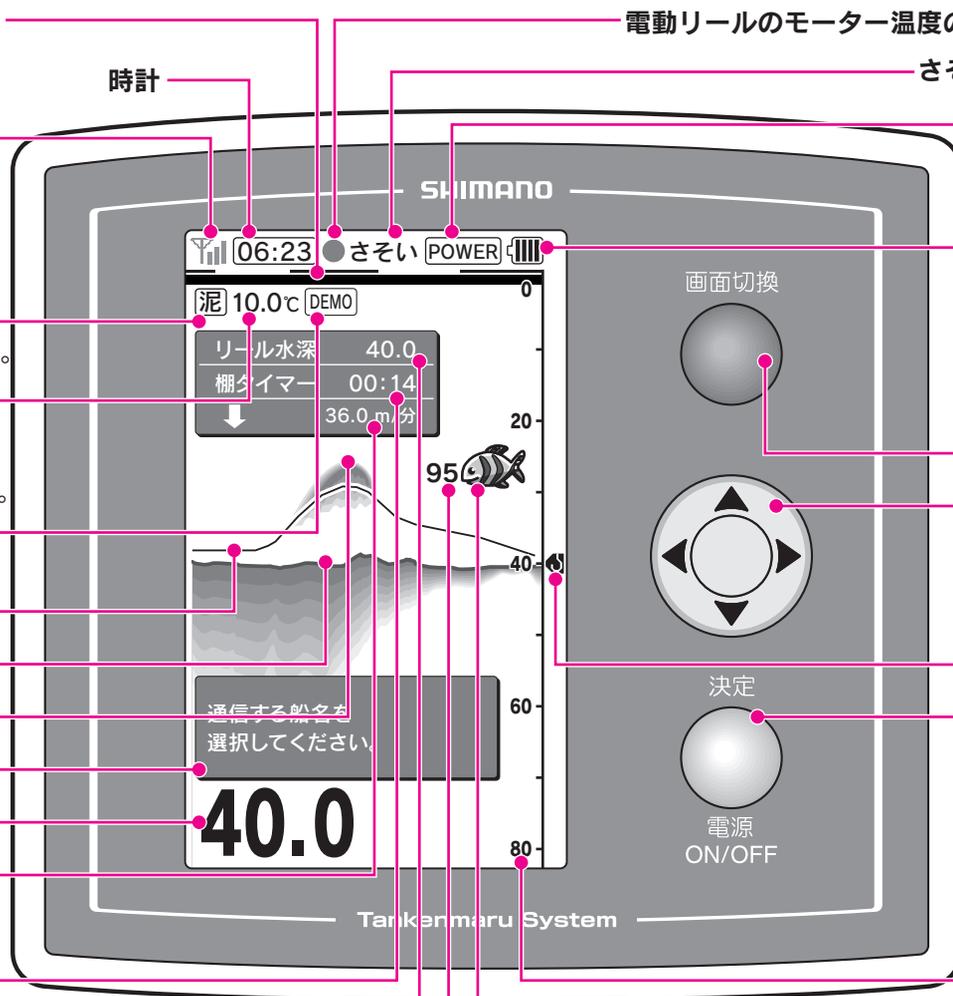
② 決定

選択したメニューの設定を実行します。

③ シカケ位置補正※1

設定時に、底取を行った時点で押します。

深度目盛



ご注意: 図は説明のために必要な表示を全部点灯させています。

※1印は対応電動リール接続時に機能します。

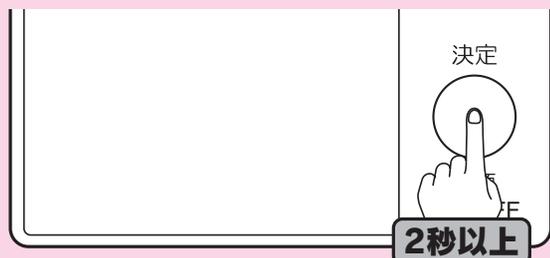
※2印は下記の電動リールと2013年以降の新製品の電動リールが対応。

12プレイズ800/1000、12フォースマスター2000MK/3000MK/9000、

12プレミオ3000、13フォースマスター400、13ビーストマスター3000

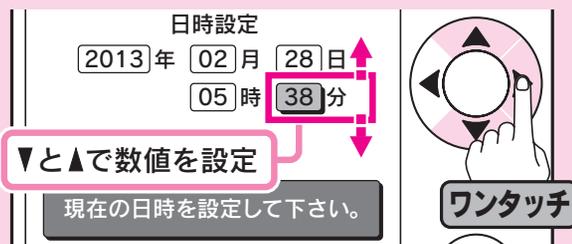
探見丸CV-FISHを起動します。

※取扱説明書の全ての画面図は例として表記しています。実際とは異なりますのでご了承ください。

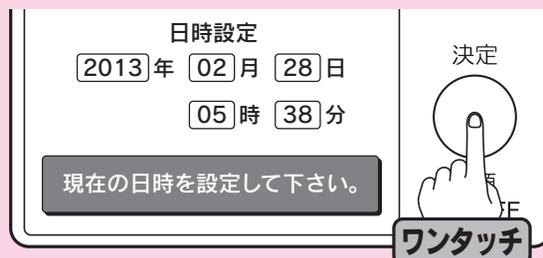


- 1** 電源ボタンを2秒以上押してください。電源が入ると画面にオープニング画像が表示されます。

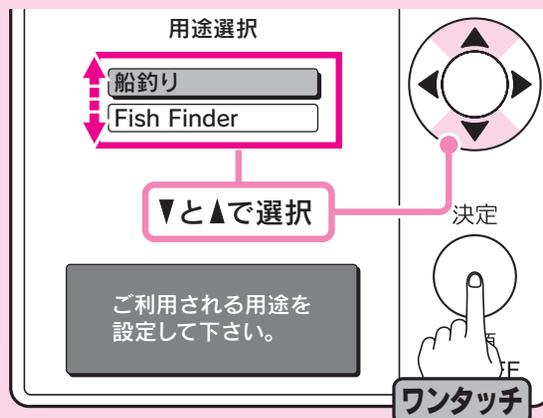
※2・3は初回起動時のみの設定になります。2回目以降は手順4からご参照ください。



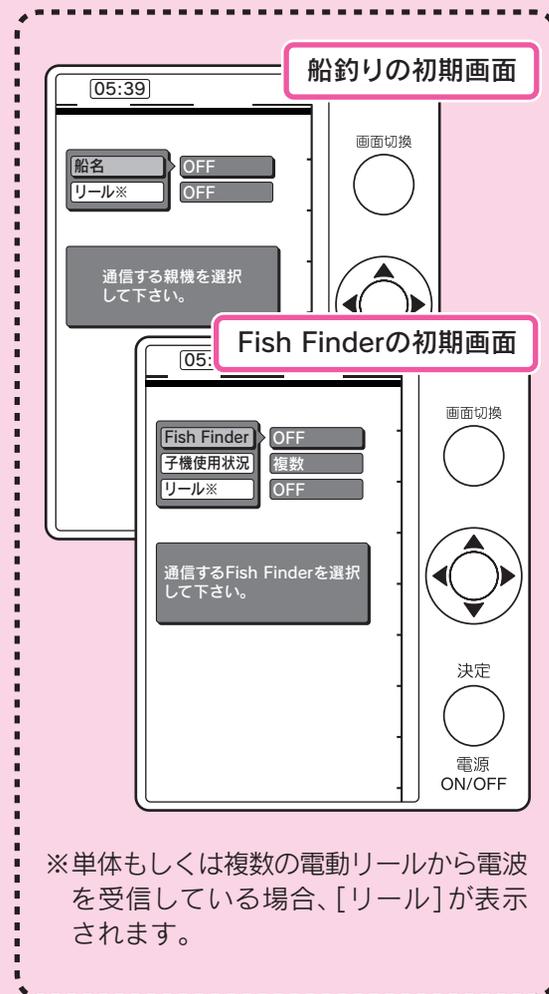
- 2** ▼と▲で数値を変更し、▶ボタンを押します。「年」「月」「日」「時」「分」を順番に設定します。



- 3** 設定完了後、決定ボタンを押してください。



- 4** 用途の選択を行います。▼と▲で[船釣り]・[Fish Finder]のいずれかを選択して、決定ボタンを押してください。



船釣りの場合、ご乗船される船名の選択

ご乗船される船名を選択してください。

探見丸システムは、船のキャビンに設置された親機となる魚探が取った映像を電波で飛ばし、船縁に設置された子機がその電波を受け、魚探映像が映るといシステムです。

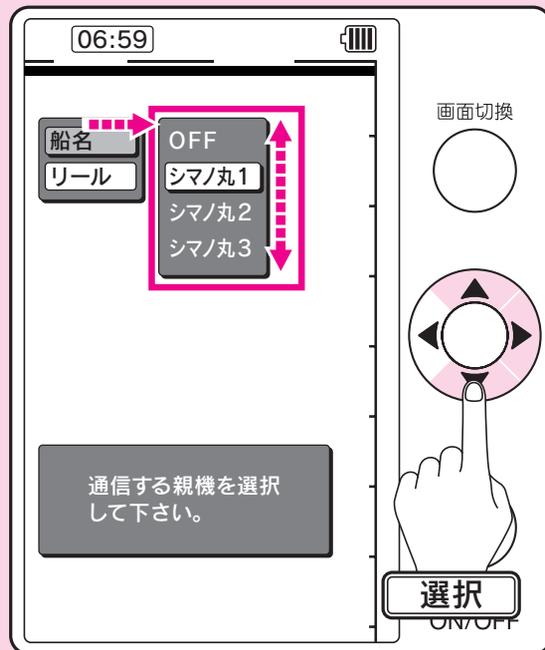
探見丸CV-FISHは、その通信を確固たるものとするための子機で、通信する「船名」を選択していただく必要があります。

港では船が密着しており、数隻の船名が出る場合があります。必ず乗船された船名を確認していただき選択してください。

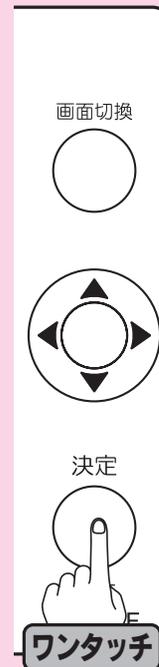
海上でも他船の電波が拾える場合がありますが、通信電波の特性上、子機が正常に電波を拾えません。

また、海底映像としても自船のものではないので、情報として釣りに全く応用できません。

自船の電波をしっかりとキャッチしていただき、見る事のできなかつた海底映像を見ながら、より想像を膨らませ、楽しい釣りのひとときをお過ごしください。



1 船名選択画面で[船名]を選択して、▶を押してください。▼と▲で通信する船名を選択し、決定ボタンを押してください。

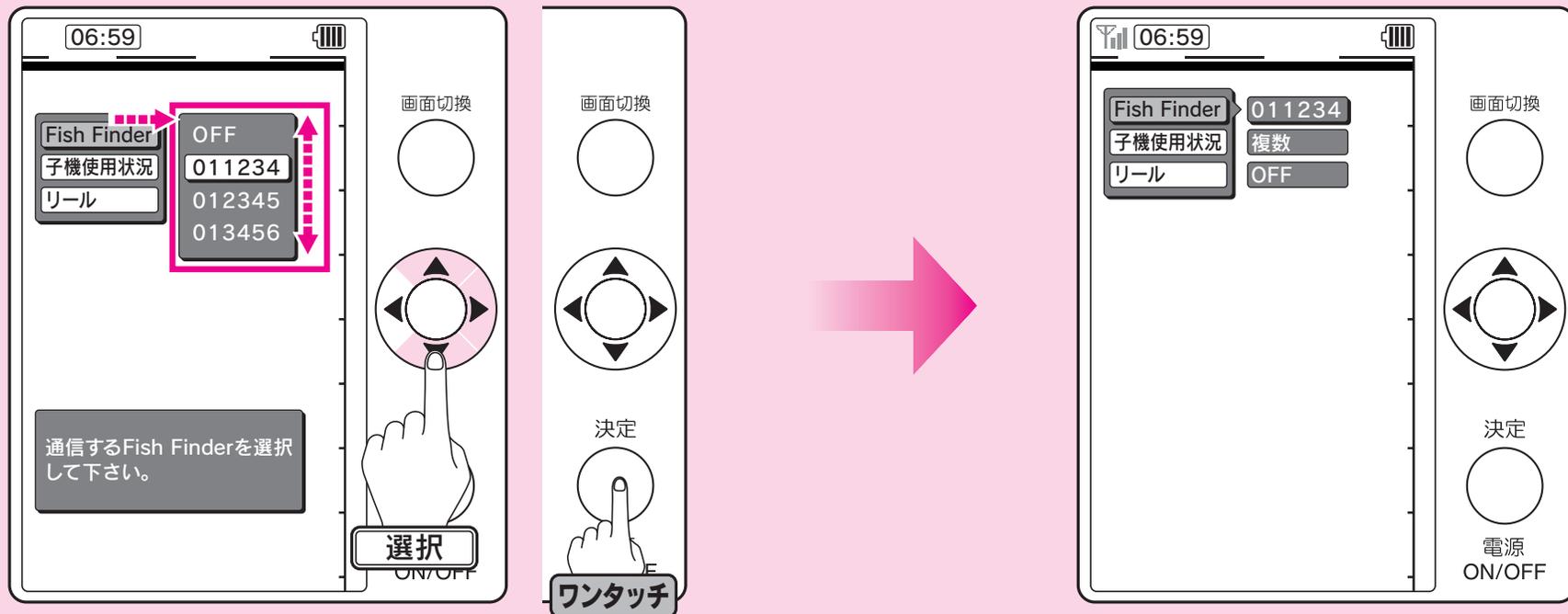


2 船名が設定されます。

ご注意：遊漁船の親機がONになっていない場合や電波が届かない場所（ご自宅など）では船名の選択画面に船名が表示されません。

Fish Finderの場合、ご使用になるFish Finderを選択

通信をするFish Finder(振動子)を選択してください。



- 1 Fish Finder 選択画面で [Fish Finder] を選択して、▶を押してください。▼と▲でご使用になるFish FinderのアドレスIDナンバーを選択し、決定ボタンを押してください。

- 2 設定が完了しました。

Fish Finderの場合、子機の使用状況の設定

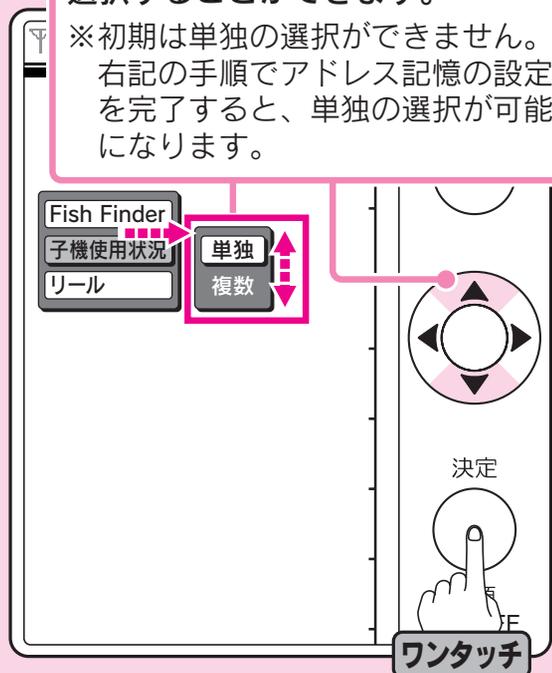
単独または複数の子機をご使用になれます。

※1つの振動子(FishFinder)でも子機の探見丸が複数あればグループみんなでみることができます。

※初期設定は、「複数」になっています。

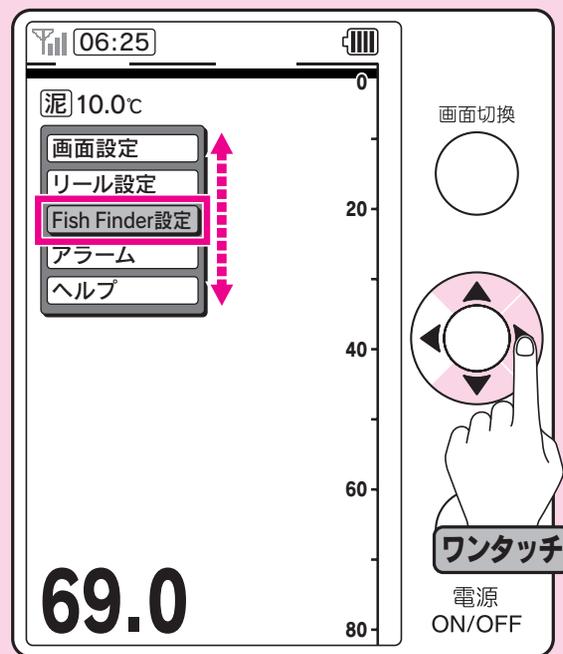
▼と▲で[単独][複数]のいずれかを選択することができます。

※初期は単独の選択ができません。
右記の手順でアドレス記憶の設定を完了すると、単独の選択が可能になります。



Fish Finder 選択画面で[子機使用状況]を選択して、▶ ボタンを押してください。
[単独][複数]のいずれかを選択して、決定ボタンを押してください。

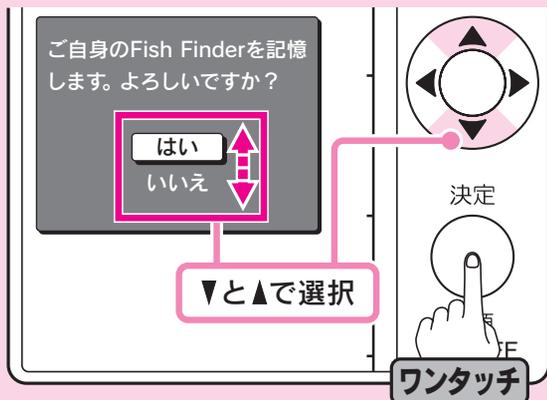
● 初めに Fish Finder 設定のアドレス記憶の設定を行ってください。



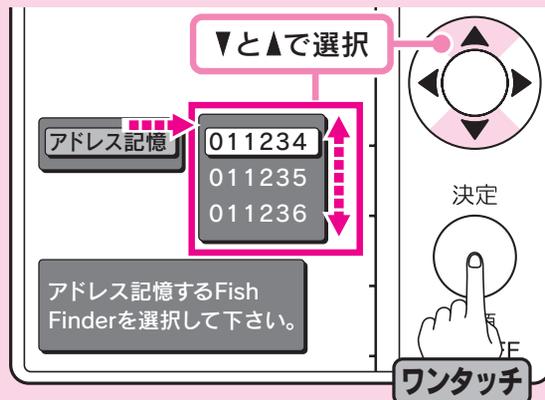
1 画面切換ボタンで設定画面に切換え、
[Fish Finder 設定]を選択して▶ ボタンを押すと Fish Finder 設定画面が表示されます。



2 FishFinder 設定画面で[アドレス記憶]を選択して、決定ボタンを押してください。

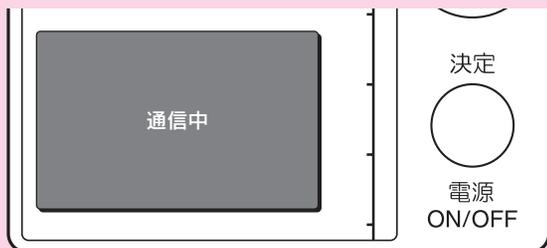


- 3** ▼と▲で[はい]を選択して、決定ボタンを押してください。



- 5** ▼と▲で記憶するアドレスIDナンバーを選択し、決定ボタンを押してください。

ご注意：お間違えのないように、ご自身のFish Finderをお選びください。

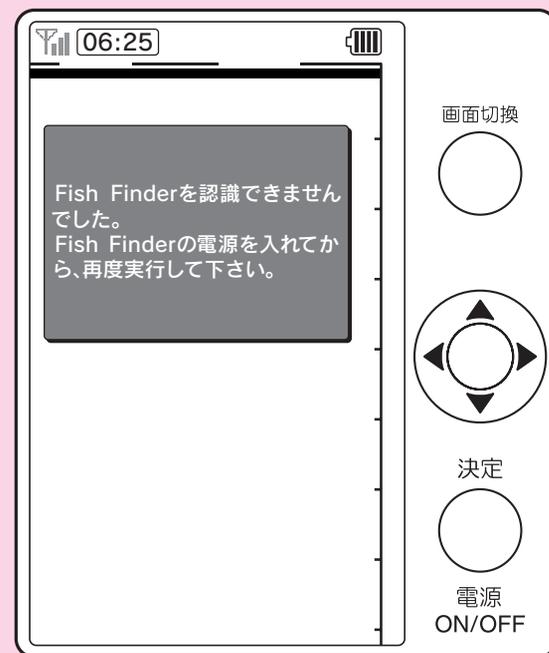


- 4** 画面に[通信中]と表示されます。



- 6** 設定完了です。

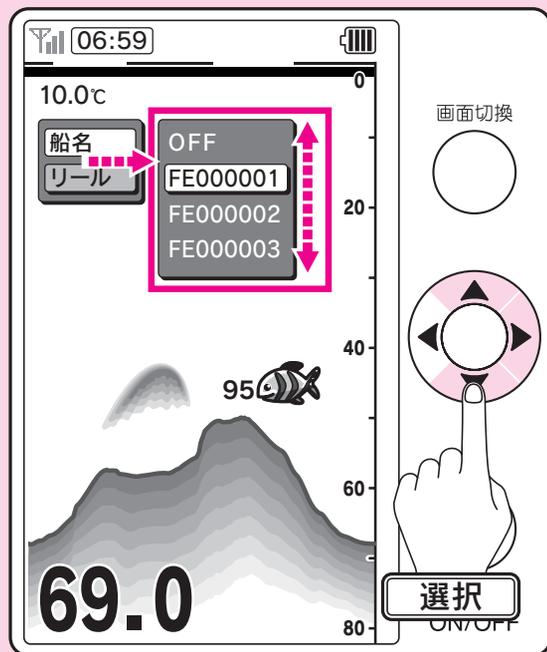
通信を失敗した場合



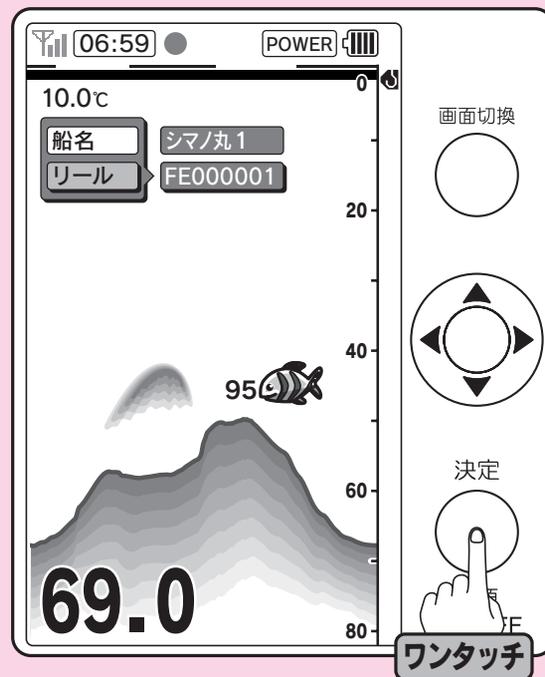
Fish Finderの電源が入っているか確認をして、再度**2**～**3**の手順を実行してください。

電動リールの選択

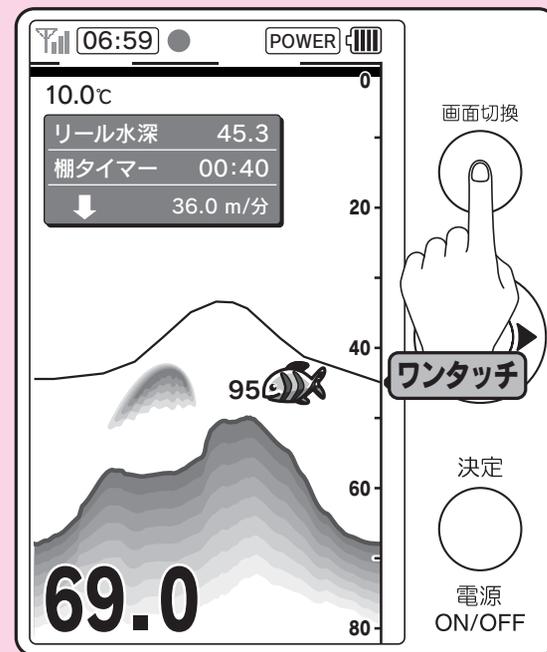
探見丸CV-FISHと無線通信する電動リール、又は、スーパーケーブル(コード)ZB25のIDナンバーを選択してください。



- 1** 船名選択画面で[リール]を選択して、▶を押してください。▼と▲でご使用になる電動リール、又は、スーパーケーブル(コード)ZB25のIDナンバーを選択してください。



- 2** 決定ボタンを押すと設定完了です。



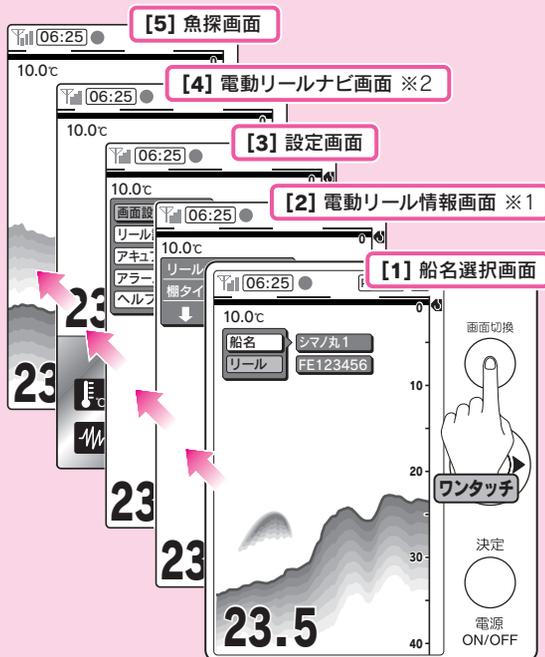
- 3** 画面切換ボタンを押して、電動リール情報画面に切り換えると、電動リールの情報が表示されます。

ご注意：お間違えのないように、ご自身の電動リール、又は、スーパーケーブル(コード)ZB25のIDナンバーをお選びください。

設定画面の操作方法

探見丸CV-FISHの設定は全て設定画面で行います。

必要に応じて下記の操作方を参照してください。各画面の解説および設定可能な機能は18～21ページまでをご覧ください。
(危険防止のために、電動リール接続の際はモーターOFF時のみ設定画面に入ることができます。)



- 1 モーターが停止した状態で、画面切換ボタンを押すごとに[1]、[2]、[3]、[4]、[5]の順に切り換わります。

ご注意：

- ※1. 電動リール情報画面は電動リールを接続されていない場合は表示されません。
- ※2. 電動リールナビ機能は設定がONされていない場合、画面は表示されません。

- 2 ▼と▲で選択カーソルを上下に移動させ、設定したい機能に合わせます。選択できない機能は現在使用不可能です。設定途中に接続した電動リールのモーターをONしたり、再度画面切換ボタンを押した場合は、設定の変更が行われず、画面が切り換わります。

- 3 ▶を押すと各機能内のメニューが表示されます。表示されるメニューの内容は選択した機能によって異なります。図は[デモ]を選択した場合を例としています。

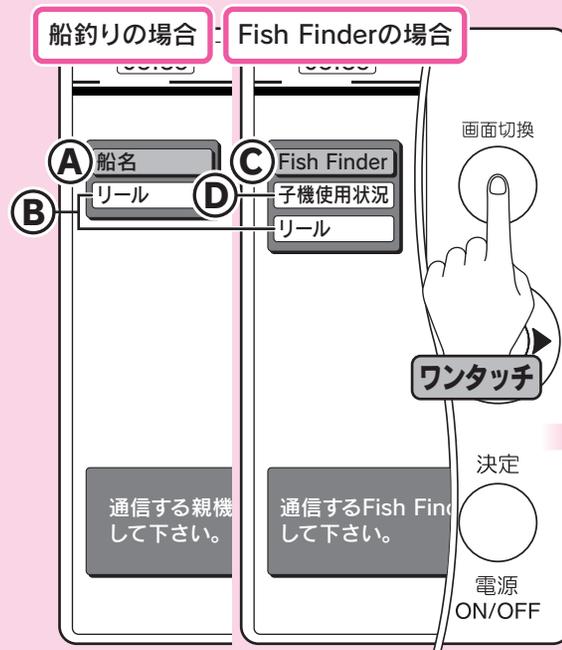
- 4 設定画面に戻る場合は◀ボタンを押します。

画面の切換え



- [画面切換]で各画面を切り換えることができます。

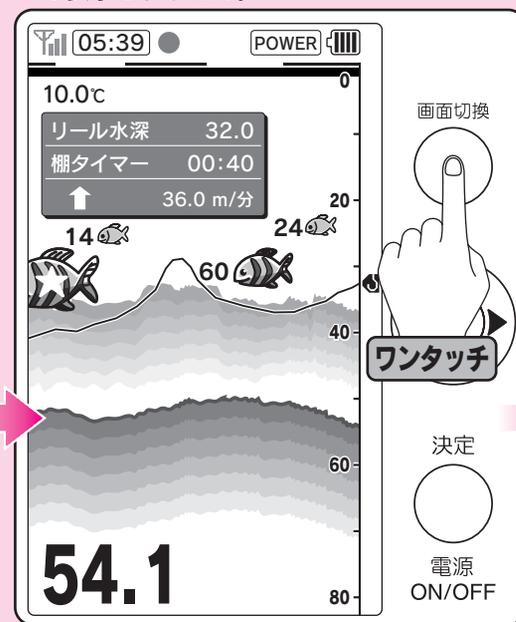
船名もしくは、Fish Finder選択画面



- (A) [船名]… (12ページへ)
通信する船名を選択します。
- (B) [リール]… (16ページへ)
通信する電動リールを選択します。

電動リール情報画面

※電動リールが接続されていない場合は画面は表示されません。

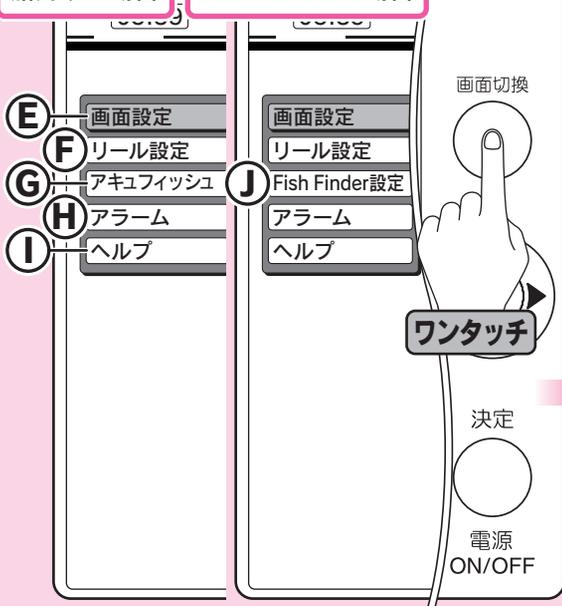


- (C) [Fish Finder]… (13ページへ)
通信するFish Finderを選択します。
- (D) [子機使用状況]… (14ページへ)
ご自分の子機のみを使用するか、複数の子機を使用するかを選択します。

設定画面

船釣りの場合

Fish Finderの場合



E [画面設定]…(20ページへ)

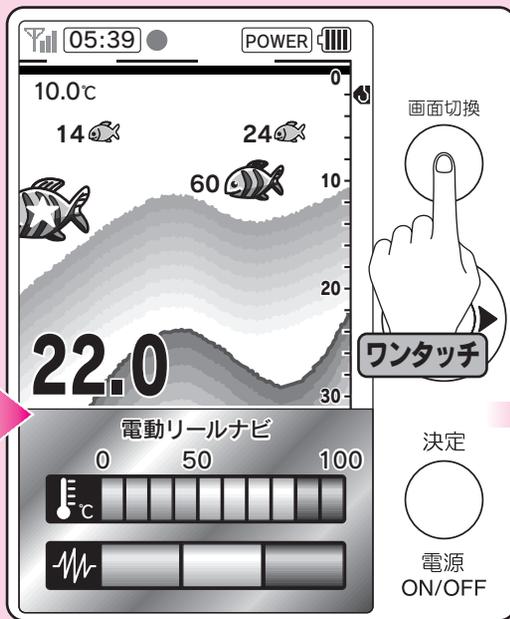
探見丸CV-FISH単体の機能
[画面設定画面へ]

F [リール設定]…(21ページへ)

電動リールと通信状態で使用できる機能
[リール設定画面へ]

電動リールナビ画面

※電動リールナビ機能がONされていない場合は画面は表示されません。



G [アキュフィッシュ]…(60ページへ)

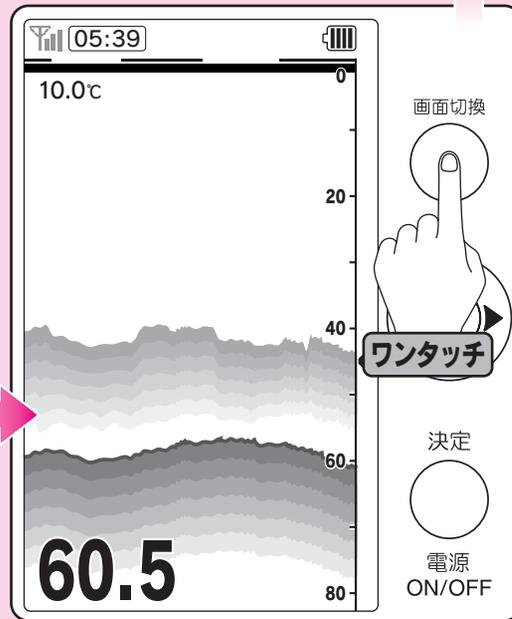
単体魚をフィッシュマークで表示し、単体魚のサイズでも表示することができます。

H [アラーム]…(63ページへ)

魚群アラームと電動ブレーカー警告アラームのON/OFFの切換。

船名もしくは、Fish Finder選択画面

魚探画面



I [ヘルプ]…(65ページへ)

機能の説明

J [Fish Finder設定]…(66ページへ)

Fish Finderと通信状態にある時に使用できる設定メニュー。

探見丸CV-FISHの機能一覧 ～単体の機能～

探見丸CV-FISH単体では、
下記の機能をご使用いただけます。



① [画像送り]… (22ページへ)

魚探画面の移動速度を変更します。

② [シフト]… (23ページへ)

現在見ている表示範囲をそのまま上下に移動させ、深い所や浅い所を見ることができます。

③ [レンジ]… (24ページへ)

魚探画面に表示する水深のレンジを設定します。

④ [底拡大]… (26ページへ)

魚探画面の下半分を2倍に拡大表示します。

⑤ [ボトムライン]… (27ページへ)

魚探画面で底と思われる部分にラインを引きます。

⑥ [タイドグラフ]… (28ページへ)

指定した地域の潮汐を確認することができます。

⑦ [背景色]… (29ページへ)

画面の背景色を設定できます。

⑧ [画面輝度]… (29ページへ)

画面の明るさを3段階で調整できます。

⑨ [日付]… (30ページへ)

日付の設定を行います。

⑩ [時刻]… (31ページへ)

時刻の設定を行います。
設定後、魚探画面に表示されます。

⑪ [デモ]… (32ページへ)

魚探画面で魚探のデモ画面が表示されます。

⑫ [初期化]… (33ページへ)

出荷状態に戻します。

ご注意: ①②③は用途選択で「船釣り」を選択された場合は、ご利用できません。
「Fish Finder」選択時の機能になります。

探見丸CV-FISHの機能一覧 ～電動リール対応機能～

対応電動リールと組み合わせますと、さらに以下の機能がご使用可能です。



対応電動リールはこのマークが目印です。

※対応電動リールの機種によって使用可能になる機能は異なります。

① リール設定画面

機能番号	機能名	現在の設定
13	楽速切替	楽楽
14	糸送り	ON
15	上/底切替	上から
16	さそい	OFF
17	さそい幅	連続
18	棚停止	OFF
19	オートさそい	OFF
20	仕掛軌跡	OFF
21	位置補正	OFF
22	仕掛回収	OFF
23	電動リールナビ	OFF
24	水深並列表示	OFF
25	ファイト時間表示	OFF
26	リールデータ	現在の設定

⑬ [楽速切替]… (34ページへ)

楽速モード・速度一定モードの切り替えができます。

⑭ [糸送り]… (35ページへ)

糸送り機能のON/OFFが操作できます。

⑮ [上/底切替]… (36ページへ)

「上から/底から」機能を切り替える事ができます。

⑯ [さそい]… (37ページへ)

さそい種類が選択でき、さそいパターンの入力も可能です。

⑰ [さそい幅]… (42ページへ)

さそいを実行する幅を設定します。

⑱ [棚停止]… (46ページへ)

棚停止モードON/OFF、および棚停止水深の設定ができます。

⑲ [オートさそい]… (47ページへ)

棚停止後、自動的にさそい動作を開始させる事ができます。

⑳ [仕掛軌跡]… (51ページへ)

仕掛の軌跡のON/OFFが選択できます。

㉑ [位置補正]… (53ページへ)

仕掛表示位置の補正。さそいON時は使用不可。

㉒ [仕掛回収]… (55ページへ)

仕掛が船縁まで回収される時間が表示されます。

㉓ [電動リールナビ]… (56ページへ)

電動リールのモーター温度と電流レベルをグラフで表示します。

㉔ [水深並列表示]… (57ページへ)

リールの水深と海底の水深を並列に表示します。

㉕ [ファイト時間表示]… (58ページへ)

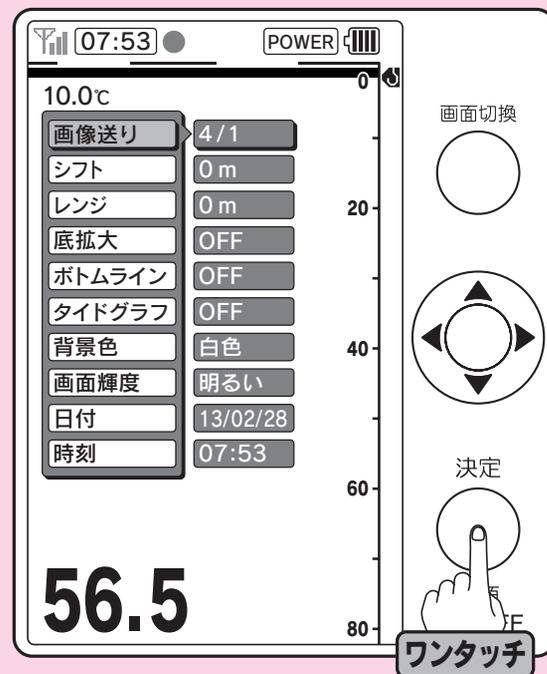
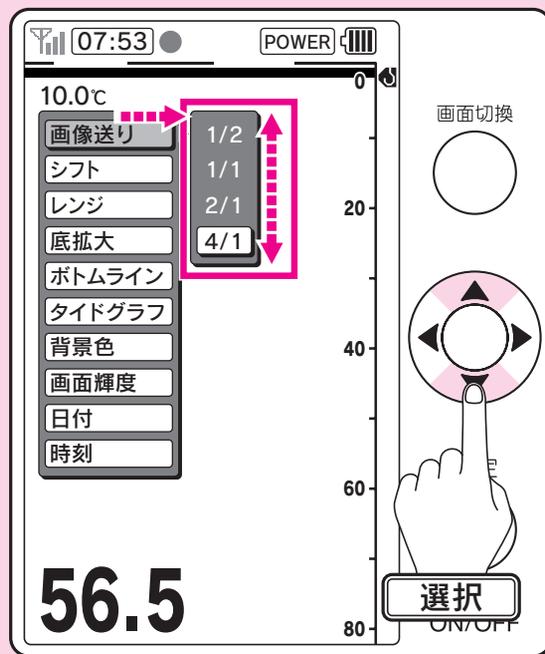
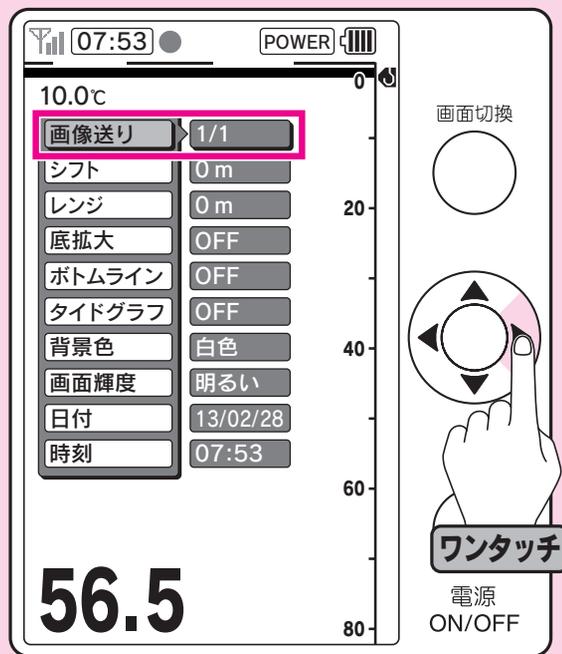
電動で巻き始めた時から、船縁停止までにかかった時間を表示します。

㉖ [リールデータ]… (59ページへ)

本機に接続されている電動リールのデータ(巻上距離・使用時間・ブレーカー作動回数)を見ることができます。

① 画像送りの設定 ※「Fish Finder」使用時の機能です。

魚探画面の移動速度を変更できます。



1 画面設定画面で[画像送り]を選択して、▶を押してください。

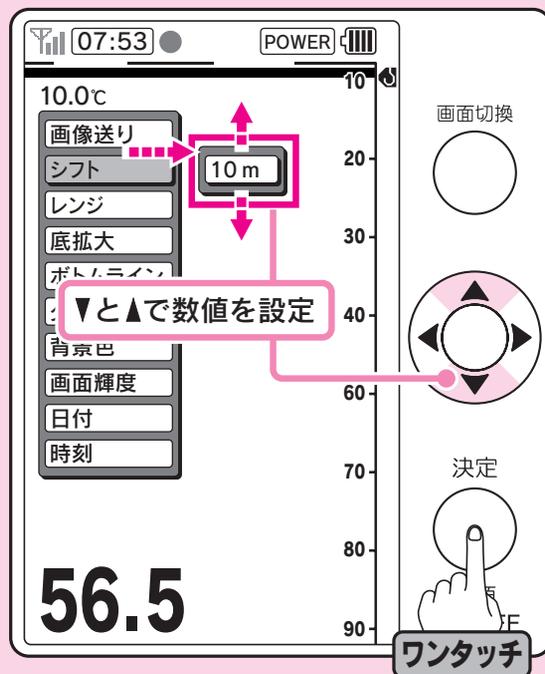
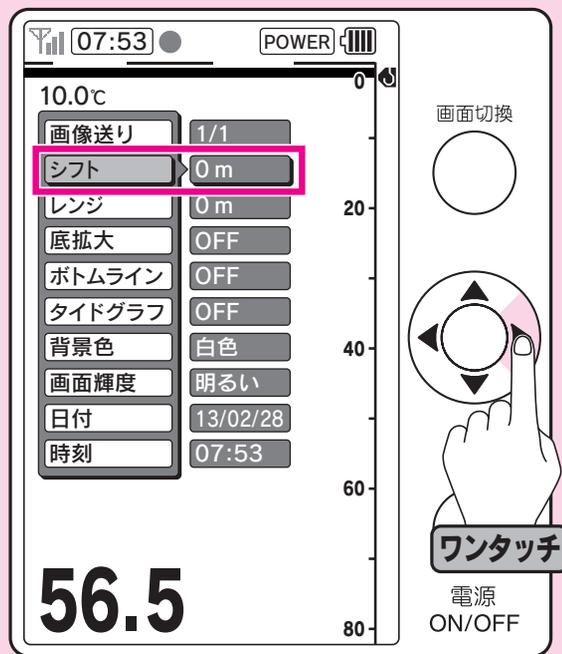
2 [画像送り]メニューから▼と▲で[1/2][1/1][2/1][4/1]のいずれかを選択してください。

3 決定ボタンを押すと設定完了です。

② シフトの設定 ※「Fish Finder」使用時の機能です。

深度目盛の初期表示の設定。

現在見ている表示範囲をそのまま上下に移動させ、深い所や浅い所を見ることができます。



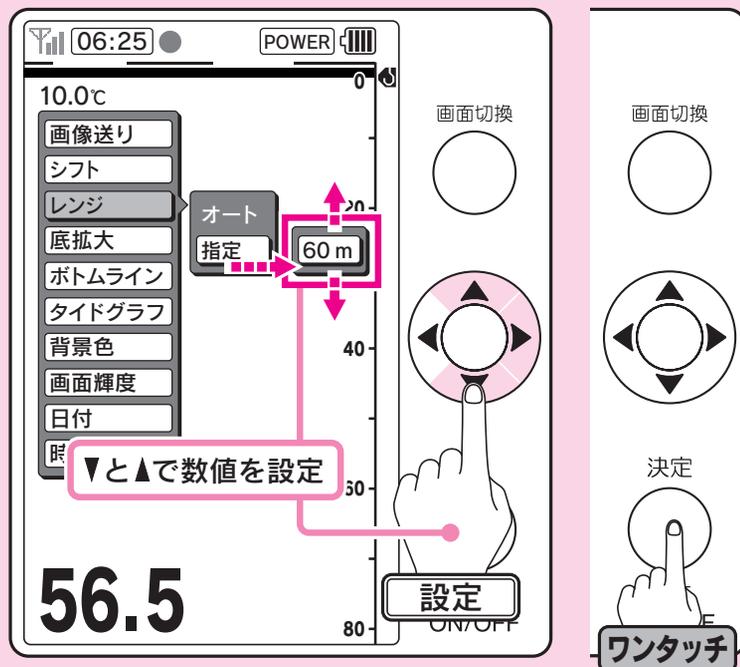
1 画面設定画面で[シフト]を選択して、
▶ ボタンを押してください。

2 ▼と▲で数値を変更し、決定ボタンを
押すと設定完了です。

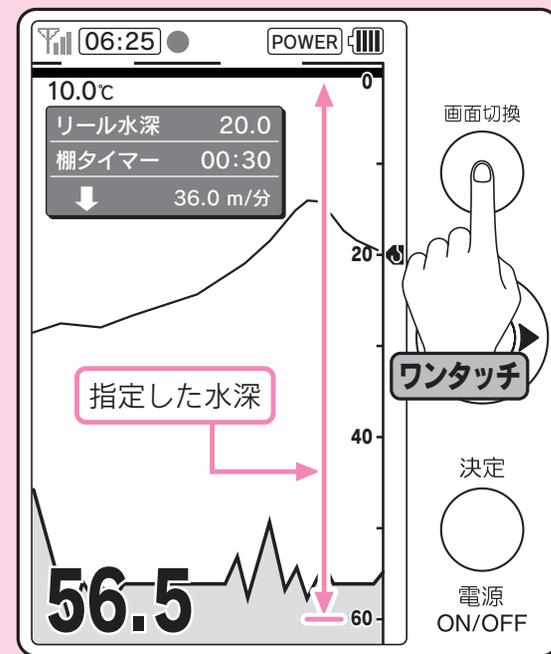
③ レンジの設定 ※「Fish Finder」使用時の機能です。

深度の表示幅を指定できます。

※初期の状態は[オート]に設定されています。



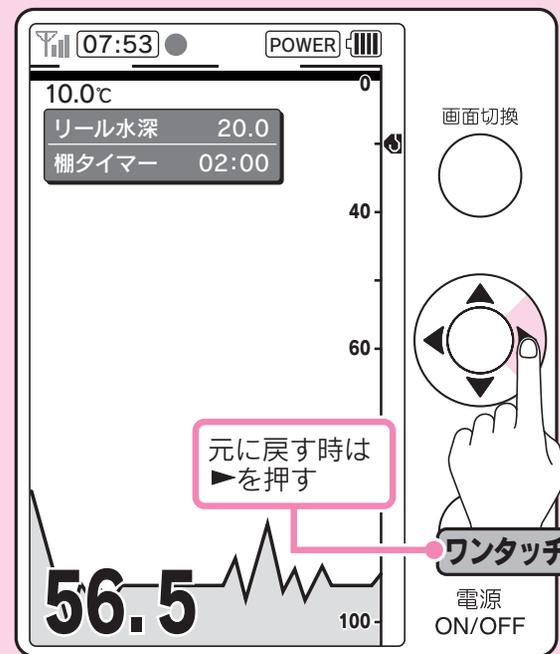
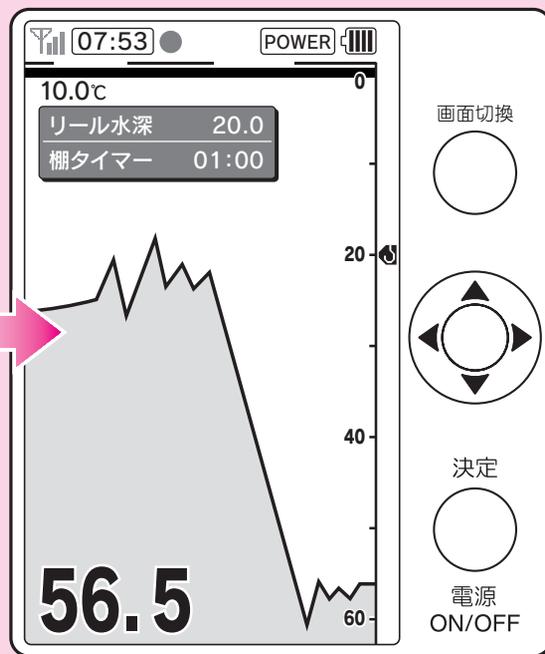
画面設定画面で[レンジ]→[指定]を選択して、▼と▲で数値を設定してください。



簡単なレンジの設定

底のレンジを簡単に変更することができます。

底の映像が画面の中央にあり、魚影の反応等が見づらい時、▼と▲を押すとレンジを変更することができます。



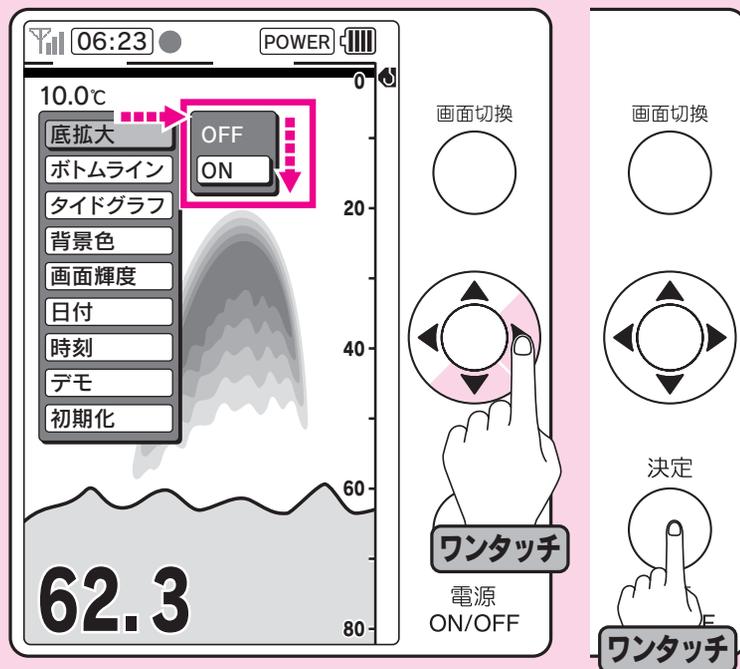
- 1** もっと上を拡大して見たい！
見づらい…
このような場合に▲を押すと…

- 2** 底より上を広範囲に表示し始めます。

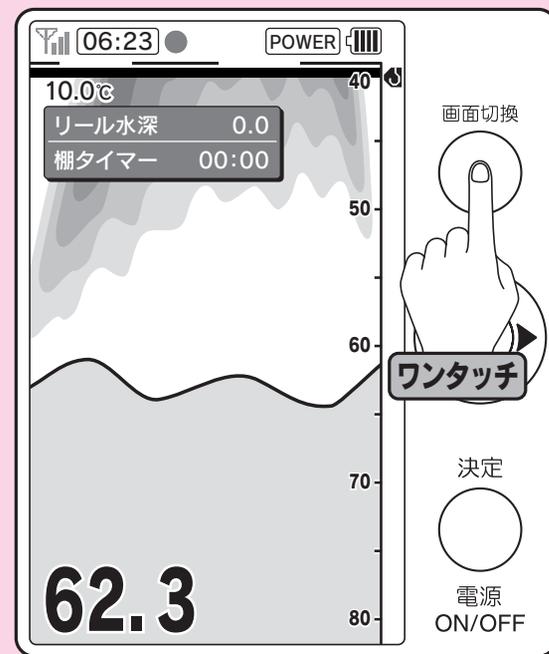
- 3** 元に戻す時は▶で戻ります。

④底拡大

魚探深度の下半分を縦方向に2倍に拡大します。
海底付近の魚群を把握するのに便利です。



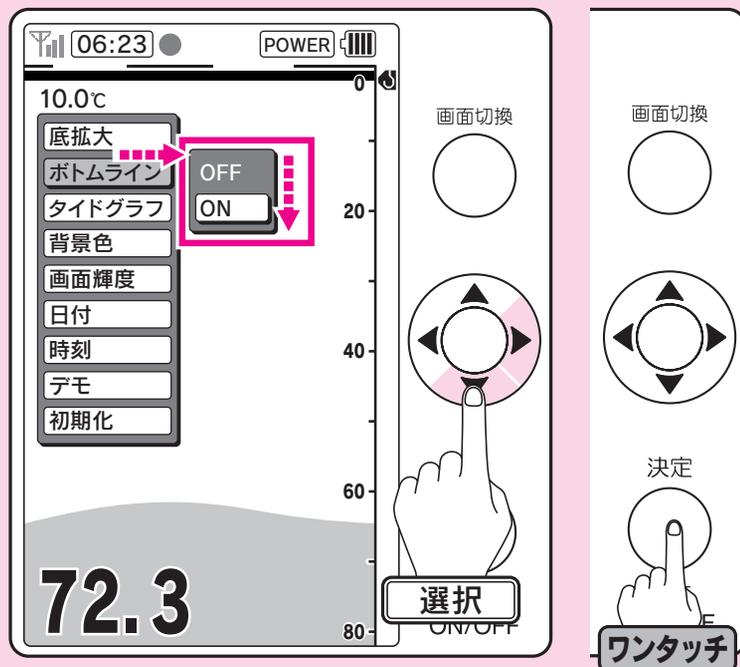
1 画面設定画面で[底拡大]→[ON]を選択し、決定ボタンを押してください。



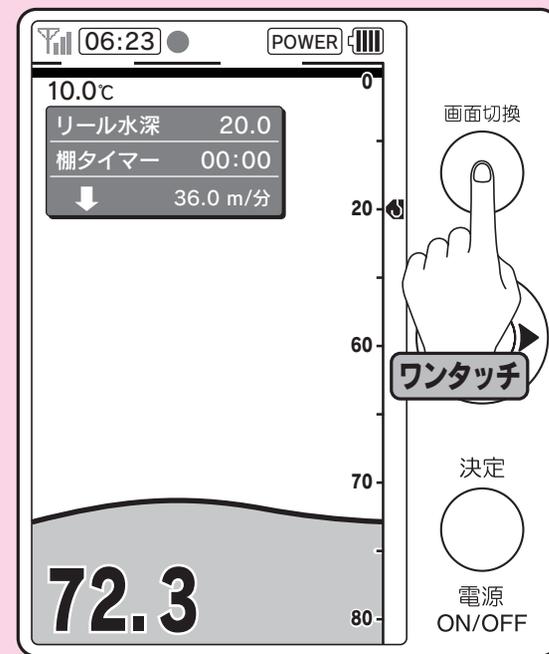
2 画面切換ボタンで魚探画面に戻ると、魚探深度の下半分を縦方向に2倍に拡大して表示します。

⑤ ボトムライン

魚探画面の海底部に境界線を表示できます。



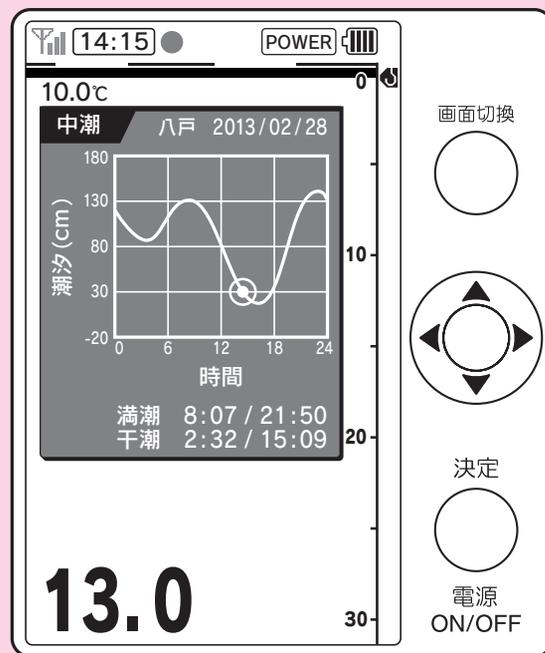
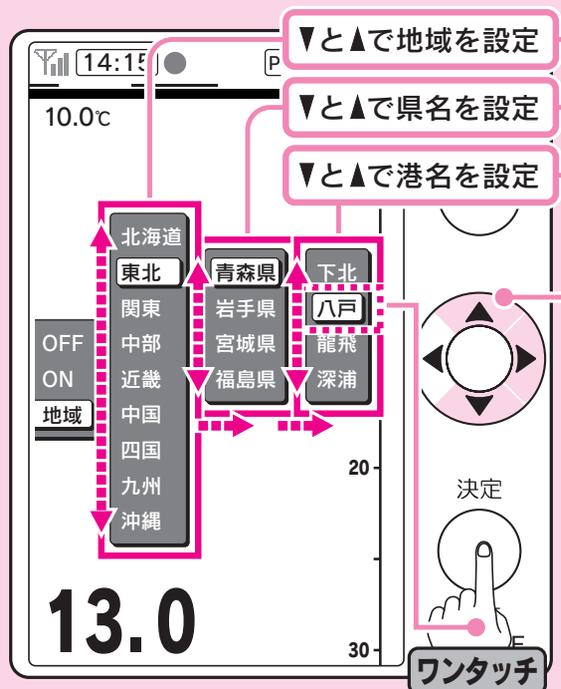
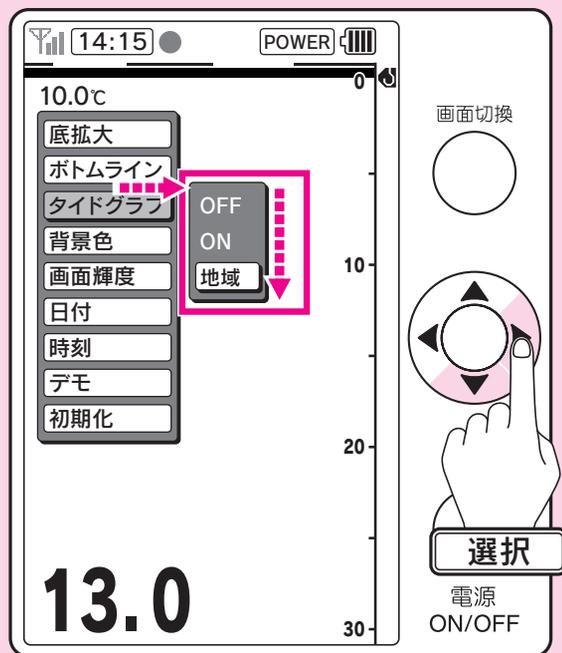
- 1 画面設定画面で[ボトムライン]→[ON]を選択し、決定ボタンを押してください。



- 2 画面切換ボタンで魚探画面に戻ると、海底部に境界線が表示されます。
根が多数あり複雑な場合、ボトムラインが上、下へと切り替わることがあります。その場合は根が単体ではなく複数あることを意味しています。

⑥ タイドグラフ

指定した地域の潮汐（タイド）を確認することができます。



- 1 画面設定画面で「タイドグラフ」→「地域」を選択して、決定ボタンを押してください。

※ 「地域」の設定が完了している場合は「ON」を選択して決定ボタンを押してください。

- 2 ▼と▲で「地域」を選択して、決定ボタンを押してください。

- 3 ▼と▲で「県名」を選択して、決定ボタンを押してください。

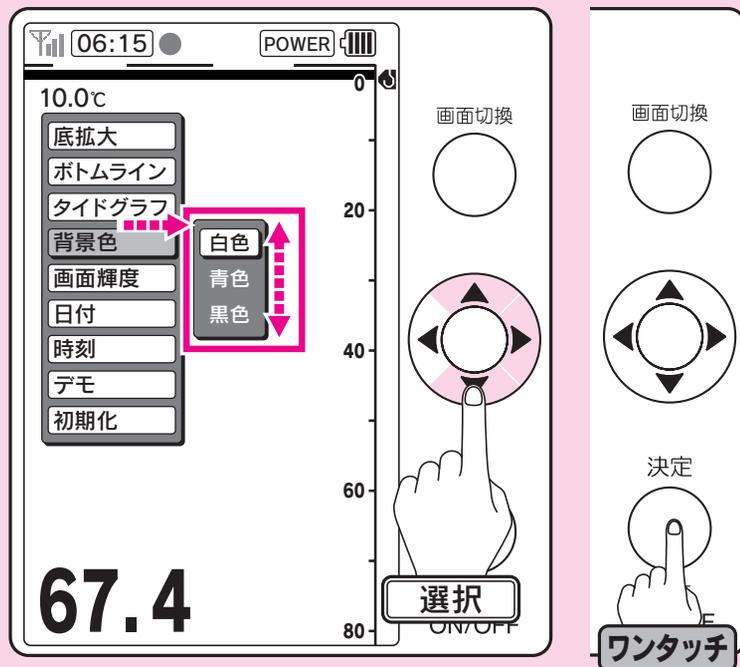
- 4 ▼と▲で「港名」を選択して、決定ボタンを押してください。

- 5 タイドグラフが表示されます。

⑦背景色 / ⑧画面輝度

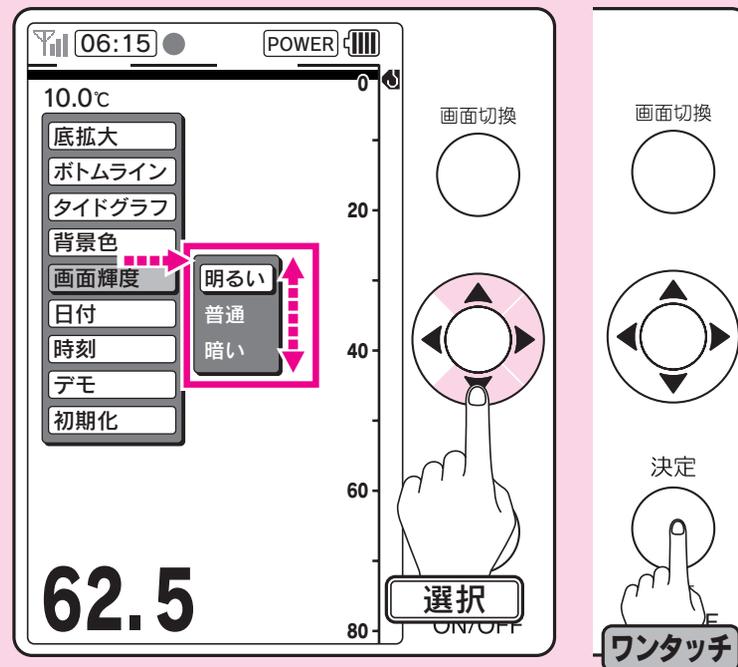
魚探画面の背景色を設定できます。

[白色]・[青色]・[黒色]からお好みで選択できます。



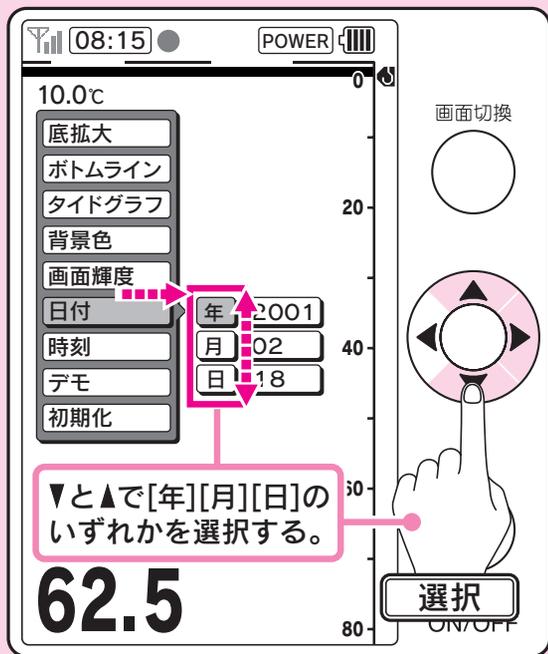
画面輝度を選択することができます。

画面の明るさを3段階で調整できます。



⑨日付

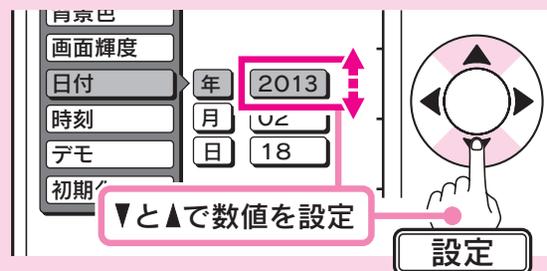
現在の日付に合わせてご利用ください。



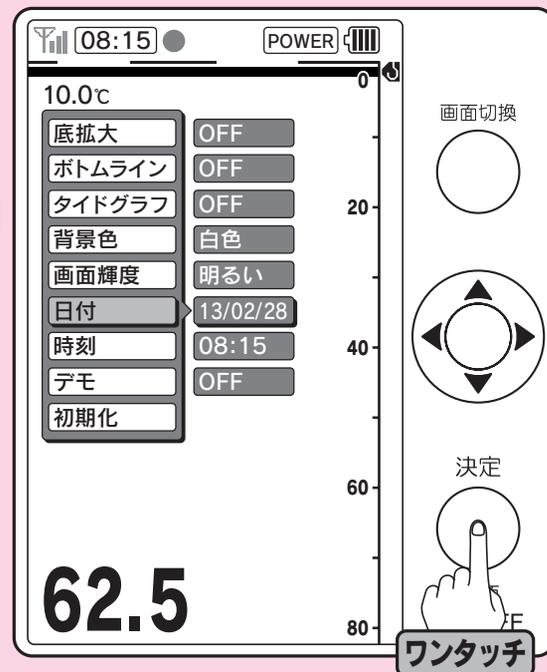
- 1** 画面設定画面で「日付」を選択し、▼と▲で「日付」のメニューを表示させます。▼と▲で設定する[年]・[月]・[日]のいずれかを選択します。



- 2** [年]・[月]・[日]のいずれを選択し、▶を押してください。



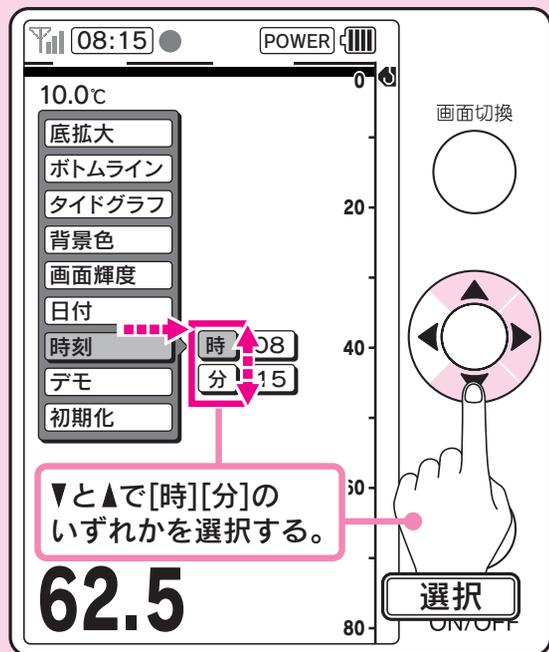
- 3** ▼と▲を押すと数値が増減しますので、現在の日付に設定してください。
※他の設定値も変更する場合は◀ボタンを1回押して戻り、続けて行います。



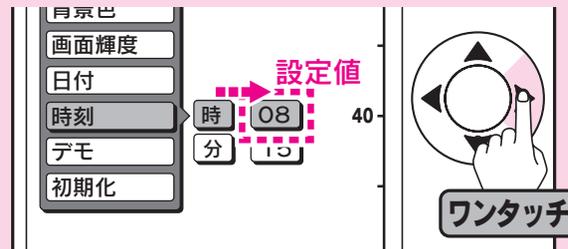
- 4** 決定ボタンを押すと設定完了です。

⑩時刻

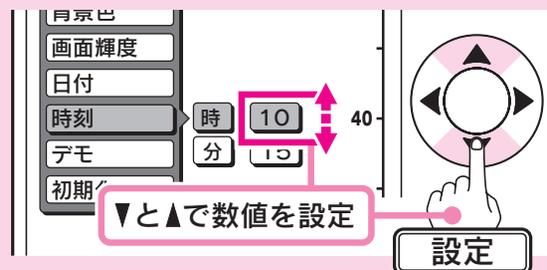
画面左上に時刻を表示していますので、現在の時刻に合わせてご利用ください。



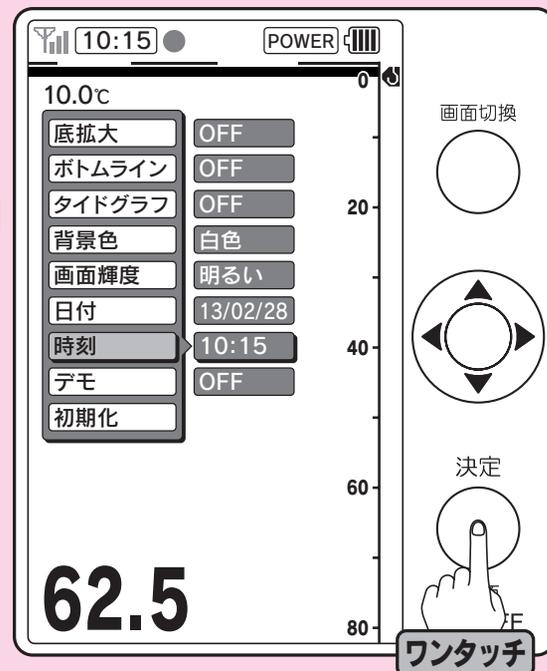
- 1** 画面設定画面で[時刻]を選択し、▶で[時刻]のメニューを表示させます。▼と▲で設定する[時]・[分]のいずれかを選択します。



- 2** [時]・[分]のいずれを選択し、▶を押してください。



- 3** ▼と▲を押すと数値が増減しますので、現在の時刻に設定してください。
※他の設定値も変更する場合は◀ボタンを1回押して戻り、続けて行います。

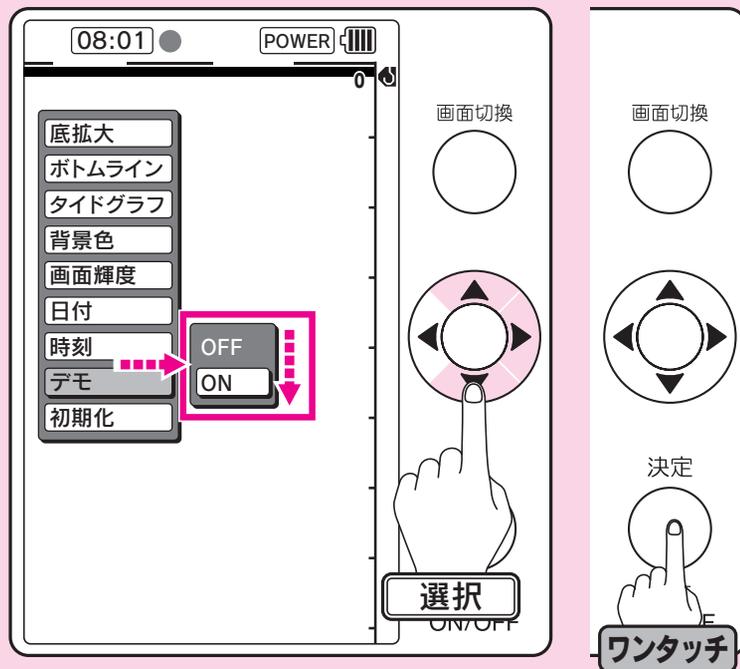


- 4** 決定ボタンを押すと設定完了です。

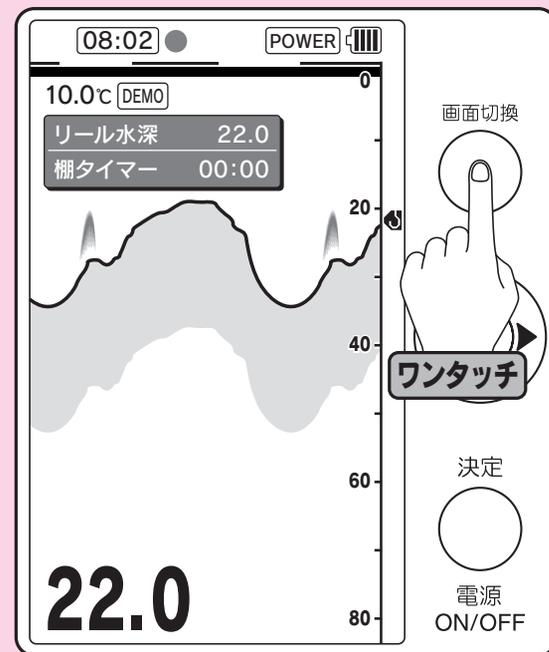
⑪ デモ画面

デモ画面をご覧ください。

実際の釣行前の参考としてご利用ください。



- 1 画面設定画面で [デモ] → [ON] を選択し、決定ボタンを押してください。



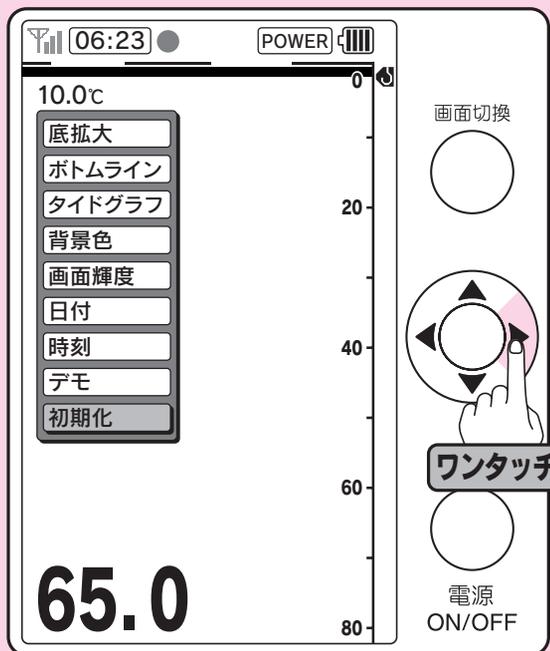
- 2 画面切換ボタンで魚探画面に戻ると、デモ画面が表示されます。

※デモ画面がONの状態でも「船名を選択」されずと自動的にOFFとなり、選択された船の映像が映し出されます。

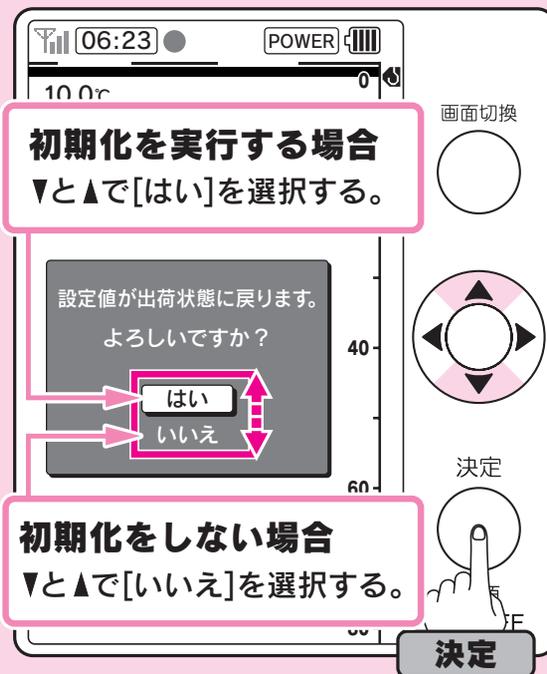
⑫ 初期化

設定値を出荷状態に戻します。

※初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、出荷状態に戻りますのでご注意ください。



画面設定画面で [初期化] を選択して、
▶ ボタンを押してください。



初期化を実行する場合
▼と▲で[はい]を選択する。

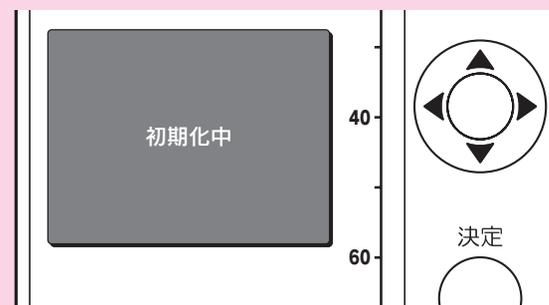
初期化をしない場合
▼と▲で[いいえ]を選択する。

初期化をしない場合

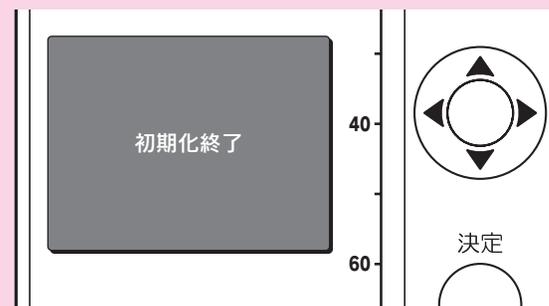
▼と▲で[いいえ]を選択し、決定ボタンを押してください。

初期化を実行する場合

1 ▼と▲で[はい]を選択し、決定ボタンを押してください。



2 初期化には約5秒ほど時間がかかります。画面に [初期化終了] と表示されるまで、ボタンの操作をおこなわないでください。



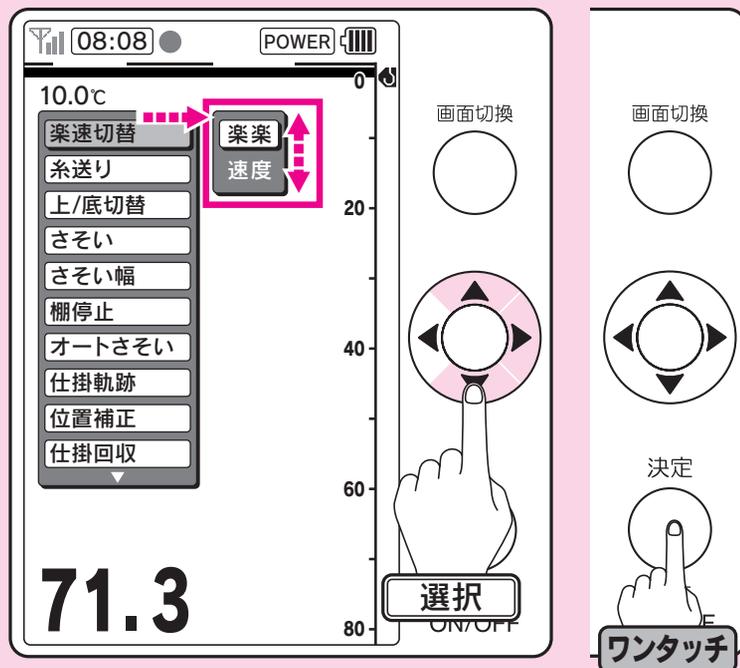
3 画面に [初期化終了] と表示されると初期化の完了です。電源が自動的に OFF になります。

⑬ 楽速モード切替

ご使用の電動リールの楽速モード・速度一定モードの切替えが探見丸CV-FISHから操作できます。

楽速モード・速度一定モード切り替えの詳細は対応電動リール取扱説明書をご参照ください。

※ 2008年以降の電動リールに対応しています。



1 リール設定画面で[楽速切替]→[楽速]または[速度]を選択し、決定ボタンを押してください。

楽速モードへ切替え時は[楽]を3秒間、速度モードへ切替え時は[速]を3秒間、表示します。

電動リール液晶
(例.フォースマスター3000MK)

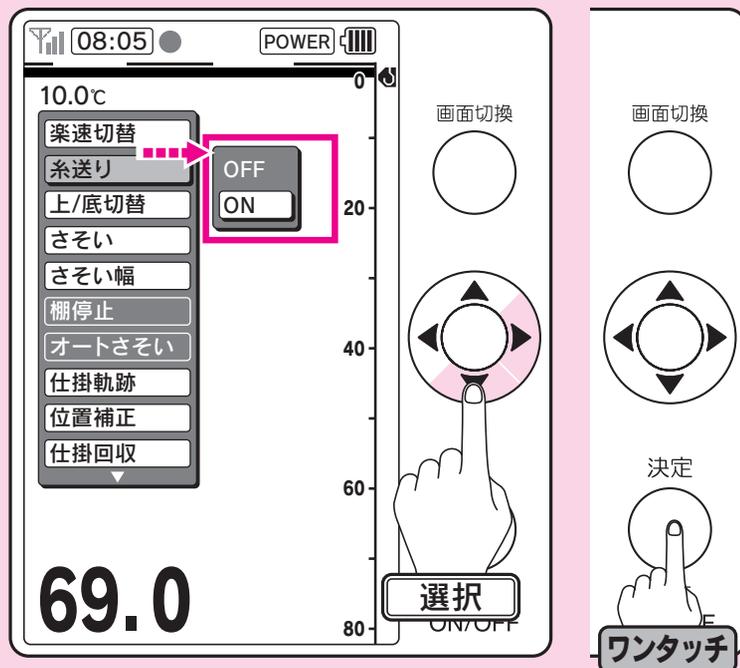


2 電動リールの設定が変更されます。

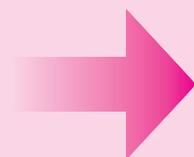
⑭糸送り

ご使用の電動リールの自動糸送り機能の[ON]・[OFF]が、探見丸CV-FISHから操作できます。

自動糸送り機能の詳細は対応電動リール取扱説明書をご参照ください。



- 1 リール設定画面で[糸送り]→[ON]または[OFF]を選択し、決定ボタンを押してください。

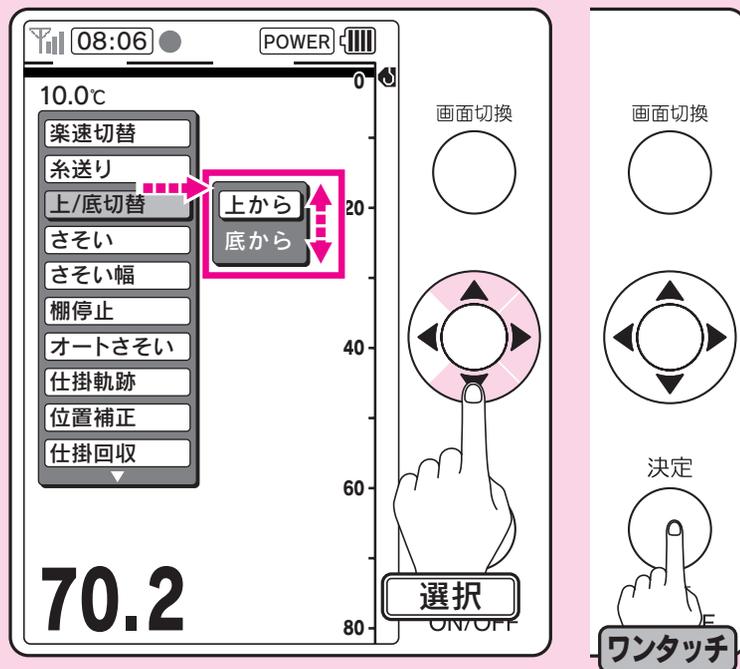


- 2 電動リールの設定が変更されます。

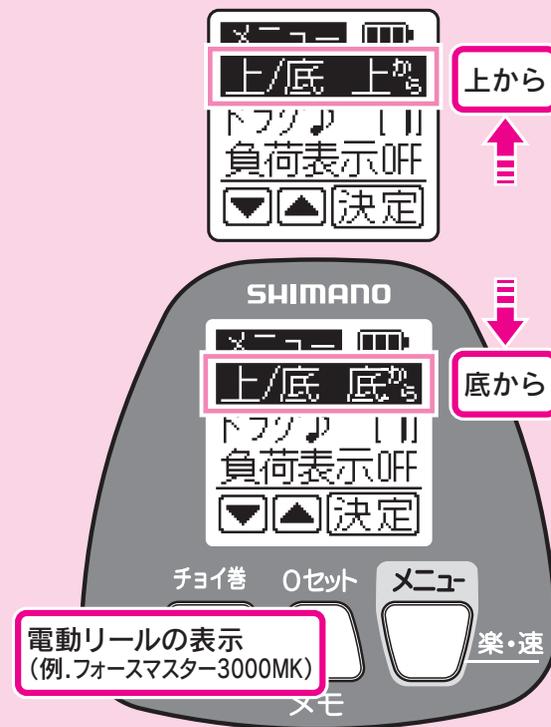
⑮ 上/底切替

ご使用の電動リール水深表示の[上から] (水面から)・[底から]を、探見丸CV-FISHから変更できます。

上から・底からモード切り替えの詳細は対応電動リール取扱説明書をご参照ください。



1 リール設定画面で[上/底切替]→[上から] (水面から)または[底から]を選択し、決定ボタンを押してください。



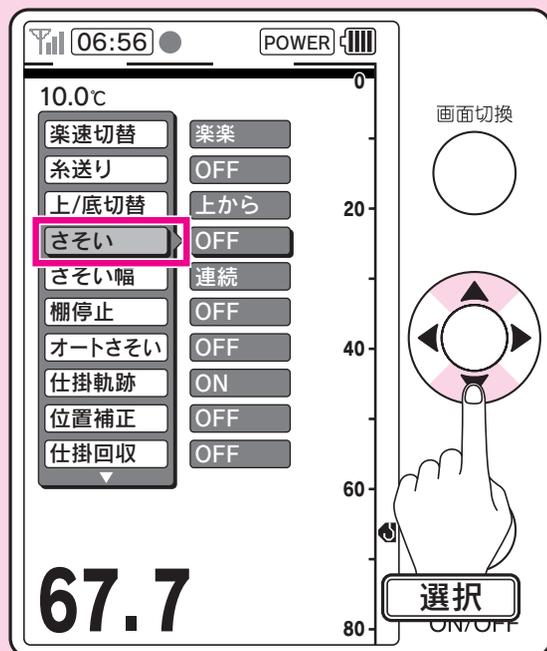
2 電動リールの水深表示が変更されます。

⑩ さそい

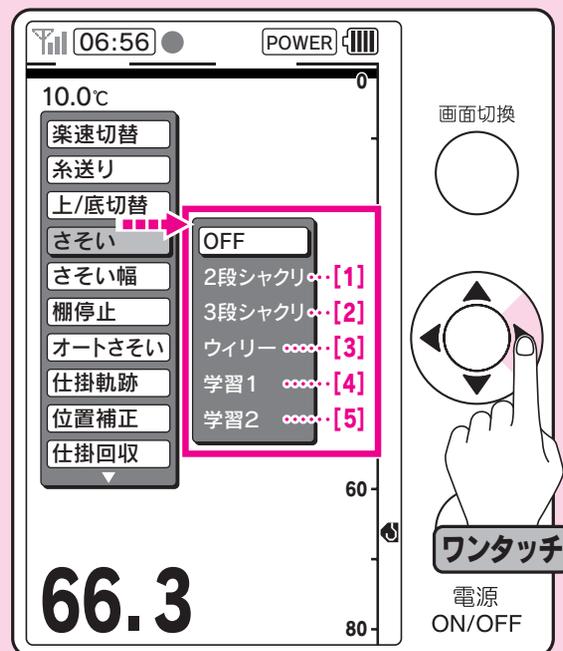
探見丸CV-FISHに内蔵しているさそいパターン、または好みのパターンで電動リールがさそい動作を再現します。

一日中シャクリ続けるイカ釣りには特に便利です。

ご注意：電動リールの仕様により、船べり停止位置付近でのさそい動作ができなくなる場合があります。その場合は、ハンドルで巻上げるか、または電動で巻上げてください。



1 リール設定画面でカーソルを[さそい]に合わせてください。



2 ▶を押すと[さそい]のメニューが表示されます。

● [さそい]メニューの一覧

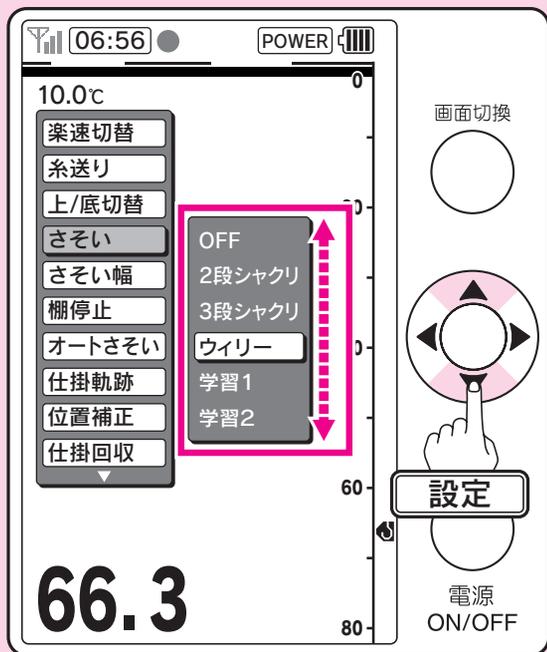
- [1]… 2段シャクリ
- [2]… 3段シャクリ
- [3]… ウイリーのさそい
- [4]… お好みのさそいパターン
- [5]… お好みのさそいパターン

※ご注意

あらかじめ記憶しているさそいのパターンは代表的な例であり、竿の調子・オモリ負荷・水深等、条件によって動作は変化します。実情に合わない場合はお客様オリジナルのパターンを入力の上、再現される事をお勧めします。

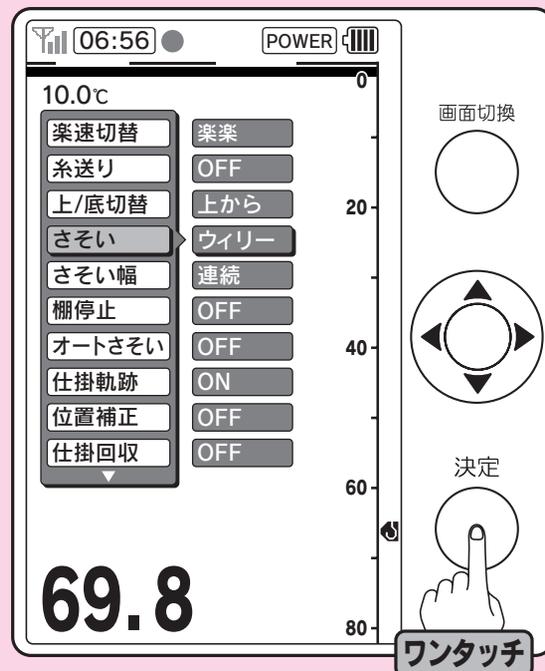
[1]～[3]は上記のさそいパターン、[4]と[5]はお好みのさそいパターンとなっています。

(次ページにつづく→)

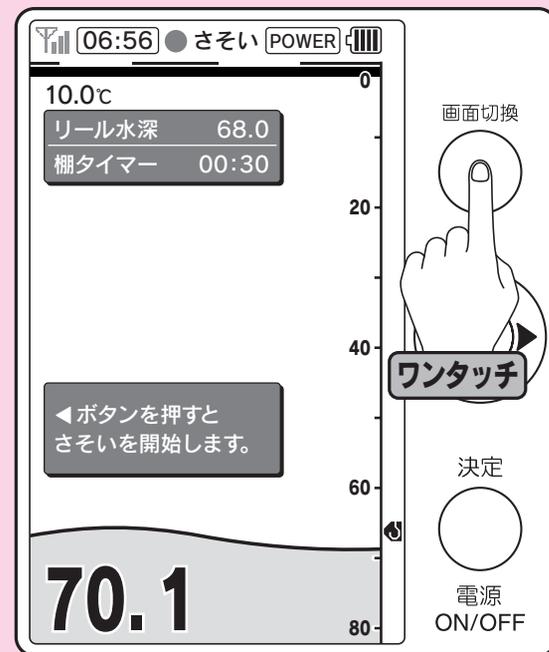


- 3** ▼と▲でさそいパターンを選択してください。

[学習1]・[学習2]は、出荷時には超スロー巻き上げのデータが入っています。
[学習1]・[学習2]に新しいパターンを入力し直す場合は、39ページ「さそいの学習」へお進みください。



- 4** 決定ボタンを押すと設定完了です。

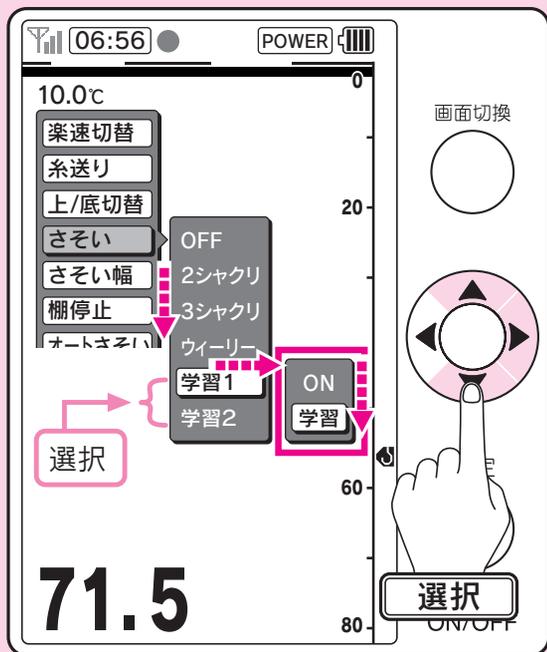


- 5** 画面切換ボタンを押して魚探画面に戻ると表示は図のようになります。これで電動リールにさそいを再現させる準備ができました。

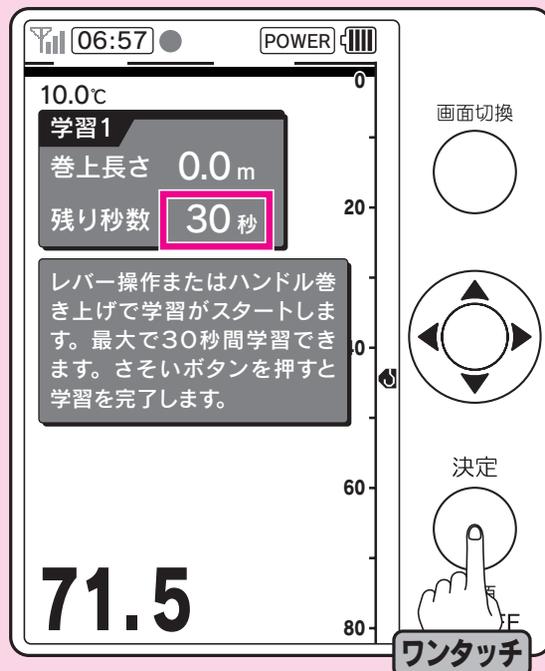
さそいを開始する場合は43ページ「釣りでさそい機能を使用する」へ進みます。

さそいの学習

あなたのオリジナルのさそいパターンも学習・再現できます。



1 [学習1]・[学習2]のいずれかを選択し、▶を押して[学習]を選択してください。



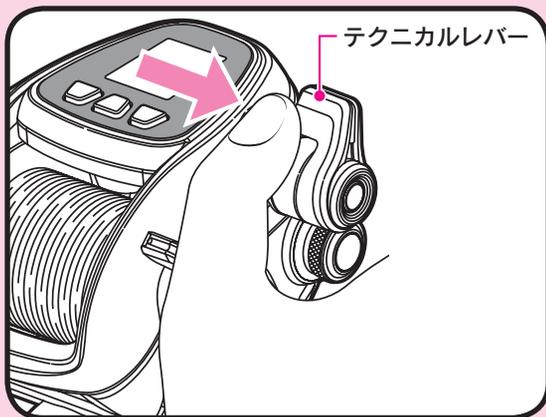
2 決定ボタンを押すと、さそい学習画面になります。さそい学習は最大30秒間記憶させることができます。

□部分に記憶可能な秒数が表示されます。レバーやハンドルで巻き上げ始めると記憶を開始し、同時に記憶可能な秒数のカウントダウンが始まります。

電動リールの表示
(例.フォースマスター3000MK)

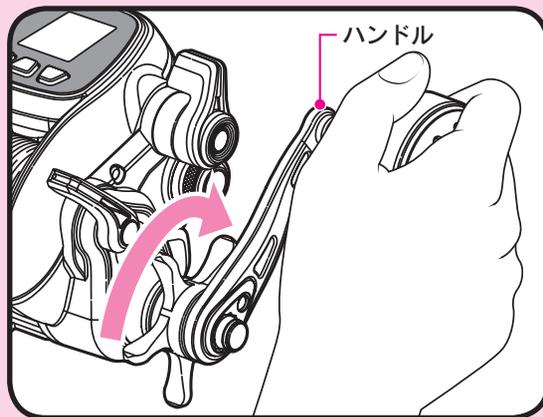


(次ページにつづく→)



●テクニカルレバーで入力する場合

記憶させたいタイミングと速度で巻き上げ、その後の静止状態も必要に応じて入力します。



●ハンドルで入力する場合

好みの速さでハンドルを回転させ、その後の静止状態も必要に応じて入力します。

ハンドル1回転に2秒以上要する超スローな巻き上げは学習しません。

また、テクニカルレバーの最高速度以上でスプールが回転した場合は、テクニカルレバーの最高速として学習します。

ひとつの動作で巻き上げた距離

画面切換

10.0c
学習1
巻上長さ 1.0m
残り秒数 28秒

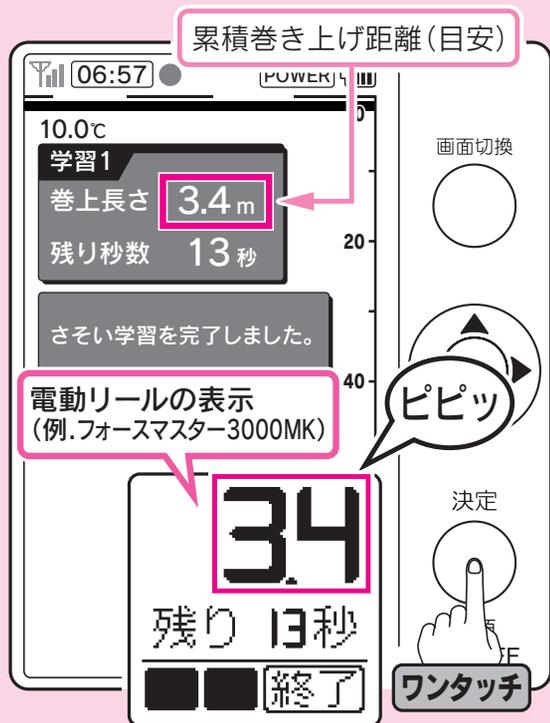
レバー操作またはハンドル巻き上げで学習がスタートします。最大で30秒間学習できます。さそいボタンを押すと学習を完了します。

電動リールの表示
(例. フォースマスター3000MK)

10
残り 28秒
終了

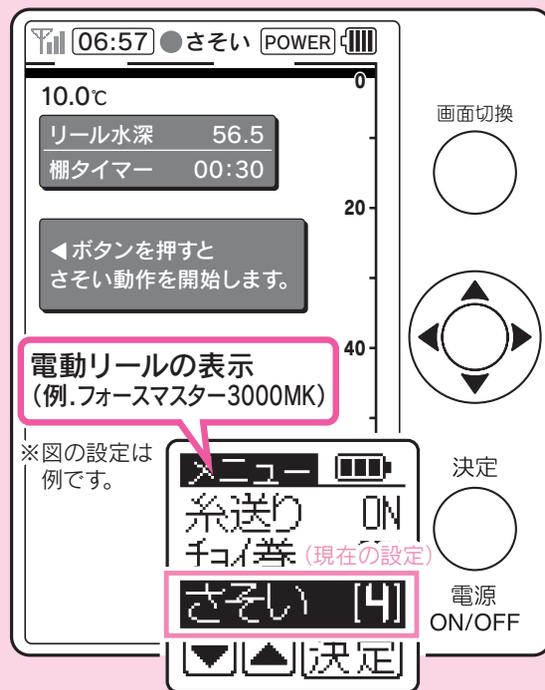
- 3** テクニカルレバーかハンドル操作でさそい学習を開始し、お好みの巻き上げ時間、停止時間を再現してください。

記憶可能な残り秒数のカウントダウンが開始し、□部分にひとつの動作ごとに巻き上げた糸の長さを表示します。



4 決定ボタンを押すと、さそい学習が完了します。

決定ボタンを押さなかった場合は学習開始から30秒で自動的に終了します。カウントダウンがスタートした時点からのしゃくり、さそいが記憶されます。さそい学習終了時の表示は図のようになります。□部分に目安ですが、累積巻き上げ距離を表示します。



5 2秒後、自動的に魚探画面に戻ります。

図のように表示されます。電動リールはメニュー画面に戻り、現在の設定が表示されます。(図は[4][学習1]を設定した場合の例です。) ※新たにさそい学習を入力しますと、前の学習データは消えます。さそい学習を間違えたり、やり直したい場合は、再度リール設定画面から入力していただき、上書きしてください。

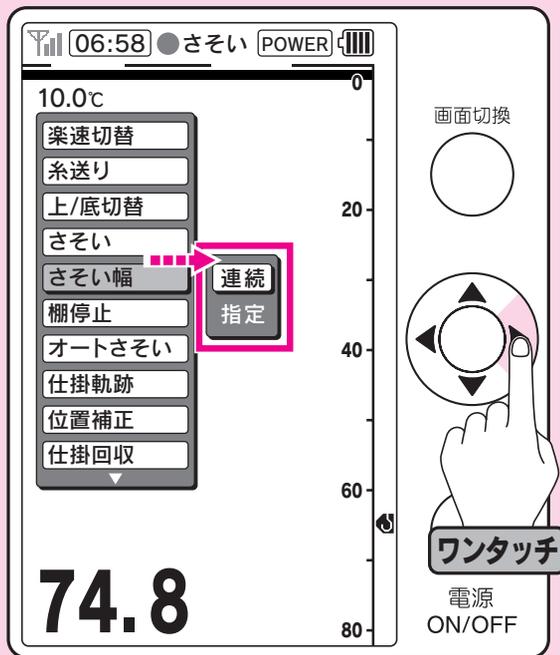
これで電動リールにさそいを再現させる準備ができました。

さそいを開始する場合は43ページ「釣りでさそい機能を使用する」へ進みます。

⑰ さそい幅の指定

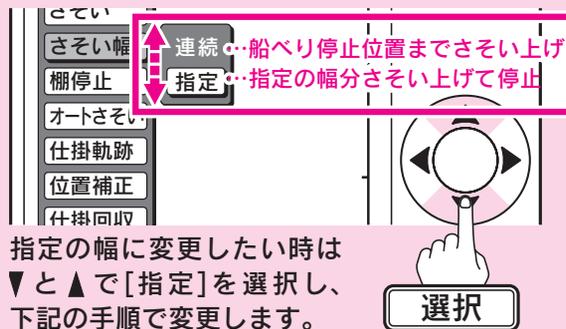
必要に応じて、さそい動作を行う幅の指定ができます。

さそい再現時に指定の幅分さそい上げて停止するよう設定できます。さそい再現を開始する度にさそい幅分さそい上げて停止します。



- 1 リール設定画面で[さそい幅]を選択し、▶で[さそい幅]のメニューを表示させます。
各メニューで下記の設定ができます。

[連続]…船べり停止位置までさそい上げます。
[指定]…指定の幅 (m) 分さそい上げて停止します。



指定の幅に変更したい時は▼と▲で[指定]を選択し、下記の手順で変更します。

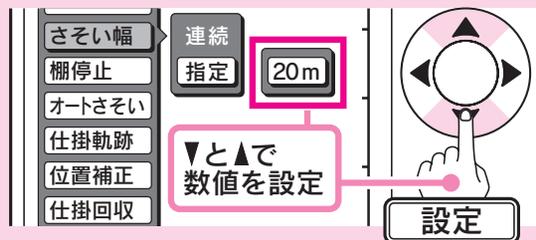
指定の幅の変更方法

▶を押してください。

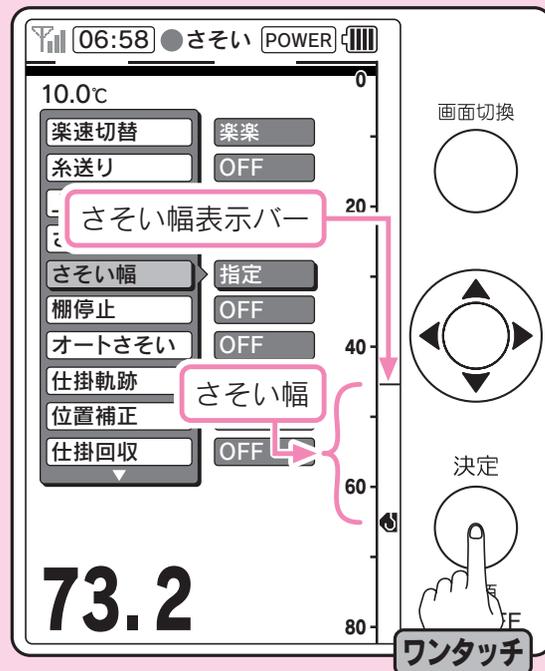


数値を変更する場合▶を押す

▼と▲を押すと数値が増減しますので、お好みの幅 (m) に設定してください。



▼と▲で数値を設定

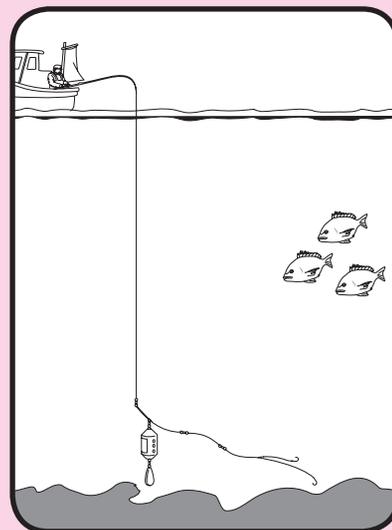
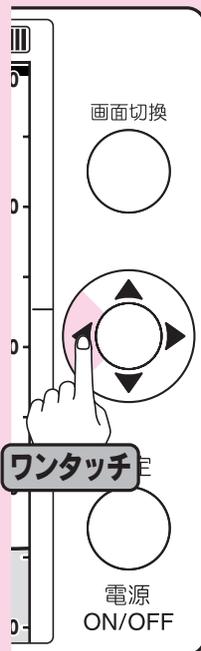
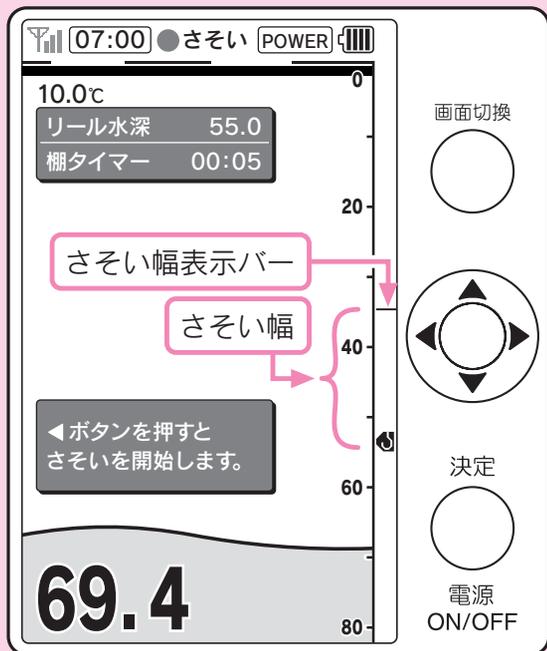


- 2 決定ボタンを押すと設定完了です。

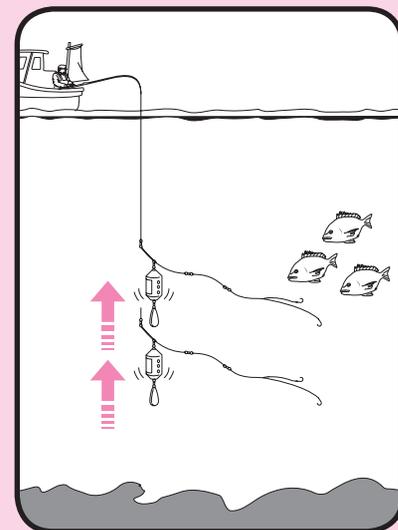
さそい幅の設定が変更されます。
[さそい]→[1]～[5]のいずれかに設定した状態で[指定]に変更した場合はさそい幅がバーで表示されます。

釣りでさそい機能を使用する

さあ！いよいよ設定したさそいを再現してみましょう。



◀ボタンON
さそい開始！



さそい動作再現中

1 あらかじめ37～42ページまでの各さそいの設定を行っておきます。

魚探画面になっていない場合は画面切換ボタンで魚探画面に切り換えてください。表示は図のようになっています。(図の場合、さそい幅は20mです。)

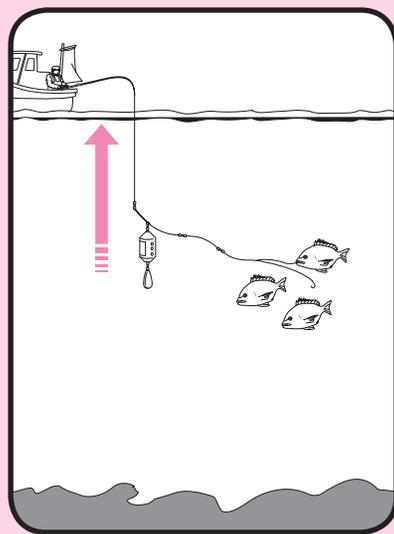
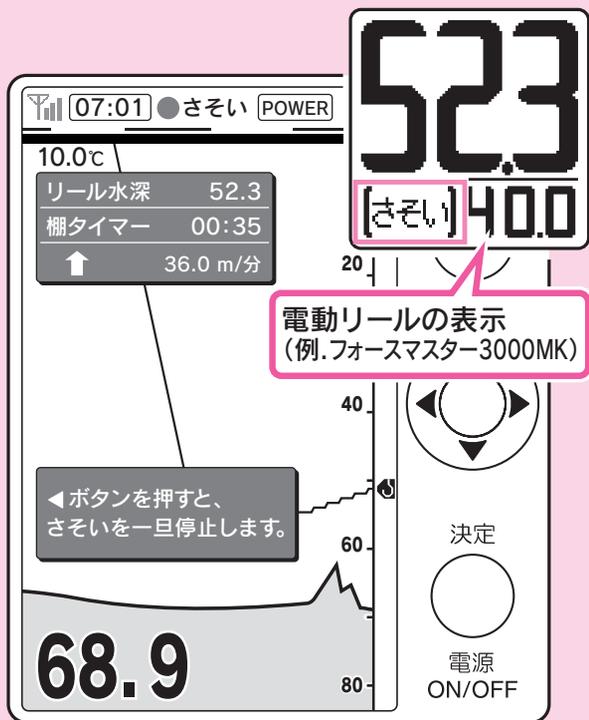
2 ◀ボタンを押すと、記憶したさそいパターンをくり返し行います。

さそい幅を指定している場合は、指定の幅分さそいパターンをくり返して停止します。

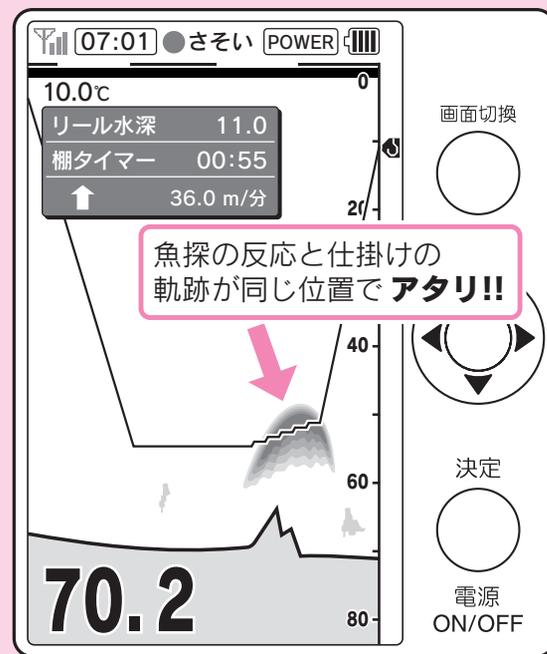
さそい動作の途中停止、再スタートも◀ボタンを押します。

さそい幅指定で途中停止した場合は、停止水深から残りの幅をさそって停止します。

(次ページにつづく→)



アタリ! 巻き上げ

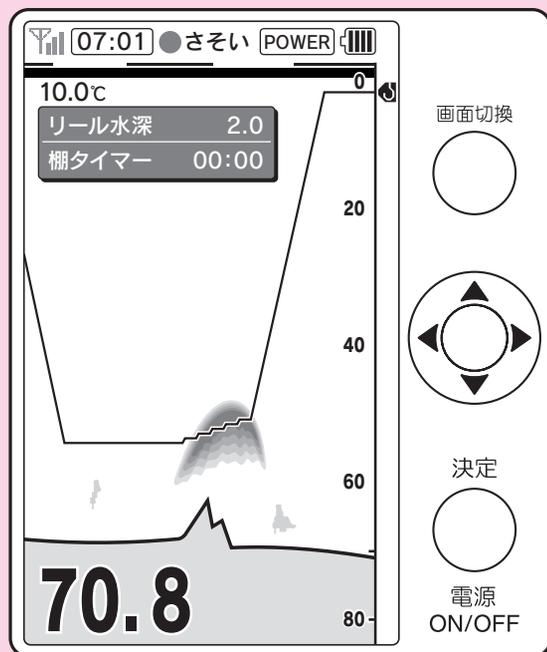


さそい動作中の表示は図のようになります。
([仕掛軌跡]をONにした場合、画面のように軌跡のラインが表記されます。)
電動リールには「さそい」が表示されます。

3 アタリがあればテクニカルレバーで巻き上げます。

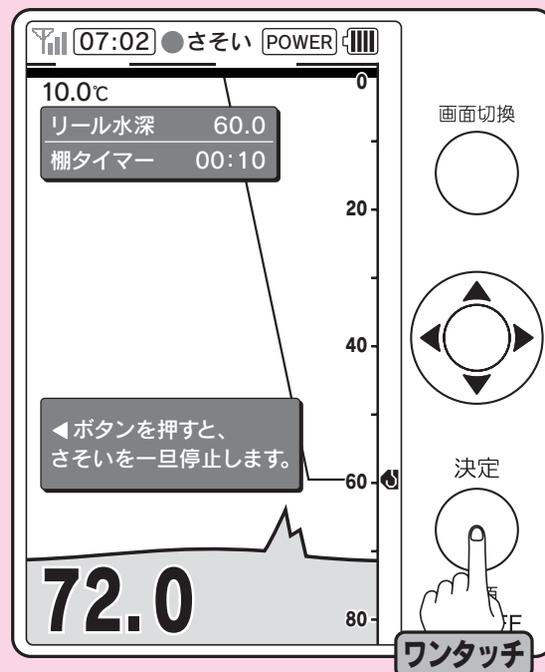
さそい動作の途中でレバー作動で巻き上げを始めた場合、さそい動作はキャンセルされ巻き上げ優先となります。

魚を取り込み、もう一度仕掛をおろして さそい動作を行いましょう。



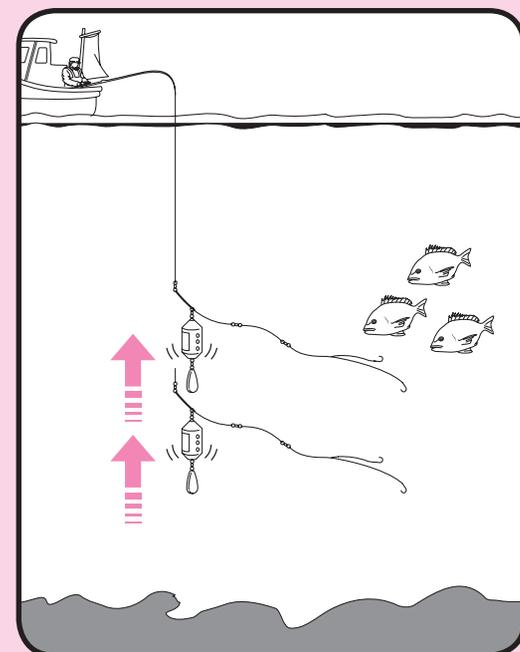
4 仕掛回収で船べり停止した時の表示は図のようになります。

同じさそいで釣りを続ける場合は再度投入します。やめる場合はメニュー画面を呼び出し、[さそい]メニューより[OFF]を選択してください。



5 さそい動作を続ける場合、シカケをもう一度棚までおろします。

図は60mまでシカケをおろした場合です。
[棚停止]・[オートさそい]をONに設定している場合は自動的にシカケが棚停止し、2秒後に再びさそい再現を開始します。



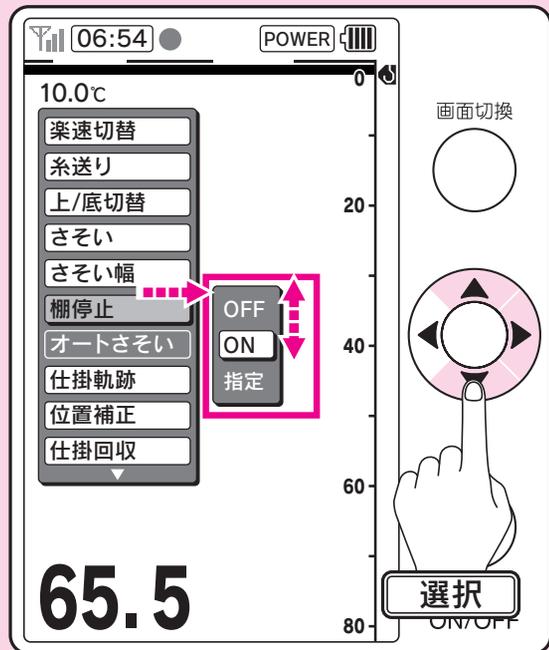
◀ボタンON
再びさそい開始!

そうでない場合はシカケをおろした後、図のように◀ボタンを押すと、再度記憶した巻き上げをくり返し行います。

⑱ 棚停止の設定

探見丸CV-FISHから棚停止の設定が可能です。

探見丸CV-FISHからも設定の変更が行えます。棚停止の詳細は対応電動リール取扱説明書をご参照ください。



- 1 リール設定画面で[棚停止]→[ON]または[OFF]を選択してください。

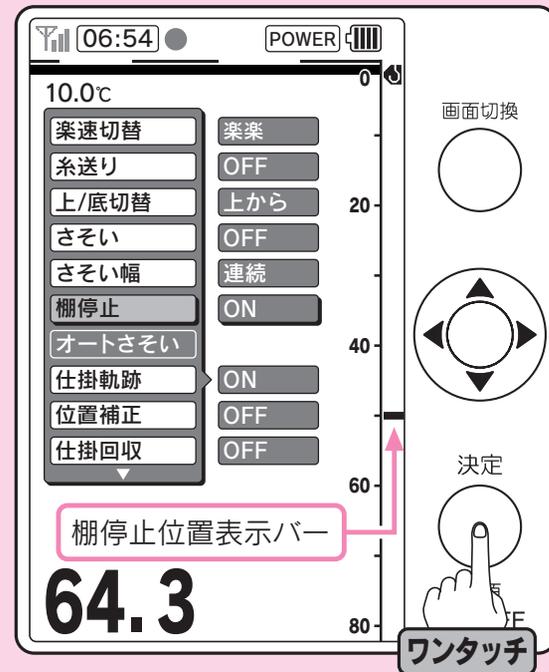
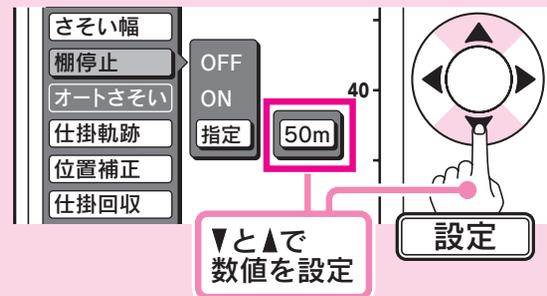
[ON]を選択し、棚停止の水深を変更したい時は右記の手順で行います。

棚停止水深の変更方法

▼で[指定]を選択して、▶を押してください。



▼と▲を押すと数値が増減しますので、好みの水深(m)に設定してください。



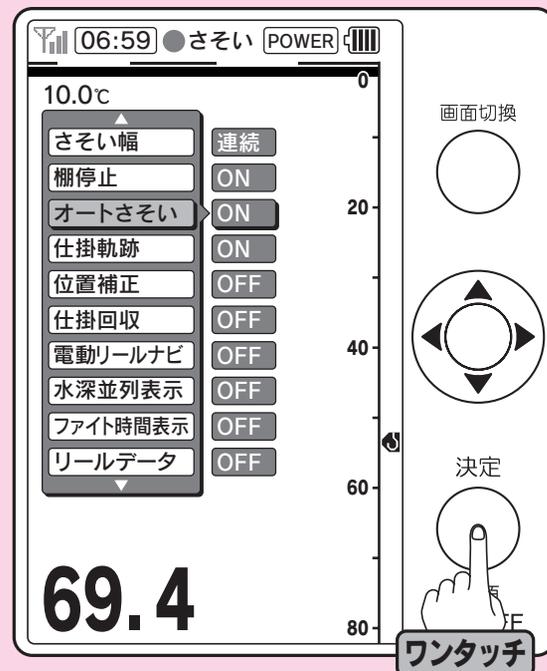
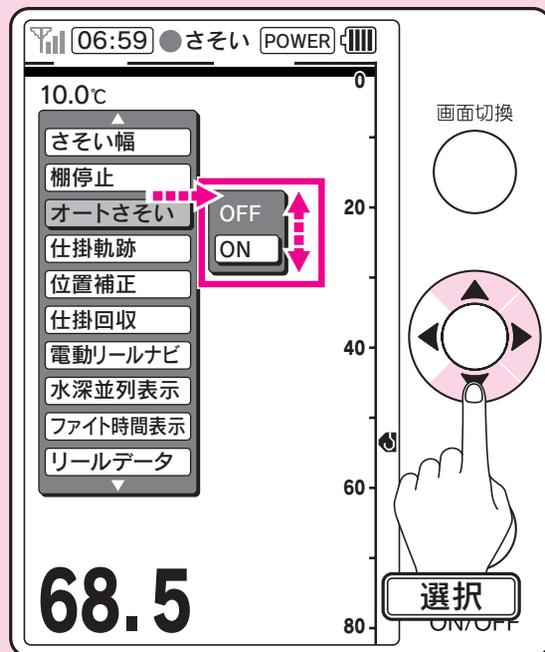
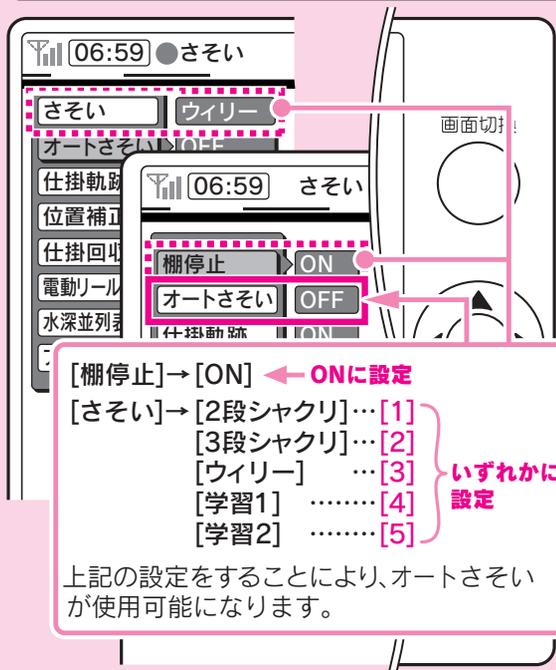
- 2 決定ボタンを押すと設定完了です。棚停止の設定が変更されます。[ON]に設定した場合は棚停止位置がバーで表示されます。

①9 オートさそいの設定

棚停止後、自動的にさそい再現を開始させることができます。

この機能は[棚停止]が[ON]で、[さそい]の[1]～[5]のいずれかを選択している場合にのみ有効です。

※オートさそいは自動棚停止機能付きの電動リールのみにご使用いただけます。



- 1** あらかじめ[棚停止]・[さそい]の設定をしてください。

[棚停止]→[ON]の選択および棚停止水深の設定(46ページ参照)、[さそい]→[1]～[5]いずれかへの設定(37～42ページ参照)を行うと、[オートさそい]が有効になり、機能が使用できるようになります。

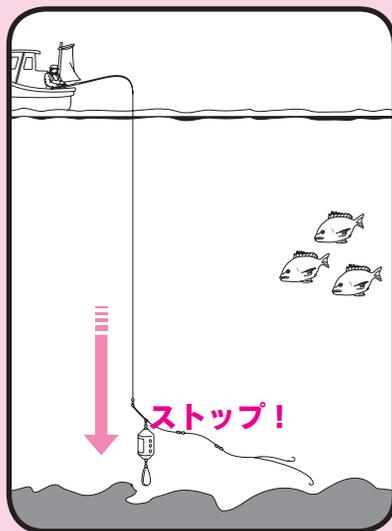
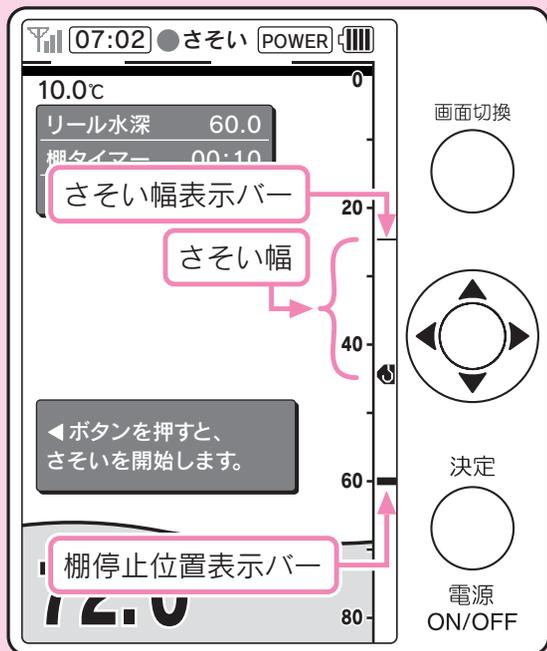
- 2** リール設定画面で[オートさそい]を選択し、▶で[オートさそい]のメニューを表示させます。
▼と▲で[ON]または[OFF]を選択してください。

- 3** 決定ボタンを押すと設定完了です。
[オートさそい]を[ON]に設定すると、棚停止の2秒後、自動的にさそい動作の再現を開始します。

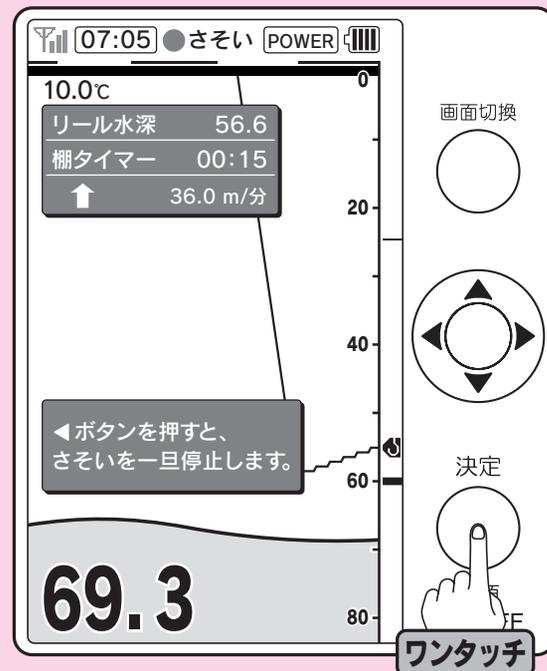
[棚停止]、または[さそい]をOFFにした場合、[オートさそい]は設定変更・使用ともにできなくなります。

釣りでさそい機能を使用する（棚停止の利用）

棚停止を利用してさそい動作を行ってみましょう。



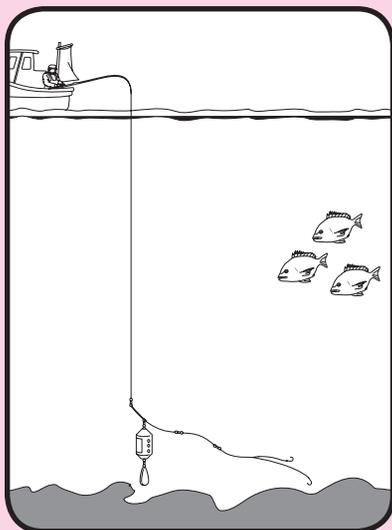
棚停止



1 あらかじめ[棚停止]→[ON]の選択および棚停止水深の設定（46ページ参照）、37～42ページまでの各さそいの設定を行っておきます。
魚探画面になっていない場合は画面切換ボタンで魚探画面に切り換えてください。表示は図のようになっています。（図の場合、さそい幅は20mです。）

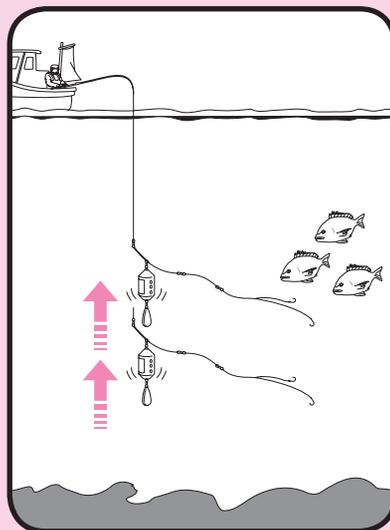
2 クラッチを切ってシカケを投入します。シカケがメモ水深（棚停止水深）に来るとシカケが自動停止します。

3 [オートさそい]をONに設定している場合は棚停止の2秒後、自動的にさそい動作の再現を開始します。そうでない場合は決定ボタンを押すと、記憶したさそいパターンをくり返し行います。
（[仕掛軌跡]をONにした場合、画面のように軌跡のラインが表記されます。）



◀ボタンON
さそい開始!

[オートさそい]がONならば
自動でさそい開始!



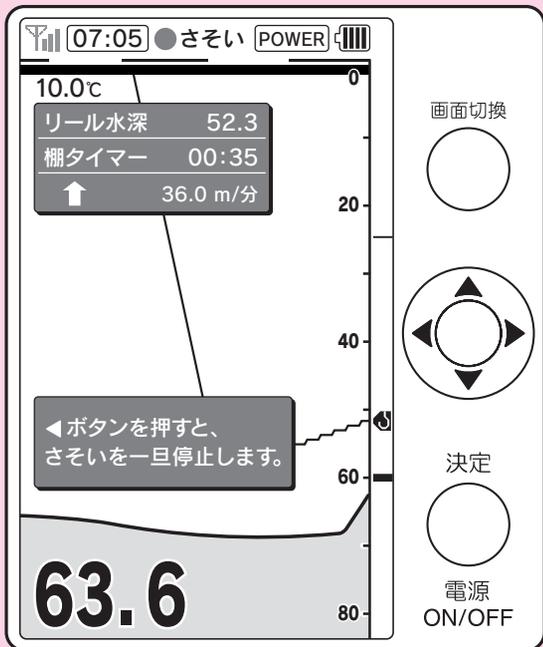
さそい動作再現中

さそい幅を指定している場合は、指定の幅分さそいパターンをくり返して停止します。

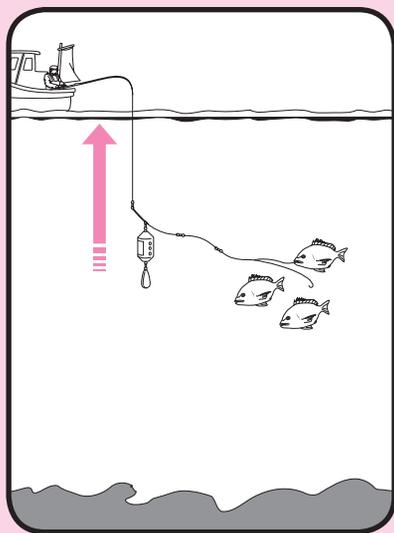
さそい動作の途中停止、再スタートも
◀ボタンを押します。

さそい幅指定で途中停止した場合は、停止水深から残りの幅をさそって停止します。

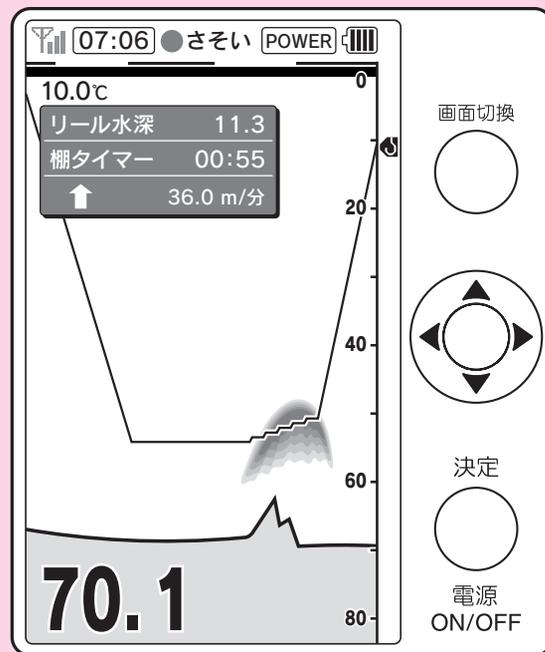
(次ページにつづく→)



さそい動作中の表示は図のようになります。
電動リールには「さそい」が表示されます。



アタリ! 巻き上げ



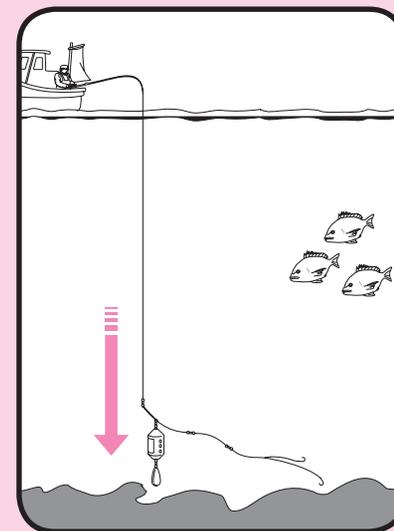
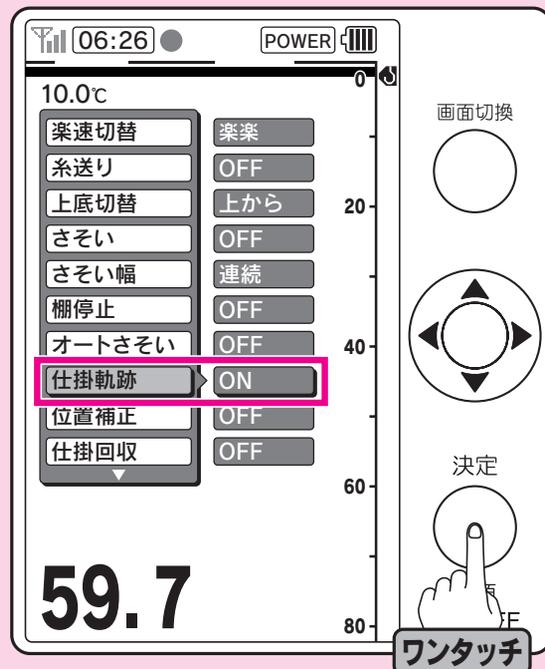
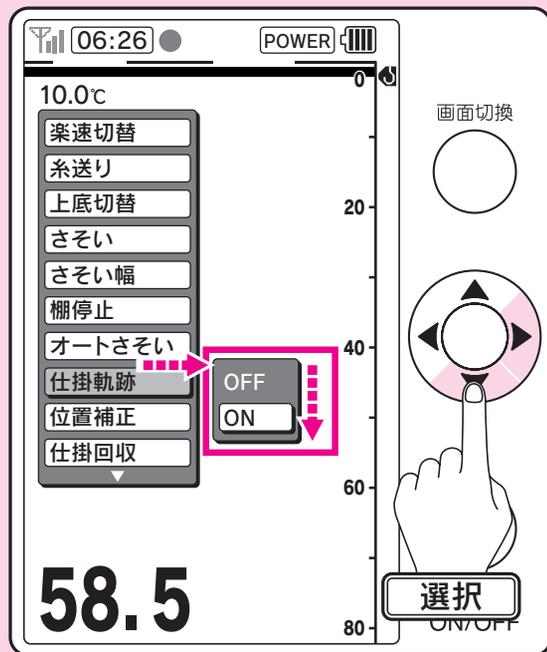
4 アタリがあればテクニカルレバーで
巻き上げます。

さそい動作の途中でレバー作動で巻き上げ
を始めた場合、さそい動作はキャンセル
され巻き上げ優先となります。

② 仕掛軌跡

投入した仕掛の軌跡を表示することができます。

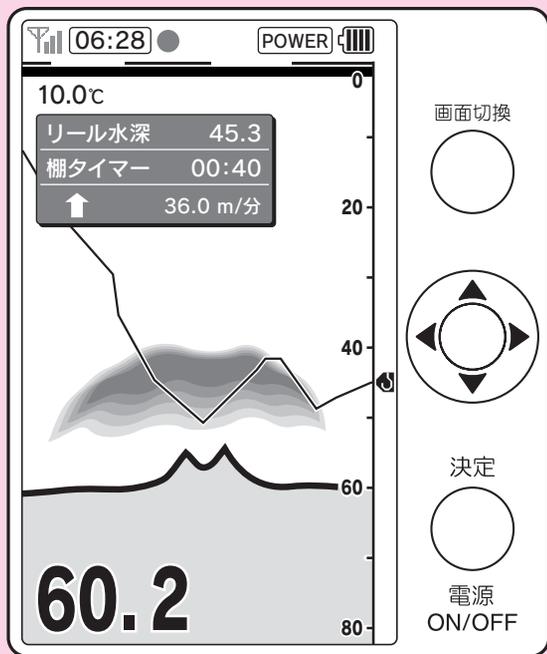
底の形状と仕掛位置の相関がたどれますので、どの時点でアタリがあったかなど簡単に把握でき、さそいの目安や次回投入時の参考、コマセのタイミング等に便利です。(※先に仕掛位置補正を行うと、より正確な表示となります。)



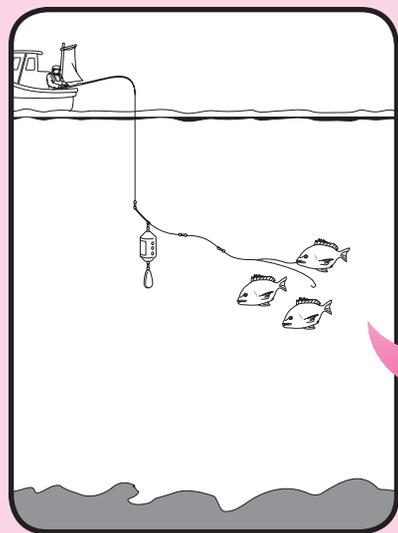
- 1 リール設定画面で[仕掛軌跡]→[ON]を選択してください。
- 2 決定ボタンを押すと設定完了です。仕掛軌跡がONになります。
- 3 画面切換ボタンを押して魚探画面に戻り、仕掛を投入します。

ご注意：仕掛軌跡はリール水深をトレースしています。従いまして糸巻学習、0セットを正確に行っておりませんと、正しい表示を行えませんのでご注意ください。

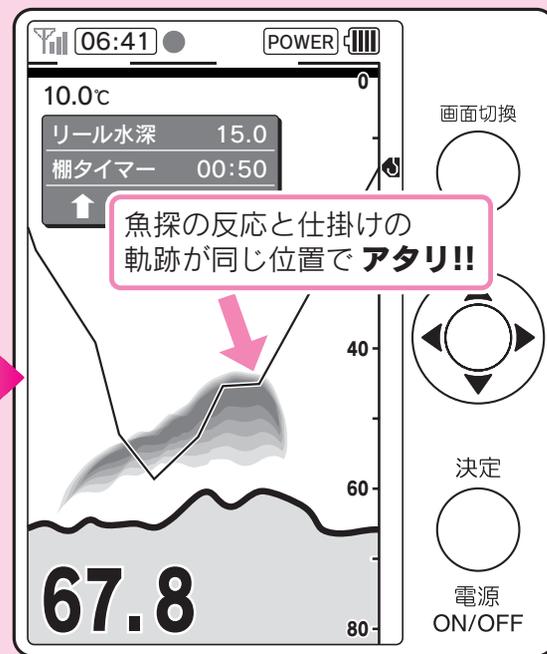
(次ページにつづく→)



4 仕掛けマークの位置をトレースして、魚探画面上に軌跡が表示されます。



アタリ!!

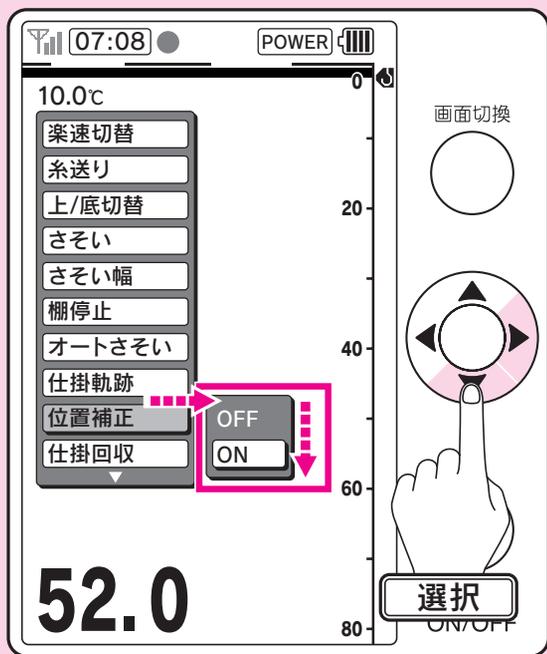


5 アタリがあった状況が一目で判ります。さそいの目安や次回投入時の参考、コマセのタイミング等、応用範囲が広がります。

②1 位置補正

シカケの水深と魚探画面上的の位置を簡易的に同調することができます。

従来のカウンター付きリールが表示する水深は、あくまで巻かれていた糸の放出量であり潮の流れなどで表示水深とシカケの位置にはズレが生じていました。探見丸システムではワンタッチでズレを補正。以後、魚探画面上的のシカケマークが実際の位置を表示してくれます。

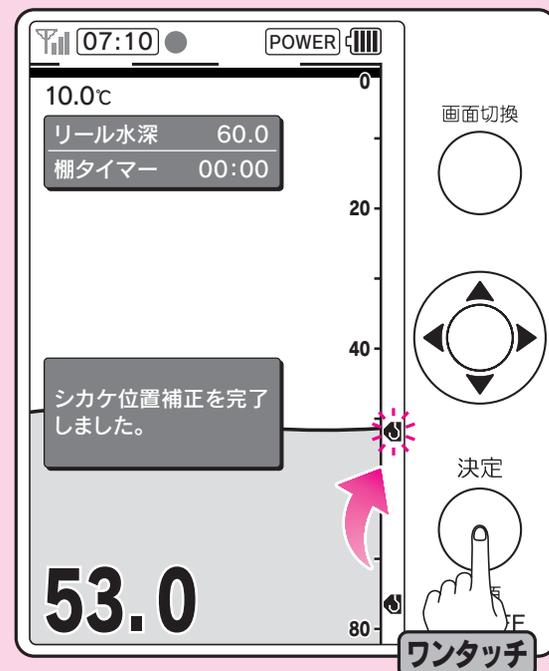


- 1** リール設定画面で[位置補正]→[ON]を選択し、決定ボタンを押してください。

底取り後、決定ボタンを押せばシカケの補正をします。

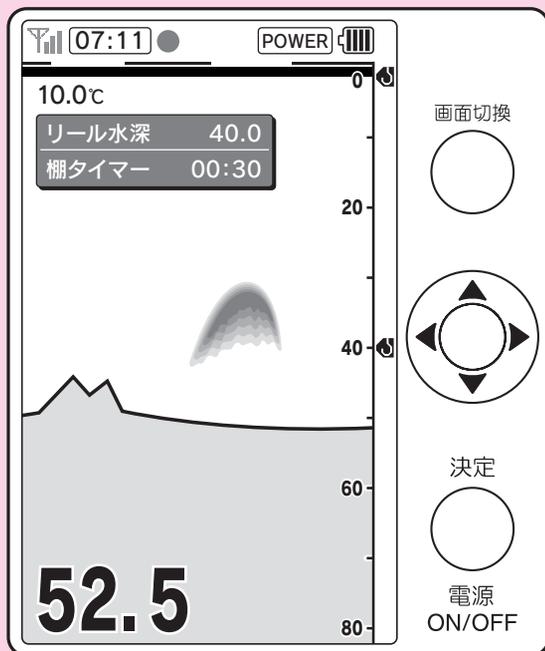


- 2** 画面切換ボタンを押して魚探画面に戻り、シカケを投入し、いったん底まで降ろします。

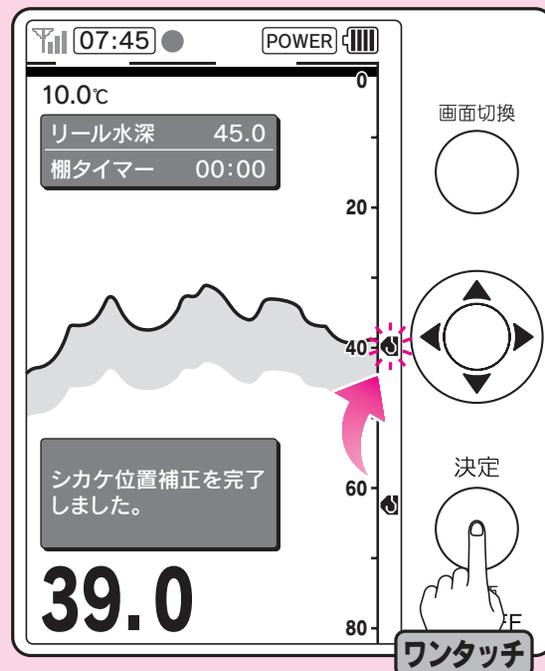


- 3** 底取りできたら、決定ボタンを押します。
シカケマークが底の位置に表示されます。

(次ページにつづく→)



4 以後、希望の水深にシカケマークを合わせれば、シカケは実際その位置に来ていることになります。

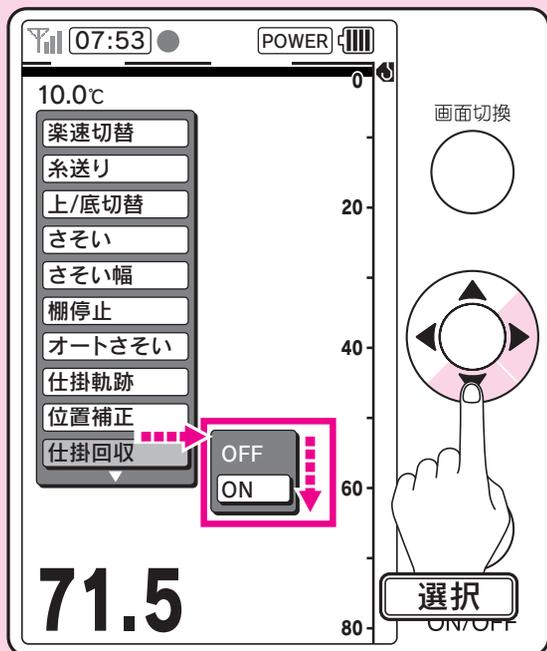


5 釣場を移動したり、画面とマークが一致しなくなってきた場合には、再度底取りをしてから、決定ボタンで再確定してください。

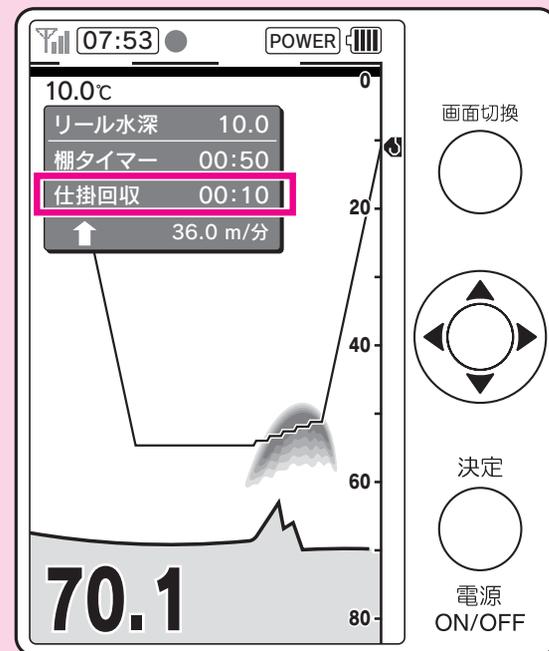
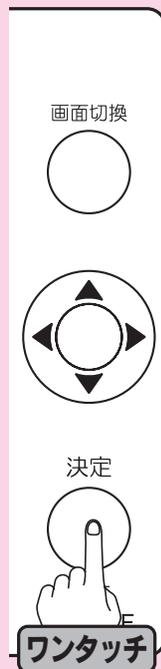
位置補正が正しく行われていない場合、シカケマークが画面から消える事があります。その際にはシカケを再度投入し、底取りを行った上で再度位置補正を行ってください。

② 仕掛回収

レバー回収時に、仕掛が船べりに回収されるまでにかかる残り時間を魚探画面に表示します。



- 1 リール設定画面で[仕掛回収]→[ON]を選択し、決定ボタンを押してください。

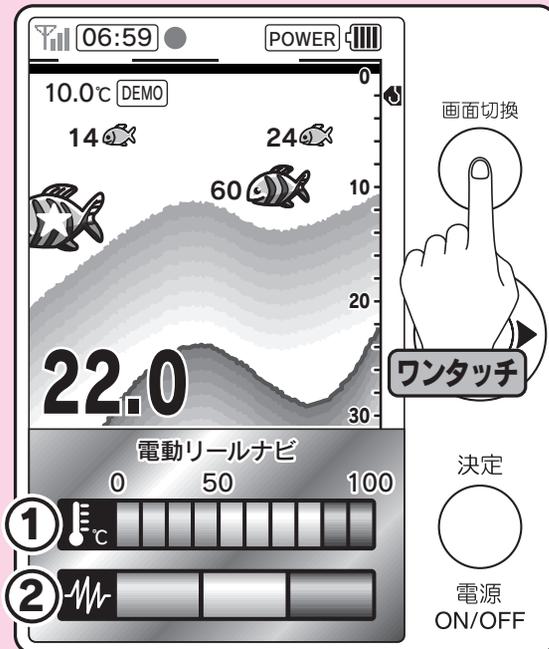
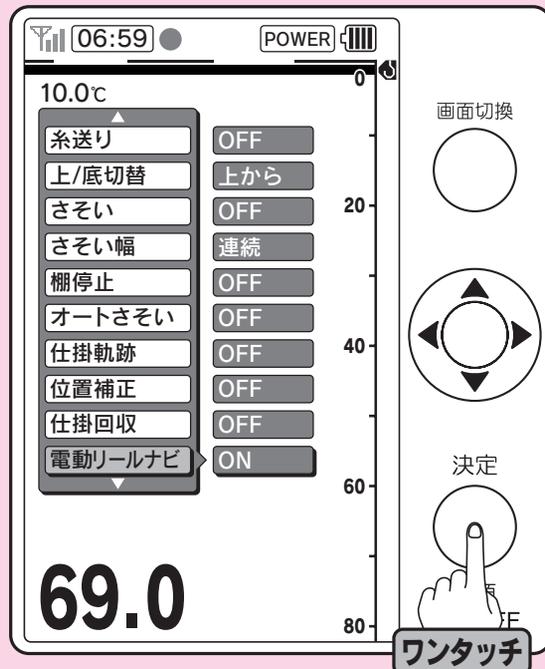
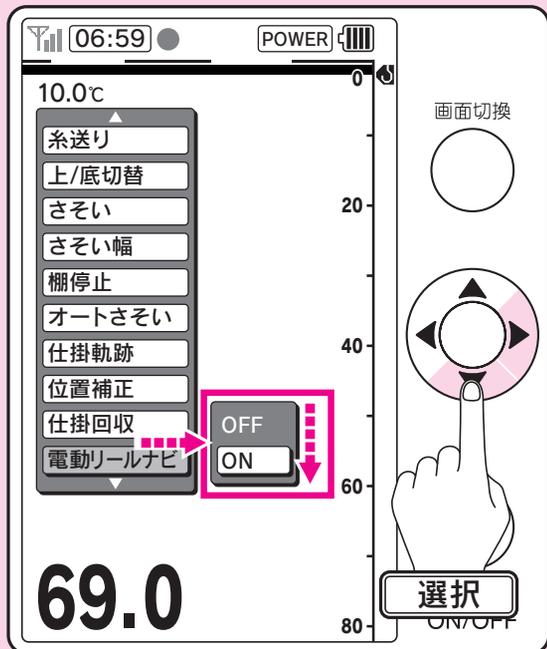


- 2 レバー回収の際に仕掛が水中から船べりに回収されるまでの残り時間を魚探画面に表示します。(レバー ON にしてから約3秒で表示します。)

②③ 電動リールナビの表示

接続している電動リールのモーター負荷を表示することができます。

◀電動リール対応機種▶ 12プレイズ800/1000、12フォースマスター 2000 MK /3000 MK /9000、12プレミオ3000、13フォースマスター400、13ビーストマスター 3000と2013年以降の新製品。



- 1 リール設定画面で[電動リールナビ]を選択して、▶を押してください。▼と▲で[ON]を選択してください。

- 2 決定ボタンを押すと設定完了です。

- 3 画面切換ボタンを押して、画面を切り換えると電動リールナビ画面が表示されます。

① 電動リールのモーター温度

② 電動リールの電流レベル

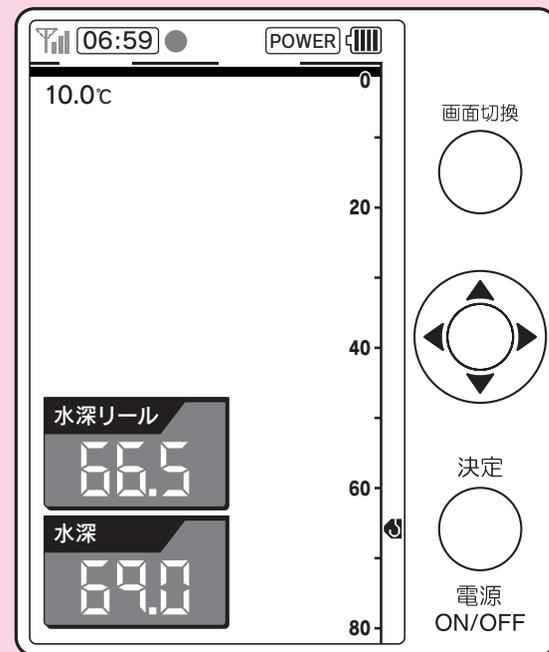
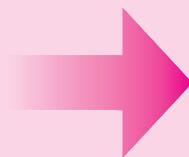
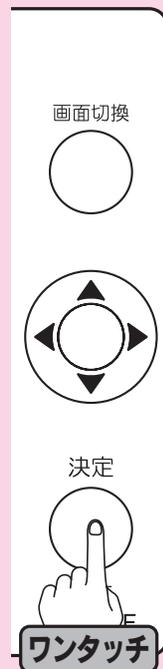
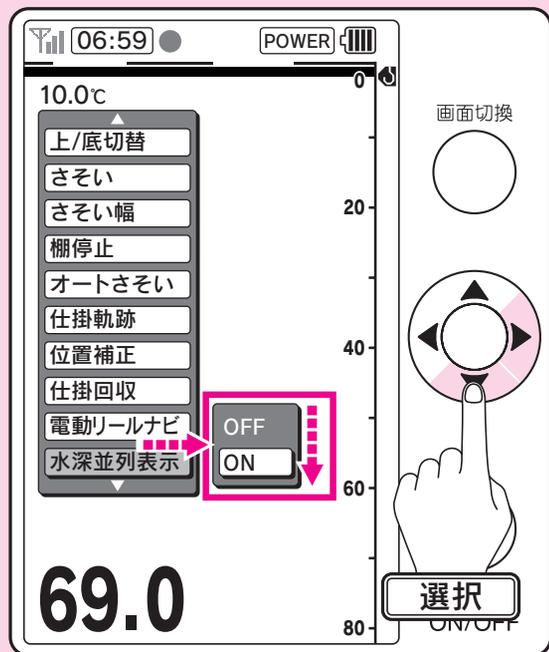
※3段階(青→黄→赤)

●お助け機能

アラーム設定の「電動ブレーカー警告」をONすることによって、モーター温度がレッドゾーンに入ると警告アラームで通知します。ブレーカーが作動する直前に知らせてくれるお助け機能です。

②④ 水深並列表示

探見丸親機と電動リールから送られてくる水深を並列に表示します。

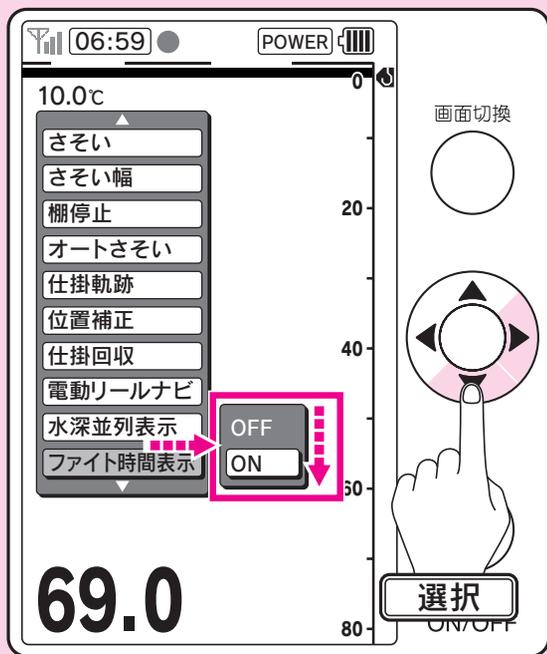


- 1 リール設定画面で[水深並列表示]を選択して、▶を押してください。
▼と▲で[ON]を選択し、決定ボタンを押してください。

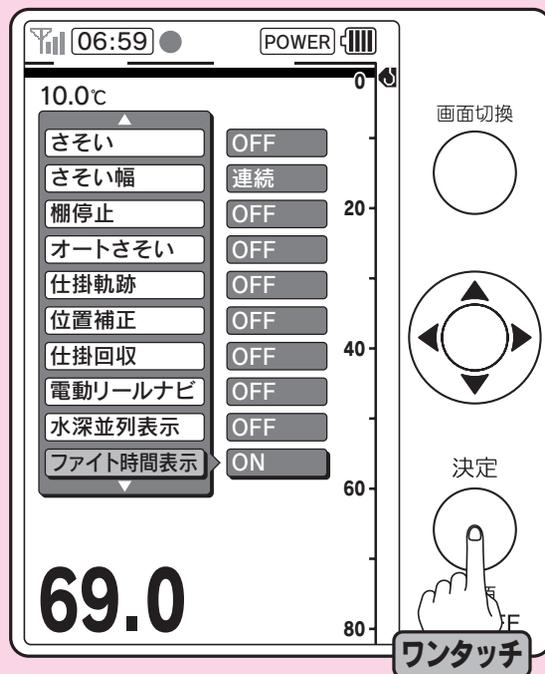
- 2 画面左下に探見丸親機と電動リールから送られてくる水深が並列して表示されます。

②5 ファイト時間

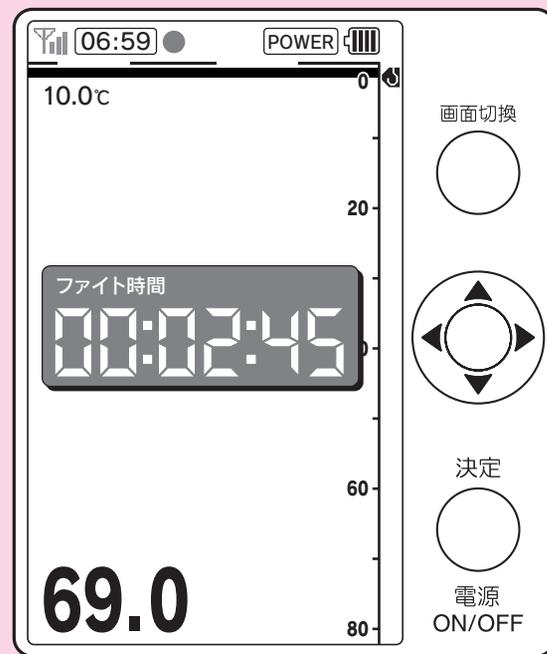
ファイト時間を表示します。



- 1** リール設定画面で[ファイト時間表示]を選択して、▶を押してください。
▼と▲で[ON]を選択してください。



- 2** 決定ボタンを押すと設定完了です。

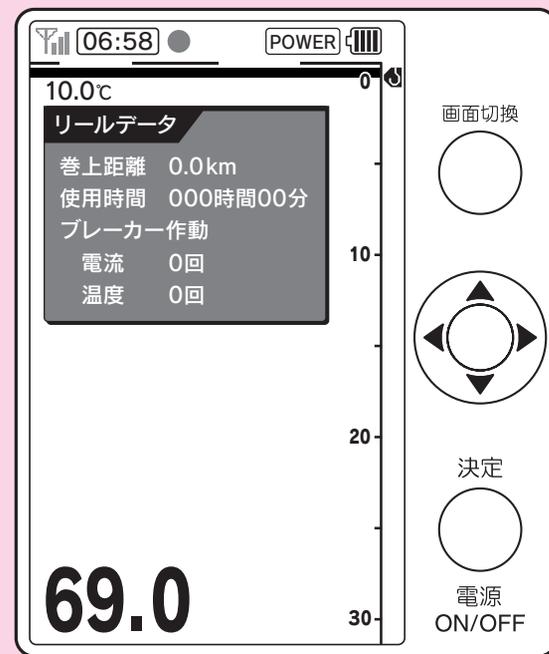
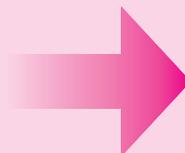
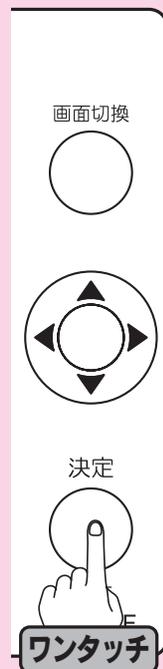
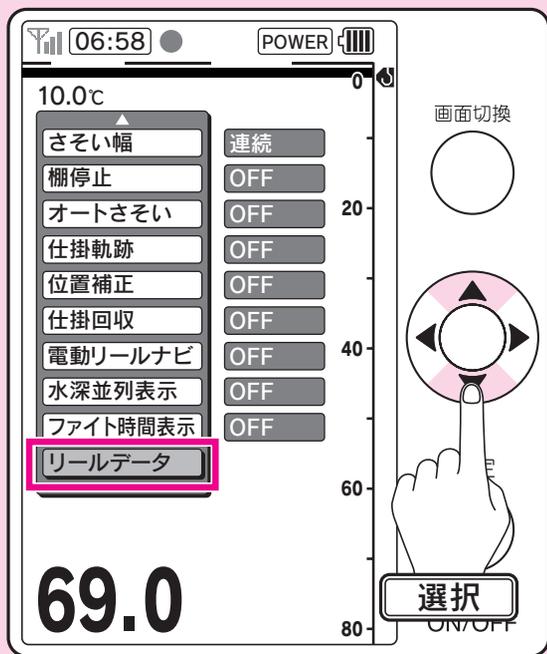


- 3** 電動で巻き始めた時から、船縁停止までにかかった時間を表示します。

※ファイト時間は、表示後3m系を出すか、画面切替ボタンを押すと自動的に消えます。

②⑥ リールデータの表示

リールデータ（巻上距離・使用時間・ブレーカー作動回数）の確認ができます。



1 リール設定画面で[リールデータ]を選択し、決定ボタンを押してください。

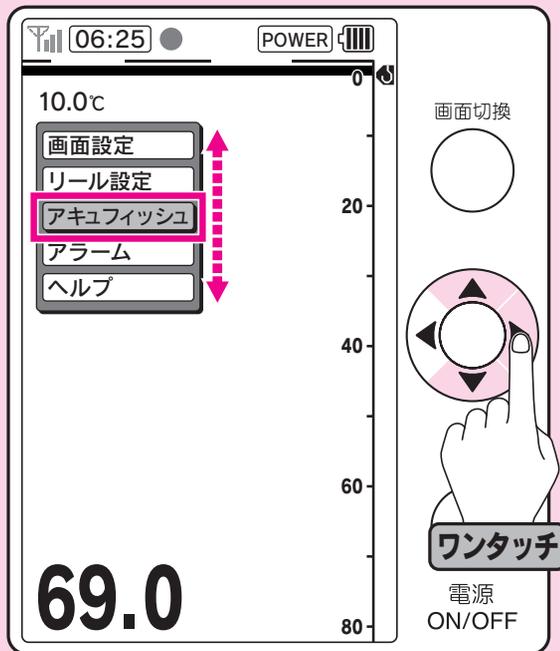
2 図のように表示されます。

㊄ アキュフィッシュの設定

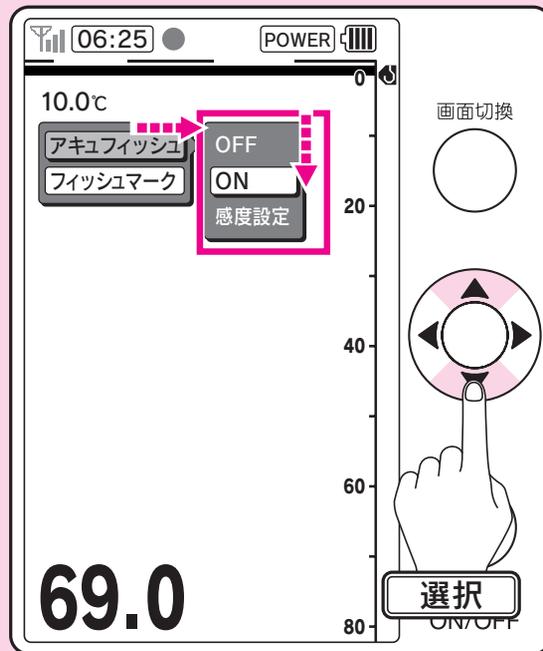
● アキュフィッシュ機能を有効にする。

単体魚をフィッシュマークで表示し、単体魚のサイズ(単位: cm)でも表示することができます。

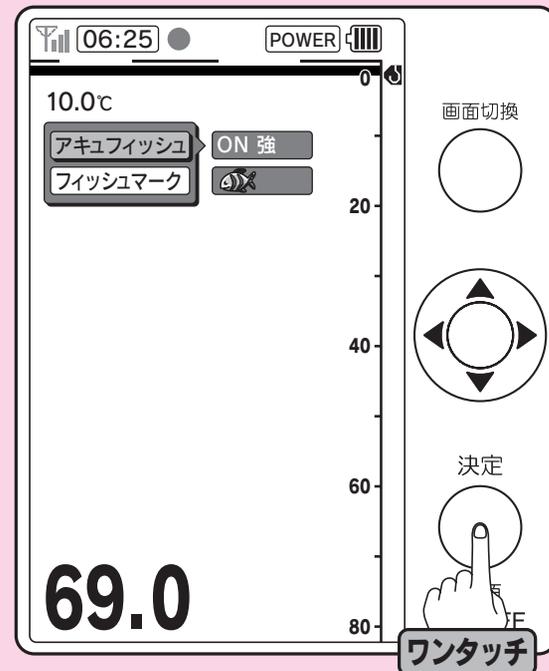
※初期設定は、ONになっています。



1 設定画面で[アキュフィッシュ]を選択して、▶ ボタンを押してください。



2 アキュフィッシュ設定画面が表示されます。[アキュフィッシュ]→[ON]を選択してください。



3 決定ボタンを押すと設定完了です。

● 感度設定

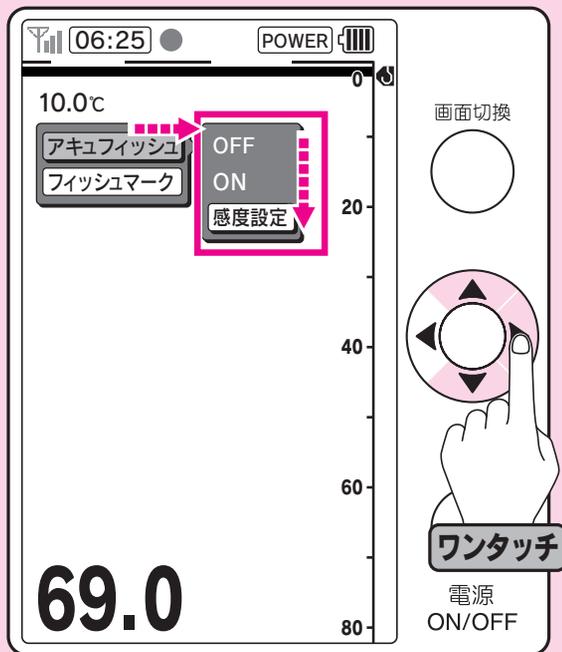
フィッシュマークが重なっている場合、
より見やすく調整できます。

設定について

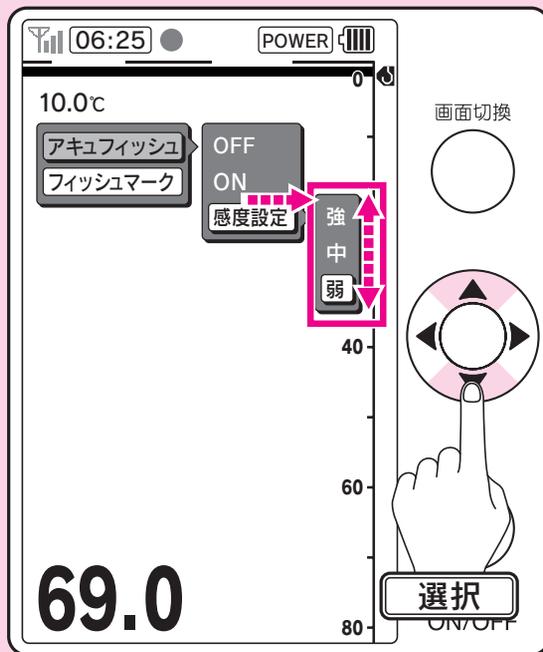
「強」… 全てのフィッシュマークを表示します。

「中」… 重なったフィッシュマークを1/2の数で表示します。

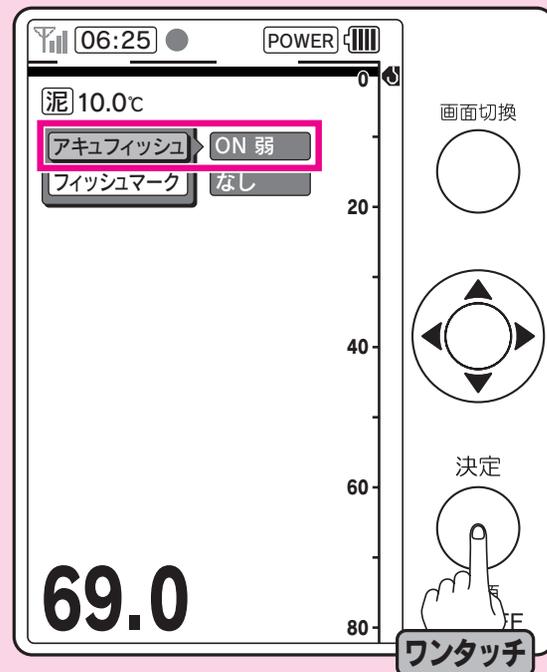
「弱」… 重なったフィッシュマークを1/3の数で表示します。



- 1** アクュフィッシュ設定画面で[アクュフィッシュ]→[感度設定]を選択して、
▶ ボタンを押してください。
[感度設定]のメニューが表示されます。



- 2** [感度設定]のメニューから「強」「中」「弱」のいずれかを選択してください。

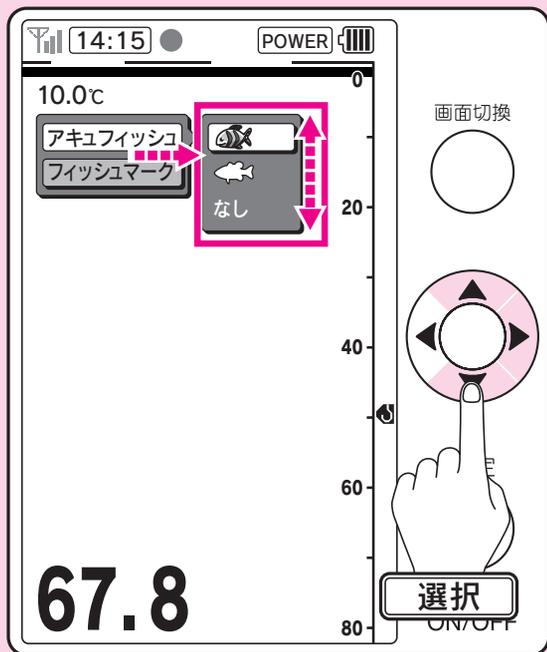


- 3** 決定ボタンを押すと設定完了です。

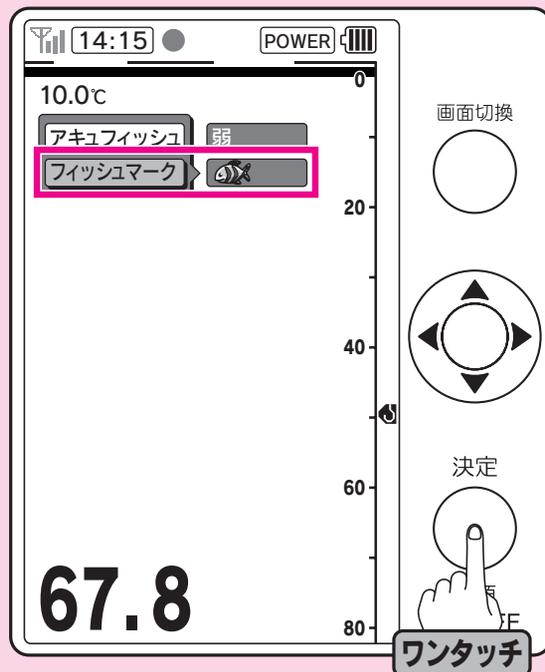
(次ページにつづく→)

● フィッシュマークの表示

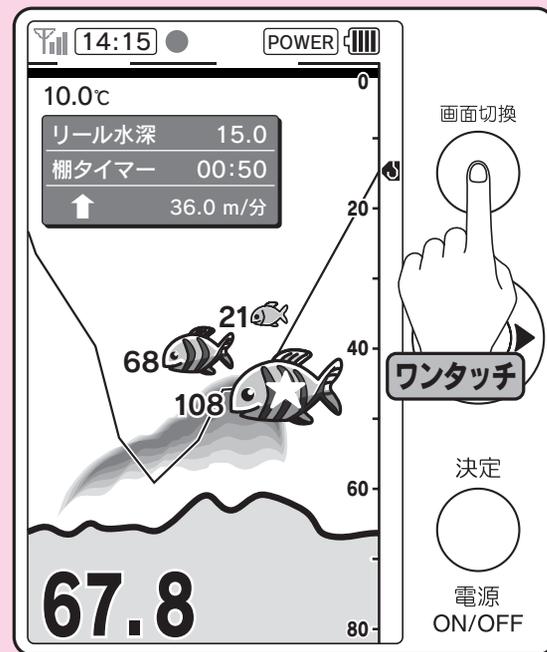
さらに見やすくするために、表示された反応を”フィッシュマーク”で表現します。



- 1** アキュフィッシュ設定画面で[フィッシュマーク]を選択して、▶ ボタンを押すとフィッシュマークのメニューが表示されます。メニューから▼と▲ボタンで[魚] [魚] [なし]のいずれかを選択してください。



- 2** 決定ボタンを押すと設定完了です。



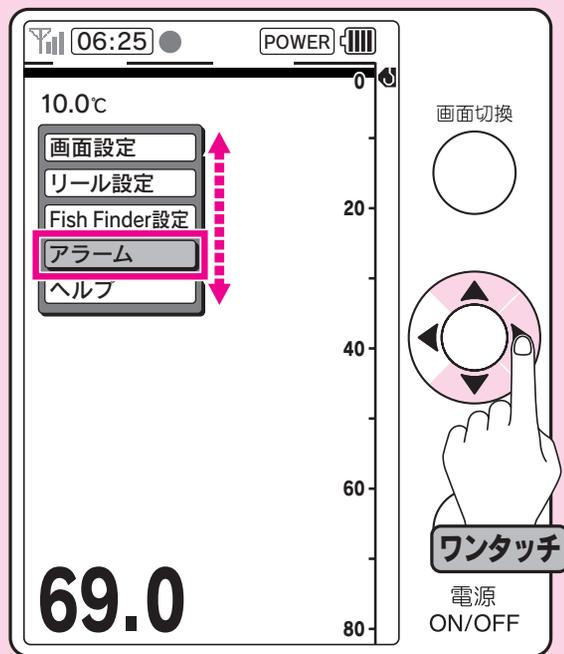
- 3** 画面切換ボタンで魚探画面に戻ると、フィッシュマークが表示されます。

ご注意：探見丸CV-FISHでアキュフィッシュ機能をオンにしているにも関わらず、アキュフィッシュ(フィッシュマーク)が表示されない場合があります。2つの原因が考えられます。

- ① 電波状況により、探見丸CV-FISHにアキュフィッシュ(フィッシュマーク)が表示されない場合があります。
- ② 探見丸親機のアキュフィッシュ機能がオフにされている場合があります。
※本船の探見丸親機の設定をご確認ください。

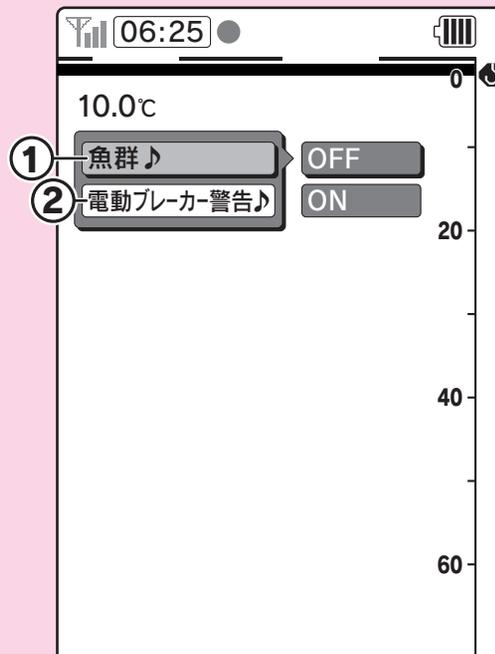
H アラームの設定

アラームのON/OFFを設定することができます。



設定画面で[アラーム]を選択して、
▶ ボタンを押すと、アラーム設定画面が表示されます。

H アラーム設定画面



① [魚群♪]… (次ページへ)

魚群を知らせるアラーム。
感度を[強]・[中]・[弱]に設定できます。

② [電動ブレーカー警告♪]… (次ページへ)

電動ブレーカー警告アラームの設定。
※ 電動リールナビのモーター温度がレッドゾーンに入るとアラームでお知らせします。ブレーカーが作動する直前に知らせてくれるお助け機能です。

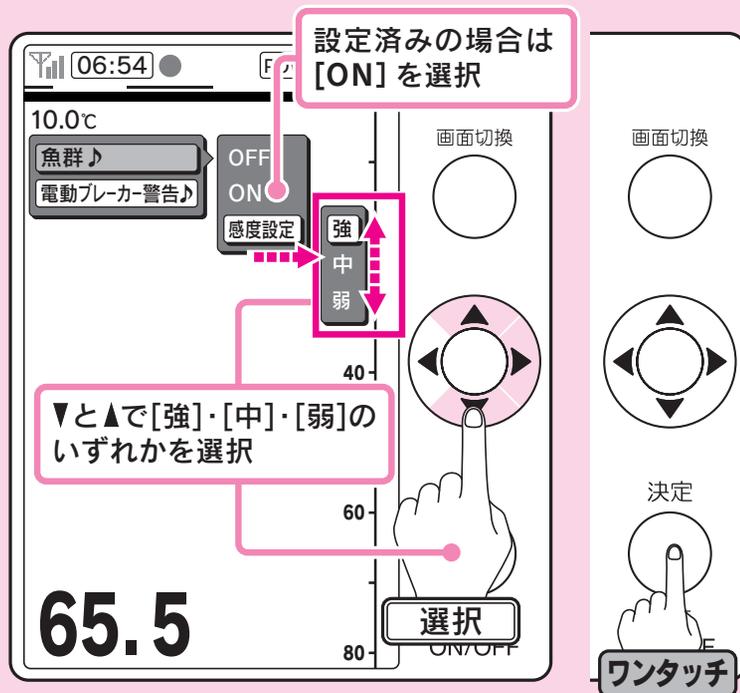
② [電動ブレーカー警告♪]が対応できる電動リール。

12プレイズ800/1000、12フォースマスター2000MK/3000MK/9000、12プレミオ3000、13フォースマスター400、13ビーストマスター3000、と2013年以降の新製品。

アラームの設定・魚群♪／電動ブレーカー警告♪

魚群アラーム

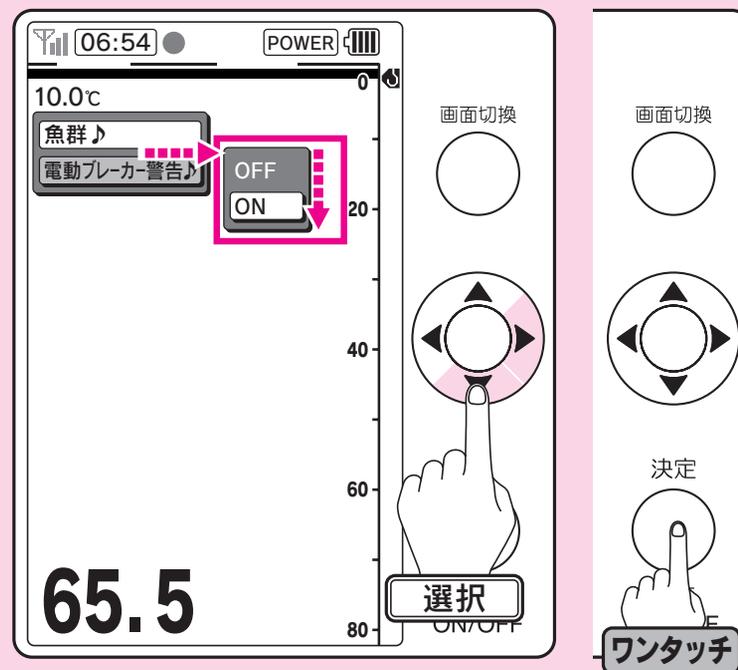
魚群を知らせるアラームの感度を[強]・[中]・[弱]に設定できます。



アラーム設定画面から[魚群♪]→[感度設定]を選択して、▶ボタンを押すと、感度設定のメニューが表示されます。メニューから▼と▲で[強]・[中]・[弱]のいずれかを選択して、決定ボタンを押すと設定完了です。

電動ブレーカー警告アラーム

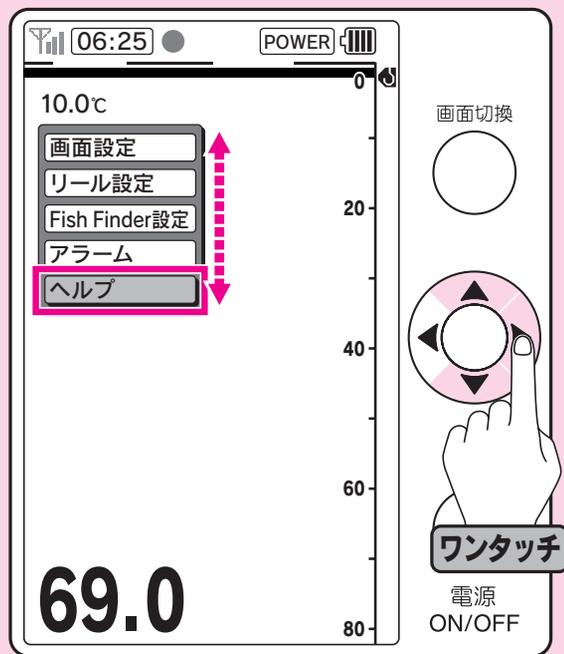
ブレーカー警告のアラームを設定できます。



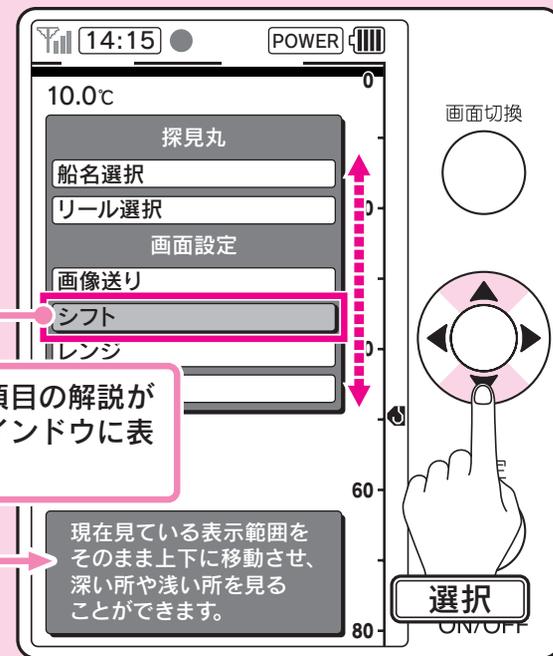
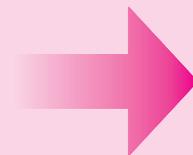
アラーム設定画面から[電動ブレーカー警告♪]を選択して、▶ボタンを押すと、電動ブレーカー警告のメニューが表示されます。メニューから▼と▲で[OFF]・[ON]のいずれかを選択して、決定ボタンを押すと設定完了です。

① ヘルプ

調べたい項目の解説をご覧ください。



- 1 設定画面で[ヘルプ]を選択して、
▶ ボタンもしくは決定ボタンを押してください。

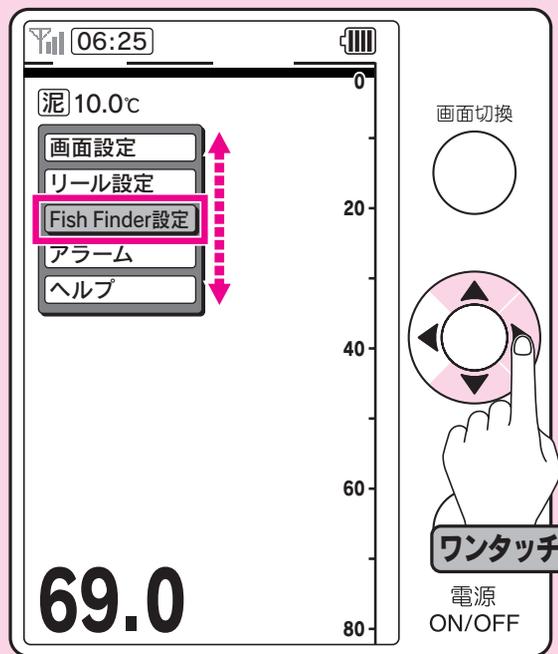


- 2 ▼と▲で項目を選択すると、補助説明ウインドウに選択された項目の解説が表示されます。

① Fish Finderの設定

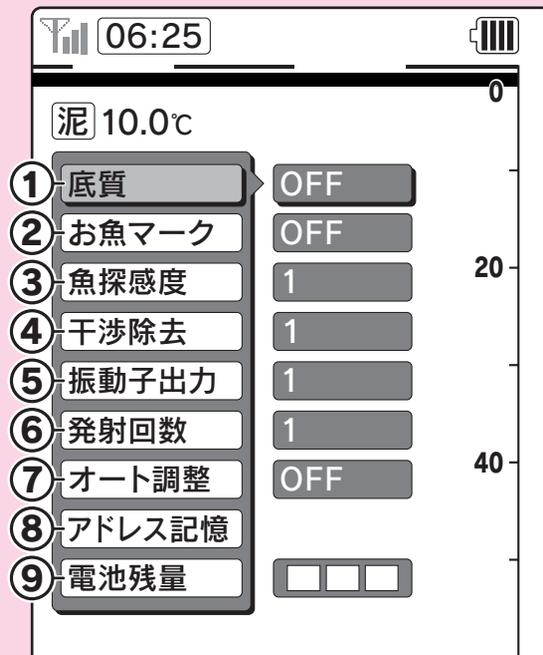
Fish Finder(振動子)の設定を変更することができます。

※初めにアドレス記憶の設定を行ってください。設定完了後、③～⑦の設定を変更することができます。



設定画面で[Fish Finder設定]を選択して
▶ ボタンを押すと、Fish Finder設定画面が表示されます。

① Fish Finder設定画面



① [底質]… (67ページへ)

底の固さを泥/砂/岩で表示します。

② [お魚マーク]… (68ページへ)

魚探画面で魚の反応が出た際にお魚マークを表示します。

③ [魚探感度]… (69ページへ)

海底から返ってくる音波を受信する強さを調整できます。

④ [干渉除去]… (69ページへ)

他船や他の魚探から受ける雑周波を除去し、ノイズを軽減します。

⑤ [振動子出力]… (70ページへ)

Fish Finderから、海中へ送る音波の強さを調整できます。

⑥ [発射回数]… (70ページへ)

Fish Finderからの発信する超音波の発射回数を調整できます。

⑦ [オート調整]

[魚探感度]・[振動子出力]・[発射回数]を自動調整します。

⑧ [アドレス記憶]… (14ページへ)

通信するFish Finderを記憶します。
※お間違えのないように、ご自身のFish Finderをお選びください。

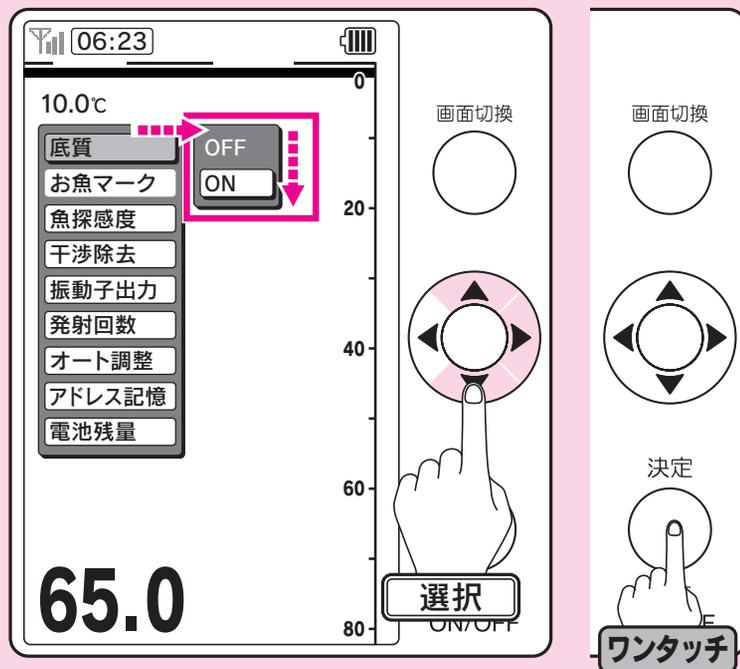
⑨ [電池残量]

Fish Finderの電池残量を表示します。

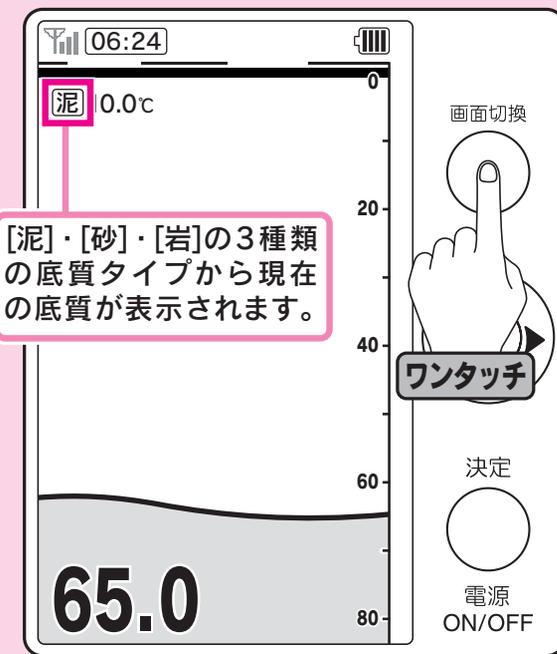
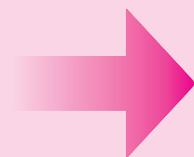


①底質

底質を表示します。



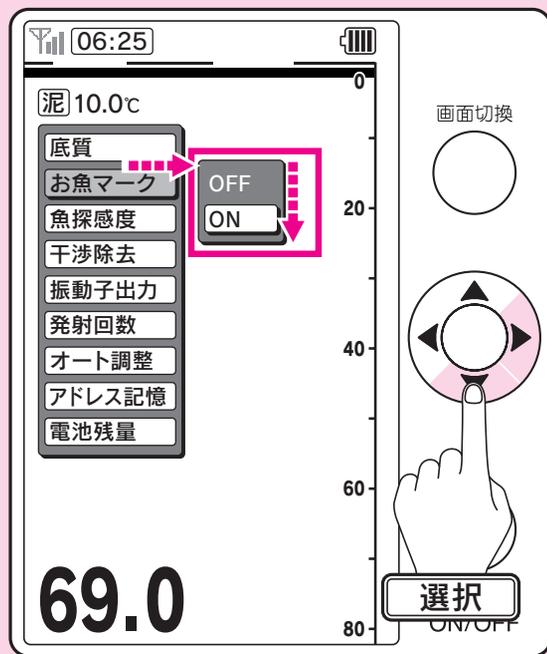
- 1** Fish Finder 設定画面で [底質] → [ON] を選択し、決定ボタンを押してください。



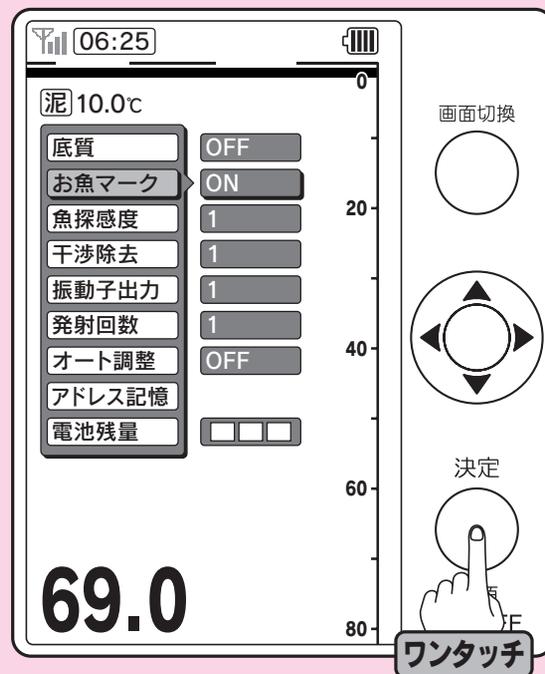
- 2** 画面切換ボタンで魚探画面に戻ると、
□部分に現在の底質が表示されます。

② お魚マーク

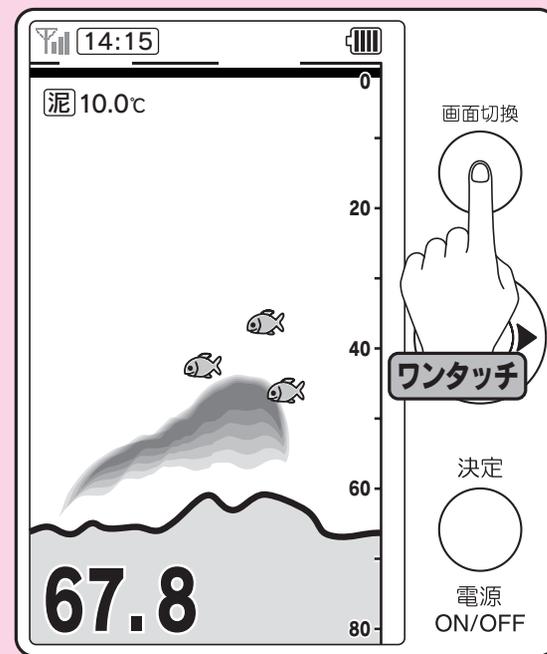
お魚マークを表示します。



- 1** Fish Finder設定画面で[お魚マーク]を選択して、▶ボタンを押してください。
▼と▲で[ON]を選択してください。



- 2** 決定ボタンを押すと設定完了です。

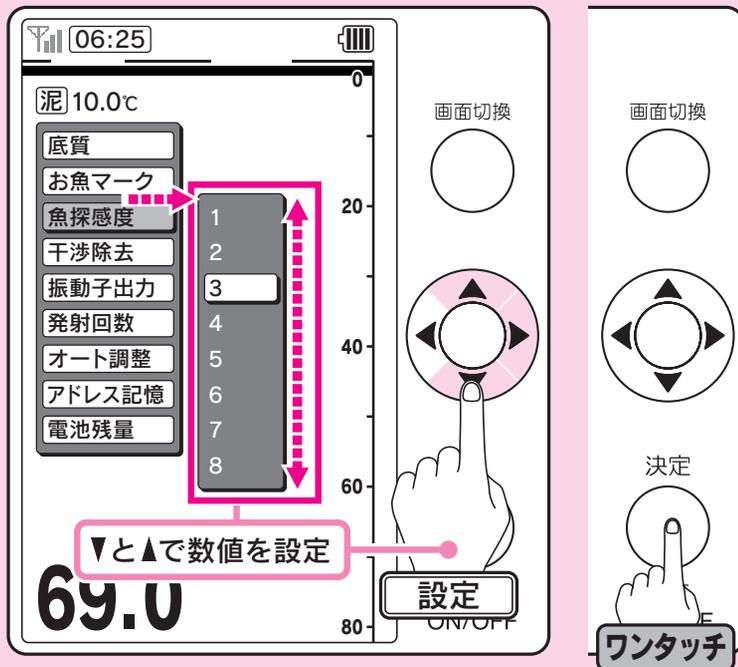


- 3** 画面切換ボタンで魚探画面に戻ると、お魚マークが表示されます。

③魚探感度 / ④干渉除去

魚探感度

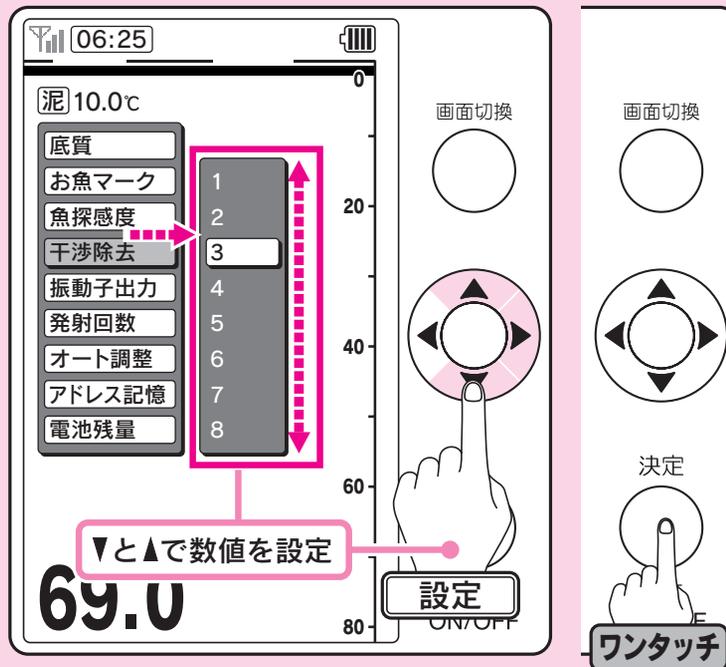
海底から返ってくる音波を受信する強さを調整できます。



Fish Finder設定画面から[魚探感度]を選択して、▶ボタンを押すと、魚探感度のメニューが表示されます。メニューから▼と▲で[1]～[8]のいずれかの数値を選択して、決定ボタンを押すと設定完了です。

干渉除去

他船や他の魚探から受ける雑周波を除去し、ノイズを軽減します。

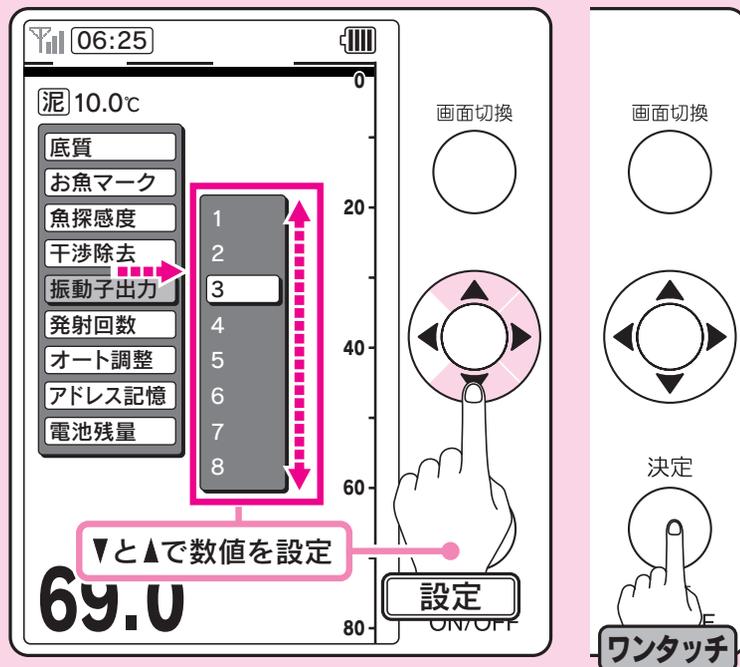


Fish Finder設定画面から[干渉除去]を選択して、▶ボタンを押すと、干渉除去のメニューが表示されます。メニューから▼と▲で[1]～[8]のいずれかの数値を選択して、決定ボタンを押すと設定完了です。

⑤振動子出力 / ⑥発射回数

振動子出力

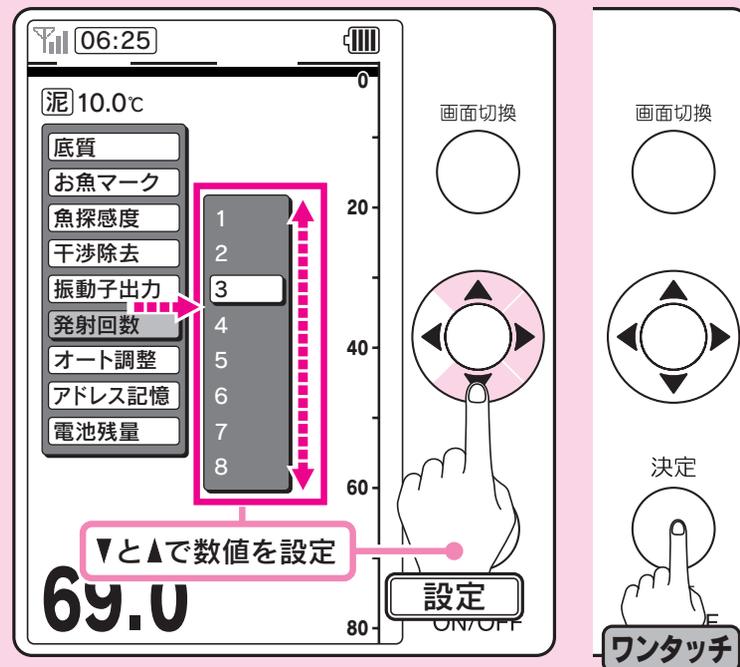
Fish Finderから、発信される音波の強さを調整できます。



Fish Finder 設定画面から [振動子出力] を選択して、▶ ボタンを押すと、振動子出力のメニューが表示されます。メニューから▼と▲で [1] ~ [8] のいずれかの数値を選択して、決定ボタンを押すと設定完了です。

発射回数

Fish Finderから、発信される音波の発射回数を調整できます。



Fish Finder 設定画面から [発射回数] を選択して、▶ ボタンを押すと、発射回数のメニューが表示されます。メニューから▼と▲で [1] ~ [8] のいずれかの数値を選択して、決定ボタンを押すと設定完了です。

お取り扱い上の注意

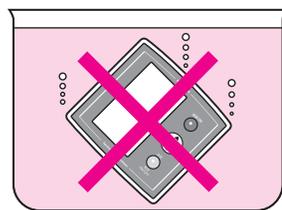
探見丸CV-FISHは、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

1 探見丸CV-FISHのお手入れ方法

1. 水道水を探見丸にかけながら柔らかい布か、スポンジで汚れを落とします。
※絶対に水中に浸けて洗わないでください。また、液晶面などを硬いものでこすると傷がつきます。

2. 影干ししてよく乾燥させてください。

- 探見丸は絶対に分解しないでください。内部には電子部品が入っていますので故障の原因となります。
- 高温、高湿の状態では長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。



絶対に水中に浸けて洗わないでください

⚠ 注意

- 探見丸CV-FISHのお手入れは、水道水をかけながら、柔らかい布かスポンジで汚れを落として下さい。又、絶対に水中に浸けて洗わないで下さい。
- 洗剤などでは洗浄しないで下さい。
- 電源ケーブルを抜いた状態で、電源ソケット部分に水圧を掛けて洗浄しないで下さい。浸水する可能性があります。

2 ご使用上の注意

1. 防水

探見丸CV-FISHの防水規格は JISC 0920 5級 防噴流形(IEC:IPX5)「いかなる方向からの直接噴流によっても有害な影響を受けない」ですが、水中への浸漬に対する保護機能はありませんのでご注意ください。

2. 落下

落下させますと、故障する場合があります。落下させないでください。

3. 衝撃

錘や仕掛けを当てると破損する場合があります。錘や仕掛けなどは当てないようにしてください。

4. 荷重

液晶面に力を加えると、防水機能が低下し、故障の原因となることがあります。液晶面には力を加えないでください。

- 探見丸システムでは、親機の探知性能以上の水深の場合や、泡切れで親機が海底水深をキャッチできない場合があります。また、大魚群を海底と誤ってしまう場合があります。この時には水深情報を利用する各機能が使えないこととなりますのでご注意ください。
- 探見丸CV-FISHでは魚探映像の感度の変更は行えません。
- 探見丸CV-FISHは無線電波を受けているため、金属の箱などに入れると受信できなくなりますのでご注意ください。探見丸CV-FISHは電波法に基づき開発された製品です。
- 探見丸CV-FISHはていねいに扱ってください。移動時には付属のカバーをかぶせて、特に放り投げやバッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意下さい。
- 探見丸CV-FISH後部及び電源ケーブルに衝撃を与えないよう、また、ケーブルを折り曲げないようにご注意下さい。特にケーブルを探見丸CV-FISHと船べりの間にはさまないようにご注意下さい。
- LCDの表面は傷が付きやすいので、画面をふくときは十分に注意してください。
- 偏光ガラスの種類によって液晶画面が見にくくなる場合があります。

(次ページにつづく→)

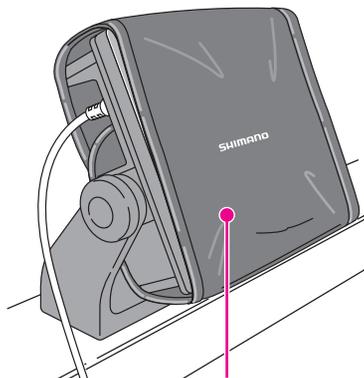
- 使用中に画面表示が消え電源OFFの状態になった場合は、電源ON/OFFボタンを押していただきますと再起動いたします。これは、電源ケーブルのフニロクリップに力が加わったり、船電源の極端な電圧変動により、瞬間的に通電が遮断されたことが考えられます。この場合、探見丸CV-FISHの機構はOFFになる設定で、再度電源をONにする必要があるからです。

●ご注意

船長の指示棚は絶対を守りましょう!!
画面上に指示棚以外にも反応が映っているからといって、勝手に大きく棚を変えるのはルール違反です。
船長の指示棚は、長年の経験から導きだした、その場の状況に応じた最適な情報です。
自分勝手に大きく棚を変えると、他の釣客とのオマツリや魚を散らすなど、トラブルの原因となります。絶対にやめましょう!!

3 探見丸CV-FISHを安全にお使いいただくために

- 探見丸CV-FISHの防水規格はJISC 0920 5級 防噴流形 (IEC:IPX5)「いかなる方向からの直接噴流によっても有害な影響を受けません」ですが、水中への浸漬に対する保護機能はありませんのでご注意ください。
探見丸CV-FISHの電源ケーブルに海水が入らないよう、船縁設置中は電源ケーブルを抜いたままにしないでください。又、船縁に設置後の釣り場移動時/釣行の移動時には、付属のカバーをかぶせてください。過度の波浪/突起物等から本機を守ります。(右図)



過度の波浪/突起物などから探見丸CV-FISHを守るため、付属のカバーをかぶせてください。

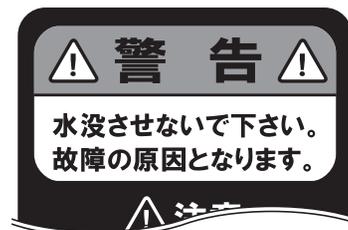
安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

警告	
	●カバーケースは絶対開けないこと。 感電の原因になります。 故障の場合は、お買い上げ先へ連絡してください。
	●分解・改造等は絶対しないこと。 火災、感電、ケガの原因になります。
	●発煙、発火のときはただちに電源ケーブルを外すこと。 火災、感電の原因になります。
	●電源ケーブルは規定のものを使うこと。 規定外のものを使った場合、重大な事故や火災を引き起こす原因になります。
	●液晶部のレンズ内側に水滴の付着や曇りが見られた場合は、使用をやめて修理に出してください。 防水機構が壊れています。

警告ラベル

探見丸CV-FISHには右図のような警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルは絶対にはがさないでください。



液晶パネルについて

液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上が有効画素ですが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が存在します。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意／セーフティ機能／仕様

4 ご注意

- 注意1**：親機の設定及び使用状況によりボトムラインが海底をトレースできない場合がありますが、本機の故障では御座いません。魚群探知機特有の現象です。
- 注意2**：電池の種類によっては多少使用可能時間が前後します。

5 セーフティ機能

次の場合、補助説明ウィンドウに図のように表示されます。

●親機からの信号がない場合

→お乗りになられている船名の選択をされたかどうか、もう一度ご確認頂き、通信のできる位置に子機を移動、向きを変えるなどしてください。

親機からの信号がきていません。

●電圧が高すぎる場合

30V以上になりますとセーフティ機能が働き、強制的に電源をOFFにします。

→12Vから14.8Vの範囲のバッテリーの使用を推奨します。

●リールのブレーカーが作動している場合 (電動リール接続時のみ)

リールのモーターに過負荷がかかり、ブレーカーが働いている場合に表示されます。

ブレーカー作動中です。

→ご愛用の電動リール取扱説明書をご確認ください。

6 仕様

品番	探見丸CV-FISH		
製品コード	5RK140000	商品コード	03041
自重	420g (本体のみ)		
表示画面	4.0型カラーTFT		
通信方式	Zigbee (IEEE802.15.4規格)		
受信周波数	2.4GHz	送信出力	5mW
通信速度	250Kbps	消費電力	3W
電源タイプ	電源ケーブル使用時 (オプション)	DC12V~14.8V/0.3A	
	乾電池	単3型×8本 ※ニッケル水素の 充電機にも対応 しています。	
	乾電池使用時の 電池寿命 (20℃時で昼間)	マンガン：約6時間 アルカリ：約10時間	
使用条件	使用温度範囲	-10℃~50℃	
	使用湿度範囲	93%以下 (+40℃)	
	防水性能	IPX5	
標準付属品	ハンガー×1、ハンガーノブ×2、蝶ネジ×1、ソフトカバー×1、コネクタ用キャップ×1、保証書、取扱説明書		

製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内／分解図

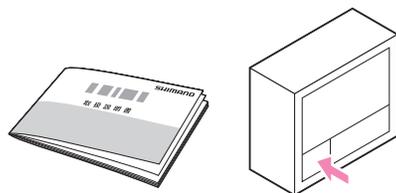
7 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

探見丸CV-FISHのメカニズムの説明には、書面で表しにくいことがあります。手紙での問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

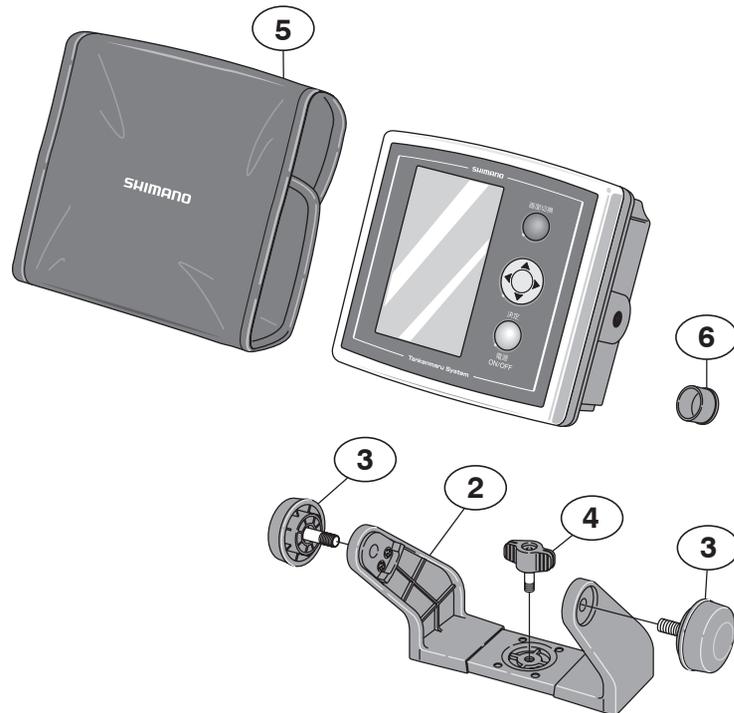
- 修理に出される時は保証書と製品をお持ちになり、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／電源が入らない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- 紛失部品や破損部品のお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。内部の部品に関しては、複雑ですので本体ごと修理に出して下さい。
（例／製品名：探見丸CV-FISH 商品コード：03041 製品コード：5RK140000 部品番号：2 部品名：ハンガー）
- 弊社では探見丸CV-FISHの補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。

●商品コード/製品コードの位置

- ・取扱説明書
- ・パッケージ側面部



■分解図



■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名
2	ハンガー	5	ソフトカバー
3	ハンガーノブ	6	コネクタ用キャップ
4	蝶ネジ		

※部品内容について予告なく変更する場合があります。

サービスネット

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 仙台営業所

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL. (048) 772-6662
※仙台営業所管轄のお客様のご連絡は埼玉営業所で承ります。

株式会社シマノ 埼玉営業所

〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL. (048) 772-6662

株式会社シマノ 東京営業所

〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL. (03) 3744-5656

株式会社シマノ 名古屋営業所

〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL. (052) 331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所

〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77 TEL. (072) 223-3920

株式会社シマノ 中国営業所

〒700-0941 岡山市南区青江6-6-18 TEL. (086) 264-6100

株式会社シマノ 四国営業所

〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL. (0875) 23-2220

株式会社シマノ 九州営業所

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL. (0942) 83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部 本社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●探見丸システム、商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ハローイイサオ) フリーダイヤルをご利用できない方は 072-243-8538 (有料) をご利用下さい。受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00 (土・日・祝日除く)

■シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.com> です。

新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。

また、カタログのお申し込みも受け付けています。

SHIMANO